

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度
年報

令和 3 年度

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

| | |
|--------|------|
| 展示事業一覧 | 2p |
| 沿革 | 3-4p |
| 目次 | 5p |
| カレンダー | 6-9p |

2021（令和3）年度展示事業一覧

■特別展事業

| 会場 | 名称 | 会期 |
|-------------|------------------------------|------------------------------|
| 蘭島閣美術館 | 開館 30 周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし | 2021（令和3）年10月9日〔土〕－11月29日〔月〕 |
| 三之瀬御本陣芸術文化館 | 特別展 須田国太郎 in Spain | 2021（令和3）年10月1日〔金〕－11月29日〔月〕 |

■所蔵品公開事業

| 会場 | 名称 | 会期 |
|--------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 蘭島閣美術館 | 所蔵品展Ⅰ 描かれた美しい花々 | 2021（令和3）年4月14日〔水〕－6月14日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅱ 開館 30 周年記念 名画をたずねて 前期 | 2021（令和3）年6月16日〔水〕－8月9日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅲ 開館 30 周年記念 名画をたずねて 後期 | 2021（令和3）年8月11日〔水〕－10月4日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅳ 海をみつめて一画家を魅了した景色一 | 2021（令和3）年12月3日〔金〕－2022（令和4）年2月7日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅴ 和のかたち | 2022（令和4）年3月2日〔水〕－4月18日〔月〕 |

| 会場 | 名称 | 会期 |
|----------|-------------------------------|---|
| 蘭島閣美術館別館 | 所蔵品展Ⅰ 寺内萬治郎の歩み（2） | 2021（令和3）年5月12日〔水〕－6月28日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅱ 所蔵品への視点シリーズ・3 版画の魅力 | 2021（令和3）年6月30日〔水〕－9月27日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅲ 所蔵品への視点シリーズ・4 表紙絵・挿絵の世界 | 2021（令和3）年9月29日〔水〕－2022（令和4）年1月10日〔月・祝〕 |
| | 所蔵品展Ⅳ 寺内萬治郎と森清治郎 | 2022（令和4）年1月12日〔水〕－4月4日〔月〕 |

| 会場 | 名称 | 会期 |
|-------------|--|---------------------------------------|
| 三之瀬御本陣芸術文化館 | 所蔵品展Ⅰ 須田国太郎が見つめた世界－留学から晩年まで－ | 2021（令和3）年4月21日〔水〕－6月21日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅱ 色の力 須田国太郎&フォービズムの画家たち あざやかな錦絵の世界 | 2021（令和3）年6月23日〔水〕－8月23日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅲ 旅する画家たち | 2021（令和3）年12月2日〔木〕－2022（令和4）年2月14日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅳ 鳥・とりどりー描かれた鳥たち一 | 2022（令和4）年2月21日〔月〕－4月25日〔月〕 |

| 会場 | 名称 | 会期 |
|----------|---------------------------|--|
| 松濤園 陶磁器館 | 所蔵品展Ⅰ 初期伊万里－日本磁器のはじまり－ | 2021（令和3）年4月7日〔水〕－6月28日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅱ 独創の意匠 国産初期色絵 | 2021（令和3）年6月30日〔水〕－9月6日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅲ 古伊万里－磁器誕生から150年の変遷－ | 2021（令和3）年9月8日〔水〕－11月23日〔火・祝〕 |
| | 所蔵品展Ⅳ 色彩の華 柿右衛門と伊万里金襴手 | 2021（令和3）年11月25日〔木〕－2022（令和4）年1月24日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅴ 伊万里焼にみる江戸の食文化 | 2022（令和4）年2月21日〔月〕－4月11日〔月〕 |

| 会場 | 名称 | 会期 |
|------------|--------------------------|--|
| 松濤園 御馳走一番館 | 所蔵品展Ⅰ 文人交流と通信使 | 2021（令和3）年4月7日〔水〕－6月28日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅱ 誠信外交－通信使と国際交流－ | 2021（令和3）年6月30日〔水〕－9月6日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅲ 海上パレード！朝鮮通信使と海 | 2021（令和3）年9月8日〔水〕－11月23日〔火・祝〕 |
| | 所蔵品展Ⅳ むかえる！もてなす！通信使と日本文化 | 2021（令和3）年11月25日〔木〕－2022（令和4）年1月24日〔月〕 |
| | 所蔵品展Ⅴ 柳川一件と馬上才 | 2022（令和4）年2月21日〔月〕－4月11日〔月〕 |

沿革

設立経緯と現況

下蒲刈島は、広島県の中部島地域に位置し、古くから海上交通の要衝として栄え、江戸時代には幕府が海駅を設置し西国大名や朝鮮通信使の寄港地として重要な位置を占めていました。

現在、蘭島閣美術館を中心として立地する下蒲刈島の文化施設群は、下蒲刈町政時代の1986（昭和61）年、下蒲刈町長竹内弘之氏（故人）が提唱した「活力ある個性豊かな町づくり」という町政指針にその端を発しています。

その指針のもと、下蒲刈町では1986（昭和61）年から1988（昭和63）年までの3年間の間に移動美術展を招致するなどし、地域住民の文化理解を促し、その後の美術館施設建設に向けた気運を高める活動をおこなってきました。1988（昭和63）年度の下蒲刈町予算編成における「教育文化の振興」指針に基づき、同年、美術館・図書館・資料館建設の調査費が計上されるに至り、1991（平成3）年度に「文化と歴史の町」と「ガーデンアイランド構想（全島庭園化構想）」を下蒲刈町の新たな町づくりの基本方針として整備が進められ、蘭島閣美術館を始めとする中核文化施設と庭園などの整備を進めてきました。現在に至るまでに約3,700点のコレクションを収集し、美術・歴史・環境を含めたさまざまな文化施設が誕生しました。

町政から財団運営へ

全国的な市町村合併の流れの中、下蒲刈町は2003（平成15）年、呉市と合併しました。その前年の2002（平成14）年4月に第1回呉市・下蒲刈町合併協議会が開催されました。市政移行準備とともに、財団法人蘭島文化振興財団の設立準備も進められ、2002（平成14）年10月1日に財団法人蘭島文化振興財団が設立されます。合併により、町政時代の建造物、コレクションはすべて呉市所管となりました。続いて、2004（平成16）年には三之瀬御本陣芸術文化館が開館します。これにより、ハード面の文化施設の建設がすべて終了しました。2003（平成15）年から2005（平成17）年の3年間は、財団法人蘭島文化振興財団*1が呉市からの管理運営受託、そして、2006（平成18）年から2009（平成21）年の4年間、財団法人蘭島文化振興財団は呉市との協定により下蒲刈島の文化施設群「蘭島文化振興施設」の指定管理者として運営管理をおこなってきました。以降、2021（令和3）年度現在、第3期目の指定管理者として、管理運営をおこなっています。

*1 2012（平成24）年4月1日、公益財団法人へ移行。

公益財団法人蘭島文化振興財団の役割

当財団は、地域文化の振興を目指した諸事業をおこなうとともに、地域文化に関する教育普及活動の推進を図り、市民の文化振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とします。（定款第3条）目的達成のための事業（定款第4条）は、①蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業②昆虫の家における自然環境保全啓発事業③松濤園における芸術文化振興事業④白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業、以上5事業からなっています。

公益財団法人蘭島文化振興財団が指定管理する蘭島文化振興施設

2021（令和3）年度、当財団が管理運営する蘭島文化振興施設は、①蘭島閣美術館、②蘭島閣美術館別館、③三之瀬御本陣芸術文化館、④松濤園、⑤白雪楼、⑥昆虫の家「頑愚庵」、⑦春蘭荘、松籟亭及び煎茶室です。

□沿革

| | |
|-----------------|---|
| 1991（平成3）年 | 蘭島閣美術館開館 |
| 1994（平成6）年 | 松清園開館 |
| 1996（平成8）年 | 白雪楼開館 |
| 1997（平成9）年 | 蘭島閣美術館別館開館 |
| 1998（平成10）年 | 昆虫の家「頑愚庵」開館 |
| 2001（平成13）年 | 第1回ギャラリーコンサート開催 |
| 2001（平成13）年 | 蘭島閣美術館開館10周年「須田国太郎展」開催 |
| 2002（平成14）年 | 第1回呉市・下蒲刈町合併協議会開催（以後5回） |
| | 蘭島文化振興財団設立事前説明会開催 |
| | 呉市・下蒲刈町合併協定調印式（小笠原臣也呉市長と竹内弘之下蒲刈町長による調印式） |
| | 蘭島文化振興財団設立事前説明会開催 |
| | 蘭島文化振興財団設立許可申請 |
| | 蘭島文化振興財団設立許可 |
| | 蘭島文化振興財団登記申請 |
| | 財団法人蘭島文化振興財団設立 |
| 2003（平成15）年 | 韓国鎮海市長ほか、松清園など視察 |
| | 韓国からムクゲの苗100本寄贈受ける |
| | 下蒲刈町、呉市と合併 |
| | 松清園入場者20万人 |
| | 第1回朝鮮通信使再現行列開催 |
| 2004（平成16）年 | 三之瀬御本陣芸術文化館開館 |
| | 三之瀬御本陣芸術文化館開館記念特別展「福田平八郎展」開催 |
| | 松清園開館10周年記念特別展「朝鮮通信使の道のり展—交流の足跡—」開催 |
| | 『松清園開館10周年記念呉市・鎮海市友好姉妹都市提携5周年記念古伊万里名品図録』発刊 |
| 2005（平成17）年 | 「21世紀の日韓子ども通信使」下蒲刈島訪問 |
| 2009（平成21）年 | 竹内弘之理事長死去 |
| | 渡辺理一郎理事長就任 |
| 2010（平成22）年 | 年中無休から火曜日休館の実施へ |
| | ギャラリーコンサート10周年 |
| 2011（平成23）年 | 蘭島閣美術館開館20周年 |
| 2012（平成24）年 | 公益財団法人化 |
| | 朝鮮通信使再現行列10周年 |
| 2014（平成26）年 | 松清園開館20周年 |
| | 三之瀬御本陣芸術文化館開館10周年 |
| 2015（平成27）年 | ギャラリーコンサート15周年 |
| 2019（平成31/令和元）年 | 渡辺理一郎理事長退任 |
| | 海生泰定理事長就任 |
| | 三之瀬御本陣芸術文化館開館15周年 |
| | 松清園開館25周年 |
| 2020（令和2）年 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 |
| | 期間：3月9日〔月〕～2020（令和2）年度5月10日〔日〕 |
| | 白雪楼、春蘭荘、松籟亭は5月19日〔火〕まで臨時休館 |
| 2021（令和3）年 | 蘭島閣美術館開館30周年 |
| | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 |
| | 期間：8月27日〔金〕～9月30日〔木〕、及び2022（令和4）年1月9日〔日〕～2月20日〔日〕 |

目次

| | | |
|-------------------|----------------------------|----------|
| ■目次 | ■展示事業一覧 | 2p |
| | ■沿革 | 3-4p |
| | ■目次 | 5p |
| ■事業カレンダー | ■2021（令和3）年度事業カレンダー | 6-9p |
| ■特別展事業 | ■蘭島閣美術館 特別展 | 12-16p |
| | ■三之瀬御本陣芸術文化館 特別展 | 17-21p |
| ■展示公開事業 | ■蘭島閣美術館 所蔵品公開事業 | 24-38p |
| | ■蘭島閣美術館別館 所蔵品公開事業 | 40-48p |
| | ■三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品公開事業 | 50-58p |
| | ■松清園 陶磁器館 所蔵品公開事業 | 60-74p |
| | ■松清園 御馳走一番館 所蔵品公開事業 | 76-86p |
| | ■通年展示 | 88-91p |
| | ■公開スペース一覧 | 94-100p |
| ■その他の公開 | ■インターネット | 102-103p |
| | ■資料貸出 | 104p |
| | ■画像提供 | 105p |
| | ■資料閲覧 | 106p |
| ■普及事業・市民サービス・財団事業 | ■普及事業 ギャラリートーク・講演会・ワークショップ | 108-112p |
| | ■市民サービス | 113-114p |
| | ■財団事業 | 115-117p |
| ■運営データ | ■収集・保存・整理 | 120-121p |
| | ■協力・広報 | 122p |
| | ■入館者数 | 123p |
| | ■関係法規 | 124-126p |
| ■利用案内 | ■利用案内 | 128-129p |
| ■奥付 | ■奥付 | 130p |

2021（令和3）年度事業カレンダー

| 月 | 特別展事業（会場） | 蘭島閣美術館 | 蘭島閣美術館別館 |
|----|---|--|--|
| 4 | | 4月14日【水】－6月14日【月】 所蔵品展Ⅰ 描かれた美しい花々 | |
| 5 | | | 5月12日【水】－6月28日【月】 所蔵品展Ⅰ 寺内萬治郎の歩み（2） |
| 6 | | 6月16日【水】－8月9日【月】 所蔵品展Ⅱ 開館30周年記念 名画をたずねて 前期 | 6月30日【水】－9月27日【月】 所蔵品展Ⅱ 所蔵品への視点シリーズ・3 版画の魅力 |
| 7 | | | |
| 8 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 | | |
| 9 | 期間：2021（令和3）年8月27日【金】～9月30日【木】 | | |
| 10 | 10月9日【土】－11月29日【月】 開館30周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし | 10月1日【金】－11月29日【月】 特別展 須田国太郎 in Spain | 9月29日【水】－1月10日【月・祝】 所蔵品展Ⅲ 所蔵品への視点シリーズ・4 表紙絵・挿絵の世界 |
| 11 | | | |
| 12 | | 12月3日【金】－2月7日【月】 所蔵品展Ⅳ 海をみつめて 一画家を魅了した景色ー | |
| 1 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 | | |
| 2 | 期間：2022（令和4）年1月9日【日】～2月20日【日】 | | |
| 3 | | 3月2日【水】－4月18日【月】 所蔵品展Ⅴ 和のかたち | 1月12日【水】－4月4日【月】 所蔵品展Ⅳ 寺内萬治郎と森清治郎 |

| 月 | 三之瀬御本陣芸術文化館 | 松清園 陶磁器館 | 松清園 御馳走一番館 | ギャラリートーク |
|----|--|---|---|----------|
| 4 | | | | |
| 5 | 4月21日【水】－6月21日【月】 所蔵品展Ⅰ 須田国太郎が見つめた世界 －留学から晩年まで－ | 4月7日【水】－6月28日【月】 所蔵品展Ⅰ 初期伊万里 －日本磁器のはじまり－ | 4月7日【水】－6月28日【月】 所蔵品展Ⅰ 文人交流と通信使 | |
| 6 | | | | |
| 7 | 6月23日【水】－8月23日【月】 所蔵品展Ⅱ 色の力 須田国太郎&フォービズムの画家たち あざやかな錦絵の世界 | 6月30日【水】－9月6日【月】 所蔵品展Ⅱ 独創の意匠 国産初期色絵 | 6月30日【水】－9月6日【月】 所蔵品展Ⅱ 誠信外交－通信使と国際交流－ | |
| 8 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 | | | |
| 9 | 期間：2021（令和3）年8月27日【金】～9月30日【木】 | | | |
| 10 | 特別展事業開催 | 9月8日【水】－11月23日【火・祝】 所蔵品展Ⅲ 古伊万里 －磁器誕生から150年の変遷－ | 9月8日【水】－11月23日【火・祝】 所蔵品展Ⅲ 海上パレード！ 朝鮮通信使と海 | |
| 11 | | | | |
| 12 | 12月2日【木】－2月14日【月】 所蔵品展Ⅲ 旅する画家たち | 11月25日【木】－1月24日【月】 所蔵品展Ⅳ 色彩の華 柿右衛門と伊万里金襴手 | 11月25日【木】－1月24日【月】 所蔵品展Ⅳ むかえる！もてなす！ 通信使と日本文化 | |
| 1 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 | | | |
| 2 | 期間：2022（令和4）年1月9日【日】～2月20日【日】 | | | |
| 3 | 2月21日【月】－4月25日【月】 所蔵品展Ⅳ 鳥・とりどり －描かれた鳥たち－ | 2月21日【月】－4月11日【月】 所蔵品展Ⅴ 伊万里焼にみる江戸の食文化 | 2月21日【月】－4月11日【月】 所蔵品展Ⅴ 柳川一件と馬上才 | |

| 月 | ワークショップ | 講演会 | イベント | ギャラリーコンサート |
|----|--|---|---|---|
| 4 | ●蘭島閣美術館 [おはながみで牡丹をつくろう] 4月24日(土)、4月25日(日) | | | |
| 5 | ●蘭島閣美術館 [おはながみで牡丹をつくろう] 5月8日(土)、5月9日(日) | | | |
| 6 | ●蘭島閣美術館 [おはながみで牡丹をつくろう] 6月5日(土)、6月6日(日) | | | |
| 7 | ●三之瀬御本陣芸術文化館 [コマで色の不思議体験!] 7月11日(日) 午前10時から午後2時まで | | | ●第247回～夢のかけはし～ 蘭島閣ギャラリーコンサート 大谷康子(バイオリン)、富永愛子(ピアノ) 於：新日本造機ホール(呉市役所庁舎内) |
| 8 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 | | | |
| 9 | 期間:2021(令和3)年8月27日[金]～9月30日[木] | | | |
| 10 | ●三之瀬御本陣芸術文化館 [油絵でぬりぬり] 10月1日(金)から11月29日(月)の毎週日曜日 (10月3日、17日を除く)午前10時から午後2時まで ●松濤園 [韓国伝統飾り結びメドップを使ったプレスレット] 10月9日(土)・10日(日)・23日(土)・24日(日) | ●三之瀬御本陣芸術文化館 [美術史家・原田平作氏による作品解説] 10月17日(日) 午後1時30分から | ●三之瀬御本陣芸術文化館 公開ビデオ撮影 [須田貴氏「父の思い出」を語る] 10月3日(日)午前11時から | ●第250回～夢のかけはし～ 蘭島閣ギャラリーコンサート 山下洋輔(ジャズピアノ) 於：新日本造機ホール(呉市役所庁舎内) |
| 11 | ●蘭島閣美術館 [マルシェバックにネコを描こう] 11月6日(土)午後1時30分から午後3時 [らんを魅せるアレンジメント] 11月7日(日)午後1時30分から午後2時30分 | | ●蘭島閣美術館 [30th Birthday 特別無料開放]11月3日(水・祝) ●白雪楼 [白雪楼でおもてなし]11月4日(木)、11月5日(金) | ●第251回～夢のかけはし～ 蘭島閣ギャラリーコンサート レオナルド・ブラーボ(ギター) 於：新日本造機ホール(呉市役所庁舎内) |
| 12 | | | | ●第252回～夢のかけはし～ 蘭島閣ギャラリーコンサート 仲道郁代(ピアノ) 於：新日本造機ホール(呉市役所庁舎内) |
| 1 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 | | | |
| | 期間:2022(令和4)年1月9日[日]～2月20日[日] | | | |
| 2 | | | ●蘭島閣美術館 [1月2日限定ポストカードプレゼント] 1月2日(日) | |
| 3 | | | | ●第255回～夢のかけはし～ 蘭島閣ギャラリーコンサート 小山実稚恵(ピアノ) 於：蘭島閣美術館 |

| 月 | 市民サービス | 財団事業 | その他 | 備考 |
|-------------------------------|---|---|---|---|
| 4 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | | | |
| 5 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | | | |
| 6 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | | | |
| 7 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | | | |
| 8 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | ●昆虫の家 [昆虫イラスト展] 8月13日(金)から10月31日(日)まで | | ※展示替えのため臨時休館 三之瀬御本陣芸術文化館 8月25日(水)から8月26日(木) |
| 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 | | | | |
| 9 | 期間:2021(令和3)年8月27日[金]~9月30日[木] | | | |
| 10 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | ●昆虫の家 [昆虫イラスト展] 8月13日(金)から10月31日(日)まで | | ※展示替えのため臨時休館 蘭島閣美術館 10月6日(水)から10月8日(金) |
| 11 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | | ●ミニコンサート レオナルド・ブラーボ(ギター) 11月19日(金) 午後2時45分から午後3時15分 於:呉市立蒲刈中学校体育館 | |
| 12 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで (ただし、12月18日から1月9日までは休止) | | | ※展示替えのため臨時休館 三之瀬御本陣芸術文化館 12月1日(木) |
| 1 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 | | | |
| 期間:2022(令和4)年1月9日[日]~2月20日[日] | | | | |
| 2 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | | | ※空調工事のため臨時休館 蘭島閣美術館 2月21日(月)から2月28日(月) |
| 3 | ●蘭島閣美術館別館 [島の美術館ピアノ] 毎週土・日午前9時から午後4時まで | | | ※空調工事のため臨時休館 三之瀬御本陣芸術文化館 3月7日(月)から3月9日(水) ※空調工事のため臨時休館 松濤園 3月7日(月) |

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

特別展

開館 30 周年記念特別展

にゃんこいろいろ浮世絵づくし 12-16p

特別展

須田国太郎 in Spain

17-21p

特別展

開館 30 周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし

2021 (令和3) 年 10月9日 [土] - 11月29日 [月]

本展は、平野美術館の協力により開館 30 周年を記念し猫を主題にした浮世絵を紹介する展覧会として開催した。平野美術館では、歌川広重や歌川国芳など名だたる絵師たちに愛された猫を主題にした作品を中心に、いきものを題材にした浮世絵版画を多数収蔵している。本展では、庶民の風俗を写し取ってきた浮世絵の中でも私たちの身近な存在である猫を多様な姿で捉えた作品を中心に紹介した。美人画の中に溶け込んだり、擬人化され役者絵や物語の登場人物となって愛されたり、恐ろしい姿で人々を驚かせたりと多彩な表情を見せる愛くるしい猫たち。本展ではこうしたさまざまな表情を見せる猫たちの姿に迫った。

(1) にゃんこ遊ぶ～美人画の中の猫たち

本章では、美人画の中で描かれた猫の姿に着目した。紫式部『源氏物語』「若菜」の巻には、六条院で飼われていた子猫が大きな猫に追いかかれ、逃げようとした拍子につないでいた紐が御簾(みす)にひっかかってめくれ上がり、光源氏の妻、女三宮の姿があらわになる場面がでてくる。女三宮と柏木の禁じられた恋のきっかけとなるこの場面は、さまざまな脚色が加えられ、浮世絵では遊女や芸者、町娘などの当時の美しい女性が女三宮になぞられて描かれている。流行りの髪型や髪飾り、新しい模様の着物という最先端のファッションを身にまとう江戸時代の美人たち。「美人の立ち姿」と「猫」の組み合わせから当時の人々は女三宮を連想しており、古典が一般的に浸透していた江戸時代であるからこそ多くの人に女三宮の浮世絵は楽しまれていたことが分かる。本章ではこうした女三宮が登場する作品を中心に作品を展示した。

(2) いきものまなざし

浮世絵の中に描かれた猫をはじめとするいきものの姿を紹介した。歌川広重「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」は広重の晩年の傑作「名所江戸百景」のシリーズの内の1枚である。日が暮れる中、遠くに富士を望み、薄暗くなった浅草田圃を西の市へと行きかう人々を吉原の妓楼の窓から機嫌悪そうに見つめる白い猫。客から贈られたのか小さな熊手の形をしたかんざしが畳に置かれ、衝立のかけには遊女と客がいることが示唆される。広重は、風景の中にそっと猫を描き入れ味わい深い猫のいる世界を表現している。

(3) 風景の中のいきものたち

市井(しせい)の往来から東海道沿いの風景など、人々の生活に寄り添ったいきものたちの姿を紹介した。

(4) 物語の中のいきものたち～おそろしき化け猫

猫の妖怪である「猫又(ねこまた)」を描いた作品を中心に作品を紹介した。古来猫は、年老いると不思議な力を得て化けると信じられてきた。鎌倉時代前期の藤原定家による『明月記』の天福元(1233)年の記事には猫又が一晩で数人の人間を食い殺したという記述がのこされている。江戸時代には、猫又の存在が一般に広まり浮世絵にも頻繁に描かれ、恐ろしげな猫の化け物のまわりで手ぬぐいをかぶって踊っている姿が見られる。本章ではこうした怖いというよりむしろ愛らしい姿に注目し、作品を展示した。

(5) 戯画～どうぶつたちのたわむれ

擬人化された猫などの動物が登場する作品を展示した。浮世絵の中には、着物を着て描かれた動物たちが多数登場しており、中でも擬人化された猫や、猫を使った寄せ絵は大の猫好きの絵師で知られる歌川国芳が描き始めた。ユーモアあふれる人間くさい猫をはじめとする動物たち。本章では、国芳やその弟子たちによって作り出された遊び心あふれる動物の戯画の世界を紹介した。

(6) おもちゃ絵の中のにゃんこたち

おもちゃ絵に登場する猫たちを紹介した。おもちゃ絵は、絵双六やカルタとともに江戸時代から明治にかけて制作、出版された図鑑的な知育玩具で、遊戯用の玩具として楽しみ、遊びながら日常生活に必要な知識を習得するためのものだった。幕末から明治にかけてかなりの種類が制作されたと考えられ、猫が描かれたものだけでも百種類以上が現存している。本章では、おふろにはいたり、体操したり、勉強したりする猫たちの姿を紹介し、当時の子どもたちの目線を通した暮らしや風俗を振り返った。

(山下裕子)



特別展名称

開館 30 周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし

会期

2021(令和3)年10月9日(土)―11月29日(月)

会場

蘭島閣美術館

主催

公益財団法人 蘭島文化振興財団、呉市、中国新聞社

後援

NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FM ちゅーピー 76.6MHz

特別協力

公益財団法人平野美術館、ヤマト運輸株式会社

関連行事

●30th Birthday 特別無料開放

2021(令和3)年11月3日(水・祝)

●白雪楼でおもてなし

2021(令和3)年11月4日(木)、11月5日(金)

●ワークショップⅠ

マルシェバックにネコを描こう

講師：おりでせ氏(イラストレーター)

2021(令和3)年11月6日(土)午後1時30分から午後3時

●ワークショップⅡ

らんを魅せるアレンジメント

講師：丸岡正青氏(フラワーデザイナー)

2021(令和3)年11月7日(日)午後1時30分から午後2時30分

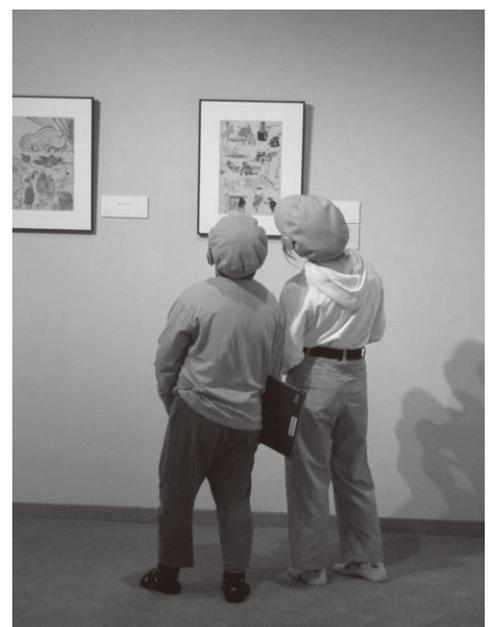
おもな関連記事、番組など

○「爽快!せとうちクルーズ旅」『西 Navi』2021 年(令和3)年9月号、JR 西日本 ○「あのまちこのまちイベント情報」『海陽彩都プラス』No.7、広島中央地域連携中枢都市圏 ○「中国新聞の主催事業」中国新聞、2021(令和3)年9月17日 ○「浮世絵 猫づくしにゃ 呉の蘭島閣美術館で特別展」中国新聞、2021(令和3)年10月10日 ○「猫が登場 多彩な浮世絵」中国新聞、2021(令和3)年10月22日 ○「美術館特別展来月3日無料 蘭島閣と東広島市立」中国新聞、2021(令和3)10月25日 ○「アシタノおでかけカレンダー」『アシタノ vol.14』中国新聞、2021(令和3)年10月15日 ○「ミュージアムで会いましょう」中国新聞、2021(令和3)年10月9日 ○「開館30周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし 上」山下裕子 中国新聞、2021(令和3)年11月13日 ○「開館30周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし 中」山下裕子 中国新聞、2021(令和3)年11月14日 ○「開館30周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし 下」山下裕子 中国新聞、2021(令和3)年11月17日 ○「蘭島閣美術館プレゼント」『ファミリーくれ』11月号、中国新聞 ○「にゃんこづくし 浮世絵で堪能」朝日新聞、2021(令和3)年11月20日 ○「情報ひろば」山陽新聞、2021(令和3)年11月7日、11月14日 ○「おでかけ案内版」『リビングひろしま』11月5日号、広島リビング新聞社 ○「ART」『くれえばん』10月号、株式会社 SA メディアラボ ○「EVENT」『くれえばん』11月号、株式会社 SA メディアラボ ○「monthly Entertainment Art コーナー」『Wink 広島』11月号、株式会社 アスコン ○「市政だよりくれ」10月号、呉市 ○「市政だよりくれ」11月号、呉市 ○「特集②蘭島閣美術館 30 周年」『市政だよりくれ』11月号、呉市 ○「広町国道 185 号線沿いデジタルサイネージ、株式会社グランド

○「くれワンダーランド Journey」中国放送、2021(令和3)年10月8日放送

印刷物

- ポスター B2判 700部
- チラシ A4判(両面刷り) 25,000部
- 出品目録 A3判(両面刷り)



特別展 「開館30周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし」 出品リスト

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法/形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|---------|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|---------|------------|----|

(1) にゃんこ遊ぶ～美人画の中の猫たち

| | | | | | | |
|----|--------|------------------------------|---------------------|--------------|------------|-------|
| 1 | 鈴木春信 | 見立て三宮図 | 1765-70(明和2-7)年頃 | 紙・木版/額装 | 149.0×32.0 | 平野美術館 |
| 2 | 桃扇舎指月 | 見立女三宮図 | 1808(文化5)年 | 紙本彩色/軸装 | 191.0×39.5 | 平野美術館 |
| 3 | 歌川豊国 | 當世屋津し女三宮 | 1789-1801(寛政元-13)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 4 | 歌川国芳 | 源氏雲浮世画合 若菜下 | 1846(弘化3)年頃 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 5 | 歌川国芳 | 源氏雲浮世画合 柏木 | 1846(弘化3)年頃 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 6 | 楊州周延 | 雪月花 山城 大内/花女三宮 | 1885(明治18)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 7 | 喜多川歌麿 | 見る可 徳栄花の一睡 | 1802(享和2)年頃 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 8 | 溪斎英泉 | 當世婦慈美多意 | 1831-45(天保2-弘化2)年頃 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 9 | 溪斎英泉 | 美人と猫図 | 1843-47(天保14-弘化4)年頃 | 紙・木版/額装 | 90.0×45.0 | 平野美術館 |
| 10 | 歌川国貞 | 詠染美女の新形 | 1830(文政13)年頃 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 11 | 歌川国貞 | 當世美女吾妻風景 浅草寺の年の市 | 1822、23(文政5、6)年頃 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 12 | 三代歌川国政 | 當世四季之内 | 1847-52(弘化4-嘉永5)年頃 | 紙・木版(三枚続)/額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 13 | 歌川国芳 | 山海めでたいづえ 十九 はやくきめたい 播州高砂蛸 | 1852(嘉永5)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 14 | 歌川国芳 | 初雪の戯遊 | 弘化4-嘉永5(1847-52)年頃 | 紙・木版(三枚続)/額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 15 | 歌川芳員 | 可ひ子心恵草 | 1859(安政6)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 16 | 落合芳幾 | 東京日々新聞 八百五十六号 | 1874(明治7)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 17 | 月岡芳年 | 見立多以盡 とりけしたい | 1878(明治11)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 18 | 月岡芳年 | 風俗三十二相 あったかそう 寛政年間町屋後家の風俗 | 1888(明治21)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 19 | 楊齋延一 | 雪月花内 新雁落千月 | 1890(明治23)年 | 紙・木版(三枚続)/額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |

(2) いきものまなざし

| | | | | | | |
|----|-------|--------------------|--------------|---------|-----------|-------|
| 20 | 歌川広重 | 名所江戸百景 浅草田圃西の町詣 | 1857(安政4)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 21 | 長谷川貞信 | 名所江戸百景張交 十 | 明治時代 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 22 | 幸野椋嶺 | 椋嶺花鳥画譜 鶏冠花に鷓 | 1883(明治16)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 23 | 幸野椋嶺 | 椋嶺花鳥画譜 桔梗に鷓 | 1883(明治16)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 24 | 幸野椋嶺 | 椋嶺花鳥画譜 菟豆に朱鷺 | 1883(明治16)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 25 | 幸野椋嶺 | 椋嶺花鳥画譜 雁来紅に雁 | 1883(明治16)年 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 26 | 小林清親 | 猫に蝶図 | 1897(明治30)年頃 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 27 | 高橋松亭 | 白猫 | 1926(大正15)年 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |

(3) 風景の中のいきものたち

| | | | | | | |
|----|------|-----------------------------|------------------|---------|-----------|-------|
| 28 | 葛飾北斎 | 絵本駅路鈴 東海道五十三次 三十二 荒井 | 1810(文化7)年頃 | 紙・木版/額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 29 | 葛飾北斎 | 諸国名橋奇覧 えちぜんふくいの橋 | 1833、34(天保4、5)年頃 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 30 | 葛飾北斎 | 北斎翁道之志遠里 袋井 | 1862(文久2)年頃 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 31 | 葛飾北斎 | 北斎翁道之志遠里 藤川 | 1862(文久2)年頃 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 32 | 歌川広重 | 江都名所 志ん橋の図 | 天保後期 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 33 | 歌川広重 | 狂歌入東海道 東海道五拾三次 原 | 1840(天保11)年頃 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 34 | 歌川広重 | 狂歌入東海道 東海道五拾三次 見附 天龍川舟渡し | 1840(天保11)年頃 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 35 | 歌川広重 | 狂歌入東海道 東海道五拾三次 濱松 | 1840(天保11)年頃 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 36 | 歌川広重 | 狂歌入東海道 東海道五拾三次 池鯉鮒 | 1840(天保11)年頃 | 紙・木版/額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |

| | | | | | | |
|----|------|-----------------------------|----------------|---------|-----------|-------|
| 37 | 歌川広重 | 狂歌入東海道 東海道五拾三次 石薬師 問屋場ノ図 | 1840 (天保11) 年頃 | 紙・木版／額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 38 | 歌川広重 | 狂歌入東海道 東海道五拾三次 沼津 | 1840 (天保11) 年頃 | 紙・木版／額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 39 | 歌川広重 | 狂歌入東海道 東海道五拾三次 鞠子 | 1840 (天保11) 年頃 | 紙・木版／額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |
| 40 | 歌川広重 | 狂歌入東海道 東海道五拾三次 袋井 | 1840 (天保11) 年頃 | 紙・木版／額装 | 39.4×50.9 | 平野美術館 |

(4) 物語の中のいきものたち～おそろしき化け猫

| | | | | | | |
|----|------|------------------------------|------------------------|-----------------|-----------|-------|
| 41 | 歌川国貞 | 東海道五十三次之内 白須賀 猫塚 三代目尾上菊五郎 | 1852 (嘉永5) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 42 | 歌川国貞 | 五十三次ノ内 岡部丸子ノ間 宇津谷猫石 | 1854 (安政元) 年 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 43 | 歌川国貞 | 東駅いろは日記 辰世実猫石ノ怪 | 1861 (文久元) 年 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 44 | 歌川国貞 | 東駅いろは日記 | 1861 (文久元) 年 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 45 | 歌川国貞 | 東駅いろは日記 古猫の怪 | 1861 (文久元) 年 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 46 | 歌川国芳 | 五十三次之内 岡崎の場 | 1835 (天保6) 年 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 47 | 歌川国芳 | 東海道五十三對 岡部 | 1843-47 (天保14- 弘化4) 年頃 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 48 | 歌川国芳 | 猫の妙術 | 1847-52 (弘化4- 嘉永5) 年頃 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 49 | 楊州周延 | 嵯峨奥妖猫奇談 おとよの化け猫 | 1880 (明治13) 年 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 50 | 楊州周延 | 五十三次扇宿附 老女二尾実ハ兩尾の古猫 | 1887 (明治20) 年 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 51 | 歌川芳藤 | 五拾三次之内猫之怪 | 1847 (弘化4) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 52 | 鳥居清長 | 金太郎図 (絵馬を眺める金太郎) | 寛政末期頃 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 53 | 鳥居清長 | 金太郎図 (烏天狗の相撲) | 1812 (文化9) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |

(5) 戯画～どうぶつたちのたわむれ

| | | | | | | |
|----|------|----------------------------------|------------------------|--------------------|-----------|-------|
| 54 | 歌川国麿 | 列女お竹八大日如来の化身にて 衆生さいどのため御経読誦之図 | 1847-52 (弘化4- 嘉永5) 年頃 | 紙・木版 (二枚続) / 額装 | 50.5×66.0 | 平野美術館 |
| 55 | 歌川国貞 | 役者猫変相図 | 1828-33 (文政11- 天保4) 年頃 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 56 | 歌川国芳 | 名誉右に無敵左り甚五郎 | 1847-52 (弘化4- 嘉永5) 年頃 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |
| 57 | 歌川国芳 | 荷宝蔵壁のむだ書き | 1847 (弘化4) 年頃 | 紙・木版 (三枚続内二枚) / 額装 | 50.5×66.0 | 平野美術館 |
| 58 | 落合芳幾 | 与ハなさけ浮世の横ぐし | 1860 (万延元) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 59 | 落合芳幾 | 虎の豹蠻 戯遊鈴ヶ森 | 1860 (万延元) 年 | 紙・木版 (二枚続) / 額装 | 50.5×66.0 | 平野美術館 |
| 60 | 歌川芳豊 | おとら 蘭平 千里海路洞嫁 | 1860 (万延元) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 61 | 歌川芳藤 | 兎絵 勳進相撲之図 | 1873 (明治6) 年 | 紙・木版 (三枚続) / 額装 | 45.0×90.0 | 平野美術館 |

(6) おもちゃ絵の中のにゃんこたち

| | | | | | | |
|----|--------|--------------------|-----------------------|---------|-----------|-------|
| 62 | 作者不詳 | おもちゃ絵 | 明治時代 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 63 | 歌川芳員 | 判じ絵 | 1858 (安政5) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 64 | 歌川国芳 | はんじもの | 1847-52 (弘化4- 嘉永5) 年頃 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 65 | 三代歌川国政 | 新唄びっくりしゃっくりぶし | 1868 (明治元) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 66 | 歌川芳藤 | 志ん板猫づくし | 1868 (明治元) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 67 | 歌川芳藤 | 志ん板猫のたわむれ 猫の理髪店 | 1871-87 (明治4-20) 年頃 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 68 | 歌川芳藤 | 新板戯猫の忠臣蔵 | 1882 (明治15) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 69 | 歌川芳藤 | 志ん板猫のよめ入 | 1883 (明治16) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 70 | 歌川周重 | 志ん板ねことうさぎきょうえん | 1869-82 (明治2-15) 年頃 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 71 | 歌川国年 | 新版ねこ尽シ | 1884 (明治17) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 72 | 小林幾英 | 新板猫の勉強学校 | 1887 (明治20) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 73 | 蜂須賀国明 | 志んはん猫づくし 五十五 | 1883 (明治16) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 74 | 梅松 | 志ん板猫のおそめ久松 | 明治時代 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 75 | 歌川国利 | 志ん板子猫のたわむれ | 1881 (明治14) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 76 | 歌川国利 | 新板猫生徒たわむれあそび | 1887 (明治20) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |

| | | | | | | |
|----|--------|-----------------|--------------------------|----------------|-------------|-------|
| 77 | 作者不詳 | 志ん板猫の湯 | 1881 (明治 14) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 78 | 作者不詳 | 志ん板猫の温泉 | 明治時代 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 79 | 作者不詳 | 新版猫乃狂言つくし | 明治時代 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 80 | 作者不詳 | 志んぱんにゃこにゃこつくし | 明治時代 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 81 | 豊原国周 | 羽子板絵 | 明治時代初頭 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 82 | 小林幾英 | 志ん板あねさま両めん合 | 1885 (明治 18) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 83 | 作者不詳 | 新版ねこの大芝居 | 明治時代 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 84 | 作者不詳 | 猫芝居観劇組み立て絵 | 1880 (明治 13) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 85 | 延重 | 新版美形寿語六 | 1896 (明治 29) 年 | 紙・木版／額装 | 85.0×66.0 | 平野美術館 |
| | | 新版美形寿語六 附属品 (袋) | 1896 (明治 29) 年 | 紙・木版／額装 | 42.5×34.8 | 平野美術館 |
| 86 | 歌川国利 | 新版獣物ツクシ | 1894、95 (明治 27、28) 年 | 紙・木版 (二枚) / 額装 | 各 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 87 | 作者不詳 | 新版猫づくし | 1888 (明治 21) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 88 | 歌川重宣 | 新版魚づくし | 1847-52 (弘化 4 - 嘉永 5) 年頃 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 89 | 歌川国利 | 水族魚づくし | 明治時代 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 90 | 歌川芳兼 | 新版虫づくし | 1854 (安政元) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 91 | 作者不詳 | 志ん板ばかされ尽 | 1896 (明治 29) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |
| 92 | 四代歌川国政 | 志ん板だいでこどうぐ | 1883 (明治 16) 年 | 紙・木版／額装 | 50.9×39.4 | 平野美術館 |

特別展

須田国太郎 in Spain

会期 2021（令和3）年10月1日〔金〕－11月29日〔月〕

*当初予定していた2021（令和3）年8月25日〔土〕から10月25日〔月〕までの会期を、新型コロナウイルス感染拡大の影響（臨時休館の措置）により上記に変更

2021（令和3）年に生誕130年、没後60年を迎えた須田国太郎（1891-1961）。学術研究から芸術の世界に足を踏み入れ、美術史家としても知られる異色の洋画家である。本展では、画家への道の足がかりとなった重要なスペイン留学時代を中心に、その前後の作品とあわせて須田の軌跡を辿った。

（1）初期（滞欧前）

京都帝国大学で美学・美術史を専攻し、「写実主義」や「絵画の理論と技巧」をテーマに研究に励んだ須田。本格的な絵画修業を始めたのは、研究に実践を伴う必要性を感じた大学院在学中で、洋画家の浅井忠が創立した関西美術院で都取英喜（ととりえいき）などにデッサンを学んだ。

本コーナーでは須田の生涯をまとめた解説パネルとともに、2枚の自画像と初期の風景画を紹介。画壇デビュー前、学者として活動していた38歳ごろに描いた繊細な面持ちの自画像と47歳ごろに描いた自信に満ちた表情の自画像を展示。須田の作品は全般的に暗い色彩表現で知られている。しかし初期の作品では、まだその傾向が弱い、明るい色彩で描かれた「八坂の塔」などを展示した。

（2）スペイン留学中の模写

1900年代初頭、多くの日本人画家が美術の最先端であったフランスを目指す中、須田は28歳の時にスペインへ渡った。近世絵画の起点をルネサンス期ベネチア派に見出し、その絵画コレクションが充実したスペインのブラド美術館を拠点に定めたのだ。過去の巨匠たちの作品模写に勤しみ、歴史や美学に加えて西洋絵画への理解を深めていった。美術館で原画を前に描いた模写は十数点に及び、100号を超える大作も多く手がけている。原画に似せて上手く描くことを目的とせず、巨匠たちの作品を教科書に、技法から構図や配色、作品の歴史背景まで探ることを志した。独学で油彩画を始め、美学・美術史に通じた須田ならではの修業方法と言える。4年間にわたる留学で、約15カ国170を超える町を精力的に訪問し、西洋美術史におけるおもな建築や絵画を自分の目で確かめて回った。当時の日本人で、ここまで油絵の歴史や技法に精通した人物は一握りであった。スペインでの経験は、後の画家活動に至る縁や土壌を育てていった。

本コーナーでは、須田の模写作品をほぼ制

作順で紹介。ベネチア派の巨匠ティントレットをはじめ、パルマ・イル・ヴェッキオやティツィアーノ、マニエリスムのエル・グレコ、スペインの画家ルイス・デ・モラレスやロマン主義のゴヤらの作品の模写を展示した。西洋美術史の展開にあわせて模写をおこなっており、その画面の変化を模写で探求しているところがおもしろい。

（3）須田の留学時の足跡 滞欧写真

本展では、当館が所蔵する194枚の須田が留学時に撮影したと思われる滞欧写真を調査、整理し、一部初公開した。岡田三郎著「須田国太郎 資料研究」の須田の日記をもとに、留学時に訪れた約15カ国、170以上の町を地図に落としとして視覚化。56枚の滞欧写真と合わせて展示してその足跡を辿り、須田の芸術に対する情熱を示す一冊とした。194枚の写真は解説付きでプロジェクターで投影した。

（4）須田の描いたスペイン

紀元前からの歴史を持ち、城壁と聖人の町として知られるスペインの古都を描いた、須田の代表作「アーヴィラ」をはじめ、留学時に手がけたスペインの風景画を紹介した。

（5）須田の描いた日本

須田にとって遅い青春といえる留学経験は、大きな刺激となり、後の人生に影響を与えていった。そして41歳の時に画壇デビューを果たし、画家として、時に美術史家として活動する、当時では稀有な芸術家の一人となった。西洋の技法で東洋の精神を融合させる世界を目指し、独特な画風と技法を展開していく。

須田は、生涯にわたりさまざまな対象を描き続けた。本コーナーでは帰国後から晩年までの作品を、風景、動物、植物・静物、人物と対象別に紹介した。

（6）父の思い出

須田国太郎のご子息、須田寛氏に「父の思い出」と題してお話いただき、公開撮影をおこなった。その画像を即時編集し、会期中放映した。

1「絵描きと人柄」2「父から聞いたスペイン留学」3「父・須田国太郎と瀬戸内地方への随行」の3部構成15分。

（湯浅ひろみ）



特別展名称

須田国太郎 in Spain

会期

2021(令和3)年10月1日(金)ー11月29日(月)

会場

三之瀬御本陣芸術文化館

主催

公益財団法人蘭島文化振興財団、呉市、中国新聞社

後援

NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FM ちゅーピー 76.6MHz

助成

芸術文化振興基金助成事業

関連行事

●ワークショップ

「油絵でぬりぬり」

10月1日(金)から11月29日(日)までの
毎週日曜日 *ただし、10月3日(日)、17日(日)を除く
午前10時から午後2時まで

場所：三之瀬御本陣芸術文化館 エントランス

●作品解説

10月17日(日)午後1時30分から

講師：原田平作(美術史家・大阪大学名誉教授)

場所：三之瀬御本陣芸術文化館 展示室

●公開ビデオ撮影

10月3日(日)午前11時から

ひ子息・須田寛氏「父の思い出」を語る

場所：三之瀬御本陣芸術文化館 展示室

おもな関連記事、番組など

○中国新聞 主催行事、2021(令和3)年8月6日
○中国新聞 催しの延期について、2021(令和3)年8月27日と9月11日 ○「スペイ

ン留学 画風の原点」中国新聞、2021(令和3)年9月24日 ○「ART」『くれえばん』9月号、株式会社SAメディアラボ ○「市政だよりくれ」9月号、呉市 ○「市政だよりくれ」10月号、呉市 ○「市政だよりくれ」12月号、呉市 ○「須田国太郎原点に迫る」中国新聞 2021(令和3)年10月2日 ○「須田展 延長 長男寛さん解説動画収録」中国新聞 2021(令和3)年10月7日 ○「ミュージアムで会いましょう 2021 秋」中国新聞、2021(令和3)年10月9日 ○「須田特別展で美術史家解説」中国新聞 2021(令和3)年10月14日 ○「異色の洋画家 留学期に光」中国新聞 2021(令和3)年11月11日 ○「安芸灘だより」11月号No.217、下蒲刈まちづくり市民センター ○広町国道185号線沿いデジタルサイネージ、株式会社グランド

○「くれワンダーランド Journey」中国放送、2021(令和3)年8月20日放送

印刷物

- ポスター B2判(片面刷り) 800部
- チラシ A4判二つ折り(両面刷り) 32,000部
- チラシ A4判(両面刷り) 7,000部
日程変更により追加印刷
- 出品目録 A4判(両面刷り)



特別展 「須田国太郎 in Spain」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法/形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|---------|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|---------|------------|----|

(1) 須田国太郎について

| | | | | | | |
|---|-------|-----|----------------|-------------|------------|-----------|
| 1 | 土門拳 | 照影 | 1953 (昭和28) 年 | 写真/額装 | 119.5×89.5 | |
| 2 | 須田国太郎 | 自画像 | 1929 (昭和4) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 53.0×41.0 | 京都国立近代美術館 |
| 3 | 須田国太郎 | 自画像 | 1938 (昭和13) 年頃 | キャンバス・油彩/額装 | 45.5×38.0 | 京都国立近代美術館 |

(2) 初期(滞欧前)

| | | | | | | |
|---|-------|------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 4 | 須田国太郎 | 校舎 | 1914 (大正3) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 34.5×46.5 | 京都国立近代美術館 |
| 5 | 須田国太郎 | 八坂の塔 | 1915 (大正4) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 45.5×33.6 | 京都市美術館 |

(3) スペイン留学中の模写

| | | | | | | |
|----|-------|--|---------------|-------------|-------------|-----------|
| 6 | 須田国太郎 | ティントレット作 《耶穌洗礼図》模写 | 1919 (大正8) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 138.5×116.5 | 京都国立近代美術館 |
| 7 | 須田国太郎 | ティントレット作《ヘラクレス 悪魔をオンフェルスの床より 追う》模写 | 1921 (大正10) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 85.0×83.0 | 京都国立近代美術館 |
| 8 | 須田国太郎 | バルマ・イル・ヴェッキオ作 《農民礼拝》模写 | 1921 (大正10) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 119.0×168.5 | 京都市美術館 |
| 9 | 須田国太郎 | ティツィアーノ作 《アダムとイブ》(部分) 模写 | 1920 (大正9) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 62.5×69.0 | 京都市美術館 |
| 10 | 須田国太郎 | モラーレス作《聖母子》模写 | 1922 (大正11) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 81.5×65.0 | 京都国立近代美術館 |
| 11 | 須田国太郎 | ゴヤ作《ウルティヤ將軍像》 (部分) 模写 | 1923 (大正12) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 51.3×39.5 | 京都市美術館 |
| 12 | 須田国太郎 | ゴヤ作《画家バイエウの肖像》 (部分) 模写 | 1923 (大正12) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 51.5×39.8 | 京都市美術館 |
| 13 | 須田国太郎 | ゴヤ作《バルマ公ドン・ルイス 像》(部分) 模写 | 1923 (大正12) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 51.5×39.8 | 京都市美術館 |
| 14 | 須田国太郎 | エル・グレコ作《十字架》 (部分) 模写 | 1921 (大正10) 年 | キャンバス・油彩/額装 | 81.0×64.5 | 京都国立近代美術館 |

(4) 須田の留学時の足跡 須田の滞欧写真

| | | | | | | |
|----|---------------|----------------------------|--|--------|----------------|--|
| 15 | 須田国太郎愛用品 | トランク | | 革張り・金属 | 34.0×51.0×96.0 | |
| 16 | | 革かばん | | 革 | 33.5×43.0×12.0 | |
| 17 | | 革帽子 | | 革 | 16.0×30.0×33.0 | |
| 18 | | イーゼル | | 木製 | 193.0×73.0×55 | |
| 19 | 須田国太郎 滞欧写真 | スペイン・マドリッド郊外 | | 写真/額装 | 11.0×8.2 | |
| 20 | | イタリア・ボンベイ | | 写真/額装 | 5.6×7.8 | |
| 21 | | スペイン・マドリッド 《マドリ市内にて》 | | 写真/額装 | 10.3×7.2 | |
| 22 | | スペイン・シグエンサ 《Santiago 教会》 | | 写真/額装 | 10.5×7.9 | |
| 23 | | スペイン・サラゴサ 《ビリャフェリチェ ダロカ附近》 | | 写真/額装 | 8.0×10.5 | |
| 24 | | スペイン・カラタユー | | 写真/額装 | 7.8×10.3 | |
| 25 | | スペイン・トレド 《Corpus 祭り》 | | 写真/額装 | 10.5×7.8 | |
| 26 | | スペイン・パレンシア 《ドス・アグアス邸》 | | 写真/額装 | 10.5×7.9 | |
| 27 | | ミャンマー・ヤンゴン 《安南丸》 | | 写真/額装 | 7.7×10.5 | |
| 28 | | イギリス・ロンドン 《ボートレース見物場1》 | | 写真/額装 | 7.3×10.0 | |
| 29 | | イタリア・ローマ 《ヴァチカンを望む》 | | 写真/額装 | 7.9×10.4 | |
| 30 | | イタリア・パレルモ 《パレルモの馬車》 | | 写真/額装 | 7.9×10.4 | |
| 31 | | エジプト・ギザ 《ピラミッド》 | | 写真/額装 | 7.9×10.5 | |
| 32 | | ドイツ・ハーゲン 《Hagen の古家》 | | 写真/額装 | 7.8×10.3 | |
| 33 | | ポルトガル・コインブラ 《大聖堂》 | | 写真/額装 | 8.3×10.8 | |
| 34 | | インド・ニューデリー 《ジャンタル・マンタル》 | | 写真 | 四つ切り | |
| 35 | | インド・アーグラ 《タージ・マハル》 | | 写真 | 四つ切り | |
| 36 | | インド・アジャンター石窟群 | | 写真 | 四つ切り | |
| 37 | | オーストリア・ウィーン 《ホーフブルグ王宮》 | | 写真 | 四つ切り | |

*無表記は財団所蔵

| | | | | | |
|----|-------|-------------------------------|-------|----------|--|
| 38 | | フランス・モンペリエ 《三美神の噴水》 | 写真 | 四つ切り | |
| 39 | | スペイン・マドリード 《王立美術学校》 | 写真/額装 | 10.9×8.4 | |
| 40 | | スペイン・マドリード 《アルカラー通りのスペイン銀行》 | 写真/額装 | 10.6×8.2 | |
| 41 | | スペイン・マドリード 《よく来るビール屋》 | 写真/額装 | 8.0×10.6 | |
| 42 | | スペイン・マドリード 《活動写真館》 | 写真/額装 | 8.3×10.9 | |
| 43 | | スペイン・マドリード 《グラン・ビア通り》 | 写真/額装 | 8.2×10.7 | |
| 44 | | スペイン・マドリード 《マドリード闘牛場》 | 写真/額装 | 10.6×8.0 | |
| 45 | | スペイン・ア・コルーニャ | 写真/額装 | 10.4×8.1 | |
| 46 | | ポルトガル・トマール 《モウシオン公園》 | 写真/額装 | 8.1×10.5 | |
| 47 | | フランス パリ 《キルトと皿と》 | 写真/額装 | 8.1×10.3 | |
| 48 | | ポルトガル・ポルト 《市立図書館》 | 写真/額装 | 8.0×10.4 | |
| 49 | | オランダ・ハールレム 《フランス・ハルス美術館》 | 写真/額装 | 10.6×7.1 | |
| 50 | | ドイツ/フランクフルト・アム・メイン 《レーマ広場》 | 写真/額装 | 10.7×7.0 | |
| 51 | 須田国太郎 | ベルギー・ブリュッセル 《グラン・プラス 市庁舎》 | 写真/額装 | 11.6×8.6 | |
| 52 | 渡欧写真 | ベルギー・ヘント (複製) 《フランドル伯居城駅付近》 | 印刷/額装 | 9.8×8.0 | |
| 53 | | スペイン・オウレンセ 《大聖堂》 | 写真/額装 | 10.6×8.2 | |
| 54 | | イタリア・フィレンツェ 《ロZZア・デ・ランツィの彫刻》 | 写真/額装 | 10.2×7.7 | |
| 55 | | イタリア・アレツォ 《グランデ広場》 | 写真/額装 | 7.7×10.1 | |
| 56 | | イタリア・ローマ 《カピトリオ広場のローマ市庁舎》 | 写真/額装 | 10.2×7.7 | |
| 57 | | イタリア・カプリ 《カプリ島にて》 | 写真/額装 | 9.8×7.5 | |
| 58 | | イタリア・バルマ 《バルマ大聖堂》 | 写真/額装 | 9.8×7.4 | |
| 59 | | イタリア・ベネチア (複製) | 印刷/額装 | 9.8×8.0 | |
| 60 | | スペイン・シグエンサ 《マヨール広場の朝市》 | 写真/額装 | 10.2×7.7 | |
| 61 | | スペイン・タラヴェラ 《ローマ橋》 | 写真/額装 | 7.6×10.3 | |
| 62 | | スペイン・カセレス 《太陽の家》 | 写真/額装 | 10.4×7.8 | |
| 63 | | スペイン・サラゴサ 《サン・パブロ教会》 | 写真/額装 | 10.9×8.4 | |
| 64 | | スペイン・カラタユー 《製縄坊》 | 写真/額装 | 8.0×10.8 | |
| 65 | | スペイン・セビリア 《スルバランの作品》 | 写真/額装 | 9.8×8.0 | |
| 66 | | ドイツ・ベルリン 《ウンター・デン・リンデン通りの広告柱》 | 写真/額装 | 10.7×7.1 | |
| 67 | | スペイン・モヘンテ | 写真/額装 | 8.0×10.5 | |
| 68 | | スペイン・ピク | 写真/額装 | 10.3×8.1 | |
| 69 | | ドイツ・ドレスデン 《ゼンパーオーバー》 | 写真/額装 | 11.8×8.8 | |
| 70 | | スペイン・セゴビア 《サンマルティン教会回廊から》 | 写真/額装 | 10.7×7.7 | |
| 71 | | イギリス・ロンドン 《ボートレース見物場2》 | 写真/額装 | 7.0×9.7 | |
| 72 | | イタリア・ローマ 《マッシモ・アレ・コロネ宮殿》 | 写真/額装 | 10.4×7.9 | |
| 73 | | イタリア・シチリア | 写真/額装 | 7.9×9.6 | |
| 74 | | エジプト・カイロ 《エジプト織物博物館》 | 写真/額装 | 10.4×7.9 | |

(5) 須田国太郎渡欧写真のライドショー

| | | |
|--|---------------------------------------|--|
| *須田がスペイン留学中に撮影した194枚の写真をライドショーで紹介。(ライド約7分) | 主画面：展示壁面投影 再生装置：SDカード 制御装置：プロジェクター | |
|--|---------------------------------------|--|

(6) 須田の描いたスペイン

| | | | | | | |
|----|-------|------------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 75 | 須田国太郎 | モヘンテ | 1922 (大正11)年 | キャンバス・油彩/額装 | 66.6×81.4 | |
| 76 | 須田国太郎 | ミゲール寺院にて | 1922 (大正11)年 | キャンバス・油彩/額装 | 72.0×50.0 | 京都国立近代美術館 |
| 77 | 須田国太郎 | グレコ・イベリヤの首 | 1931 (昭和6)年 | キャンバス・油彩/額装 | 53.0×72.5 | 京都国立近代美術館 |
| 78 | 須田国太郎 | アーヴィラ | 1920 (大正9)年 | キャンバス・油彩/額装 | 51.8×64.0 | 京都国立近代美術館 |
| 79 | 須田国太郎 | サモラ郊外 | 1920 (大正9)年 | キャンバス・油彩/額装 | 37.5×45.0 | 京都市美術館 |

(7) 須田の描いた日本の風景

| | | | | | | |
|----|-------|----------|--------------------|-------------|-----------|----|
| 80 | 須田国太郎 | 牛 | 1934 (昭和9)年 | キャンバス・油彩/額装 | 65.0×80.0 | |
| 81 | 須田国太郎 | 花山天文台遠望 | 1931 (昭和6)年 | キャンバス・油彩/額装 | 64.5×90.5 | |
| 82 | 須田国太郎 | 雨後 (水間村) | 1935 (昭和10)年 | キャンバス・油彩/額装 | 65.0×80.3 | 寄託 |
| 83 | 須田国太郎 | 月瀬平 | 1949 (昭和24)年 | キャンバス・油彩/額装 | 45.5×53.0 | |
| 84 | 須田国太郎 | 富士遠望 | 1943-44 (昭和18-19)年 | キャンバス・油彩/額装 | 45.0×52.6 | |
| 85 | 須田国太郎 | 黒つぐみ | 1942 (昭和17)年 | キャンバス・油彩/額装 | 45.5×53.0 | |

(8) 戦争期 * 無表記は財団所蔵

| | | | | | | |
|----|-------|------|----------------|-------------|-----------|--|
| 86 | 須田国太郎 | 黄豹 | 1944 (昭和 19) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 45.5×53.0 | |
| 87 | 須田国太郎 | 溪流の鷺 | 1942 (昭和 17) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 38.0×45.5 | |

(9) 植物・静物 (身近な自然へのまなざし)

| | | | | | | |
|----|-------|---------|----------------|-------------|-----------|--|
| 88 | 須田国太郎 | 紅薔薇 | 1942 (昭和 17) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 44.5×52.0 | |
| 89 | 須田国太郎 | 雑草 | 1940 (昭和 15) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 65.0×91.0 | |
| 90 | 須田国太郎 | 静物 (蔬菜) | 1940 (昭和 15) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 52.8×45.4 | |
| 91 | 須田国太郎 | ざくろ | 1940 (昭和 15) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 24.3×33.4 | |

(10) 須田の人物画

| | | | | | | |
|----|-------|-------------|-------------------------|-------------|-------------|-----------|
| 92 | 須田国太郎 | 裸婦習作 | 1925-34 (大正 14- 昭和 9) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 90.3×60.2 | |
| 93 | 須田国太郎 | 裸婦 | 1934 (昭和 9) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 90.4×60.6 | |
| 94 | 須田国太郎 | 修理師 | 1938 (昭和 13) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 110.5×161.2 | 京都国立近代美術館 |
| 95 | 須田国太郎 | 夫婦の像 | 1944 (昭和 19) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 45.6×53.0 | |
| 96 | 須田国太郎 | 大和室生寺十一面観音像 | 1951 (昭和 26) 年 | 紙・油彩／額装 | 32.8×27.0 | |
| 97 | 須田国太郎 | 裸婦 | 1957 (昭和 32) 年 | キャンバス・油彩／額装 | 44.7×27.5 | |

(11) 父の思い出 (須田国太郎思い出の部屋)

| | | | |
|----|--|---|---|
| 98 | <p>須田寛氏による映像証言「父の思い出」放映。(15分)</p> <p>1「絵描きと人柄」2「父から聞いたスペイン留学」3「父・須田国太郎と瀬戸内地方への随行」の3部構成15分。</p> <p>*その他、須田国太郎が制作した陶器、使用した画材、イーゼルなど須田の思い出の品々を紹介。</p> | <p>主画面：展示壁面投影</p> <p>再生装置：USB</p> <p>制御装置：プロジェクター</p> | <p>2021年10月3日撮影</p> <p>製作：三之瀬御本陣芸術文化館</p> |
|----|--|---|---|

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

蘭島閣美術館 所蔵品公開事業

所蔵品展Ⅰ 24-26p

所蔵品展Ⅱ 27-29p

所蔵品展Ⅲ 30-32p

所蔵品展Ⅳ 33-35p

所蔵品展Ⅴ 36-38p

蘭島閣美術館 所蔵品展 I

描かれた美しい花々

2021（令和3）年4月14日〔水〕—6月14日〔月〕

四季の移ろいによって美しく変化する日本の風土は、人々に自然に親しみながら生活する喜びを与えてきた。そのなかでも特に移りゆく季節の中で見られる花々をこよなく愛し、絵画や工芸品などさまざまな作品に取り入れ、生活の場を豊かに装飾している。

本展では、特に季節の移り変わりの中で見られる花々が描かれた作品を日本画や油彩画、工芸から幅広く展示した。四季折々の花々を主題にした作品からは、それぞれの画家たちによる多彩で豊かな表現と花々への思いを感じ取ることができる。展示では、近現代の画家たちが描いた美しく咲き誇る四季折々の花々の名品を、多数紹介した。

（山下裕子）

関連行事

●おはながみで牡丹をつくろう

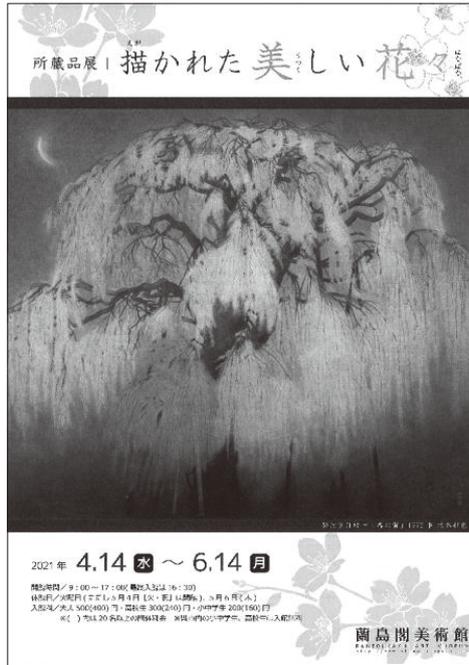
2021（令和3）年4月24日（土）、4月25日（日）、5月8日（土）、5月9日（日）、6月5日（土）、6月6日（日）

おもな関連記事、番組など

- 「EVENT」『くれえぱん』5月号、株式会社SAメディアラボ
- 「エンタメnavi! コーナー」『TJ Hiroshima』5月号、株式会社アドプレックス
- 「市政だよりくれ」4月号、呉市
- 「市政だよりくれ」5月号、呉市

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）6,000部
- 出品目録 A3判（両面刷り）



展示では、日本の移ろいによって美しく変化する自然に親しみながら生活する喜びをテーマとして、そのなかでも特に移りゆく季節の中で見られる花々をこよなく愛し、絵画や工芸品などさまざまな作品に取り入れ、生活の場を豊かに装飾している。そのなかでも特に移りゆく季節の中で見られる花々をこよなく愛し、絵画や工芸品などさまざまな作品に取り入れ、生活の場を豊かに装飾している。

企画イベント
おはながみで牡丹をつくろう
 4月24日（土）10:00～11:00 / 4月25日（日）10:00～11:00 / 5月8日（土）10:00～11:00 / 5月9日（日）10:00～11:00 / 6月5日（土）10:00～11:00 / 6月6日（日）10:00～11:00
 申込：無料 / 参加費：500円（材料費別）
 申込先：Rikuzan-kan Museum / 電話：082-265-3056 / FAX：082-265-3022
 メール：rikuzan@rikuzan-kan.com

関連記事の掲載先
 『くれえぱん』5月号、株式会社SAメディアラボ
 『エンタメnavi! コーナー』『TJ Hiroshima』5月号、株式会社アドプレックス
 『市政だよりくれ』4月号、呉市
 『市政だよりくれ』5月号、呉市

出品目録のご案内
 本展の出品目録は、Rikuzan-kan Museumのホームページに掲載されています。詳しくは、Rikuzan-kan Museumのホームページをご覧ください。

お問い合わせ
 Rikuzan-kan Museum / 電話：082-265-3056 / FAX：082-265-3022
 メール：rikuzan@rikuzan-kan.com



蘭島閣美術館 所蔵品展「描かれた美しい花々」出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 花を描く 南薫造と交流があった画家たち

| | | | | | | | |
|----|-------|-----------|-------------|----------|----|-----------|----|
| 1 | 小林和作 | 桜 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 29.5×33.7 | |
| 2 | 小林和作 | ぼたん | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 26.6×17.8 | |
| 3 | 小林和作 | 藤の花 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 69.1×33.4 | |
| 4 | 小林和作 | あやめ | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 26.7×46.9 | |
| 5 | 小林和作 | あじさい | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 33.3×39.7 | |
| 6 | 小林和作 | けしの花 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 30.3×63.4 | |
| 7 | 小林和作 | けしの花 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 34.8×51.8 | |
| 8 | 南薫造 | 花蝶 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 37.5×44.5 | 寄託 |
| 9 | 南薫造 | 水汲場 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.7×90.5 | |
| 10 | 南薫造 | 庭の一隅 | 1922(大正11)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 50.1×60.2 | |
| 11 | 南薫造 | 花カゴを持てる少女 | 1935(昭和10)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 80.5×65.2 | |
| 12 | 南薫造 | 石膏像と花 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.0×49.5 | |
| 13 | 久米桂一郎 | 卓上静物 | 1930(昭和5)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.7×38.0 | |
| 14 | 小寺健吉 | 溪流と夏草 | 1947(昭和22)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.5×91.0 | |

(2) 特集展示 瀬戸内風景を描く

| | | | | | | | |
|----|-----|-------------|-------------|----------|----|-----------|--|
| 15 | 南薫造 | 串山のみかん畑 | 1948(昭和23)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.1×45.4 | |
| 16 | 南薫造 | 安浦の海(稚児の明神) | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 28.0×38.0 | |
| 17 | 南薫造 | 倉橋島鹿呂渡 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 13.0×26.0 | |
| 18 | 南薫造 | 御手洗笠橋より | 制作年不詳 | 紙・水彩・コンテ | 額装 | 13.0×26.0 | |
| 19 | 南薫造 | 安芸蒲刈小島 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 27.2×23.9 | |

(3) 広島画家たちによる花の表現

| | | | | | | | |
|----|-------|----------|-------------|------|----|-------------|----|
| 20 | 池田栄廣 | 四季襖絵(春) | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 172.5×90.5 | |
| | 池田栄廣 | 四季襖絵(夏) | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 172.5×90.5 | |
| | 池田栄廣 | 四季襖絵(秋) | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 172.5×90.5 | |
| | 池田栄廣 | 四季襖絵(冬) | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 172.5×90.5 | |
| 21 | 丸木位里 | 臥龍梅(夜明け) | 1963(昭和38)年 | 紙本彩色 | 額装 | 69.5×69.5 | |
| 22 | 船田玉樹 | 山桜 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 27.2×24.2 | 寄託 |
| 23 | 船田奇岑 | 藤 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 181.6×363.4 | |
| 24 | 青山博之 | 牡丹図 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 111.5×62.5 | |
| 25 | 塩出英雄 | 風景 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 48.8×60.2 | 寄託 |
| 26 | 西田俊英 | 泰山木 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 65.5×91.0 | |
| 27 | 福原匠一 | 春香 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 91.0×72.7 | |
| 28 | 佐々木辰也 | 牡丹 | 1990(平成2)年 | 紙本彩色 | 額装 | 91.0×227.0 | |

(4) 堅山南風-四季の花図鑑

| | | | | | | | |
|----|------|--------|-------------|------|----|-----------|--|
| 29 | 堅山南風 | ウメ | 1942(昭和17)年 | 紙本彩色 | 額装 | 42.4×31.5 | |
| 30 | 堅山南風 | ソメイヨシノ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 58.4×46.0 | |
| 31 | 堅山南風 | ハナカイドウ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 22.0×30.3 | |
| 32 | 堅山南風 | チューリップ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 34.0×51.5 | |
| 33 | 堅山南風 | ボタン | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 36.0×25.7 | |
| 34 | 堅山南風 | ボタン | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 33.5×47.4 | |
| 35 | 堅山南風 | ハナザクロ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 31.3×28.5 | |
| 36 | 堅山南風 | ナツツバキ | 1945(昭和20)年 | 紙本彩色 | 額装 | 31.4×42.7 | |
| 37 | 堅山南風 | ガクアジサイ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 40.8×52.8 | |
| 38 | 堅山南風 | バラ | 1953(昭和28)年 | 紙本彩色 | 額装 | 43.7×30.5 | |
| 39 | 堅山南風 | ヤマユリ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 57.8×45.7 | |
| 40 | 堅山南風 | テッポウユリ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 30.0×42.0 | |
| 41 | 堅山南風 | キキョウ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 25.7×32.6 | |
| 42 | 堅山南風 | ケン | 1950(昭和25)年 | 紙本彩色 | 額装 | 43.5×30.7 | |
| 43 | 堅山南風 | アサガオ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 34.2×44.8 | |
| 44 | 堅山南風 | ハナショウブ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 43.0×31.2 | |

| | | | | | | | |
|----|------|-------|----------------|------|----|-----------|--|
| 45 | 堅山南風 | リンドウ | 1941 (昭和 16) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 31.7×42.6 | |
| 46 | 堅山南風 | クサギ | 1948 (昭和 23) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 31.0×42.0 | |
| 47 | 堅山南風 | ノコンギク | 1944 (昭和 19) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 31.2×42.5 | |
| 48 | 堅山南風 | キク | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 45.3×57.5 | |
| 49 | 堅山南風 | ツバキ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 31.5×42.5 | |
| 50 | 堅山南風 | スイセン | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 46.4×58.2 | |

(5) 工芸から見る四季の表現

| | | | | | | |
|----|---------------|------------|---------------|---------------------|---------------------|--|
| 51 | 今泉今右衛門 (十三代) | 鍋島松竹梅文皿 | 制作年不詳 | 磁器 | 高 4.3 口径 15.4 | |
| 52 | 酒井田柿右衛門 (十三代) | 色絵桜楓文皆具 水指 | 制作年不詳 | 磁器 | 高 16.4 径 17.0 | |
| | 酒井田柿右衛門 (十三代) | 色絵桜楓文皆具 柄立 | 制作年不詳 | 磁器 | 高 18.2 径 9.2 | |
| | 酒井田柿右衛門 (十三代) | 色絵桜楓文皆具 蓋置 | 制作年不詳 | 磁器 | 高 4.5 径 5.5 | |
| | 酒井田柿右衛門 (十三代) | 色絵桜楓文皆具 建水 | 制作年不詳 | 磁器 | 高 8.7 径 15.0 | |
| | 色絵備前紫陽花文徳利 | 18 世紀 | 陶器 | 高 4.0 口径 40 底径 12.0 | | |
| 54 | 今井政之 | 象嵌彩桔梗水指 | 1990 (平成 2) 年 | 陶器 | 高 20.3 径 19.8 | |
| 55 | 今井政之 | 象嵌志野鶯草花瓶 | 1996 (平成 8) 年 | 陶器 | 高 9.3 径 26.3 | |
| 56 | 今井政之 | 象嵌志野柿茶碗 | 1990 (平成 2) 年 | 陶器 | 高 7.8 口径 14.1 | |
| 57 | 永楽善五郎 | 仁清手龍田川水指 | 制作年不詳 | 陶器 | 高 17.2 径 17.5 | |
| 58 | 若尾利貞 | 鼠志野水指 | 制作年不詳 | 陶器 | 高 15.3 径 15.3×16.6 | |
| 59 | 三輪龍氣生 (十二代休雪) | 初咲碗 | 制作年不詳 | 陶器 | 高 10.0 口径 10.8 | |
| 60 | 三輪龍氣生 (十二代休雪) | 萩蓋物 | 制作年不詳 | 陶器 | 高 12.7 口径 37.3×49.1 | |

(6) 日本画にみる春の花の表現

| | | | | | | | |
|----|--------|-----------|-----------------|---------|----|-------------|----|
| 61 | 大野俊明 | 横臥 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 97.0×162.0 | |
| 62 | 木下育應 | 意 | 1993 (平成 5) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 90.5×49.5 | |
| 63 | 下保昭 | 花 (花露) | 1993 (平成 5) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 65.5×45.7 | |
| 64 | 中島千波 | 清風枝垂櫻 | 1995 (平成 7) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 73.0×110.7 | |
| 65 | 伊藤深游木 | 春霞 | 1993 (平成 5) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 63.3×93.5 | |
| 66 | 菊川三織子 | 花の譜 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 148.4×73.3 | |
| 67 | 池田遙邨 | 桜 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 40.8×51.8 | 寄託 |
| 68 | 小野竹喬 | 春景 | 1970 (昭和 45) 年頃 | 紙本彩色 | 額装 | 27.0×41.2 | |
| 69 | 福田平八郎 | 花の習作 (春日) | 1962 (昭和 37) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 48.8×53.0 | |
| 70 | 堅山南風 | 春韻 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 52.5×45.5 | |
| 71 | 吉田善彦 | 吉野 | 1980 (昭和 55) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 61.2×73.2 | |
| 72 | 那波多目功一 | 春の宵 | 1993 (平成 5) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 183.7×217.7 | |
| 73 | 小倉遊亀 | 好日 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 60.5×50.0 | |
| 74 | 小倉遊亀 | 椿 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 45.5×60.5 | |
| 75 | 小倉遊亀 | 花菖蒲 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 45.5×60.5 | |
| 76 | 奥村土牛 | つぼみ | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 47.0×59.0 | |
| 77 | 奥村土牛 | 白ぼたん | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 48.4×59.3 | |

蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅱ

開館 30 周年記念 名画をたずねて 前期

2021（令和3）年6月16日〔水〕—8月9日〔月〕

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2021（令和3）年8月27日〔金〕から9月30日〔木〕までは臨時休館

2021（令和3）年に当館は開館から30年の節目の年を迎えた。本展では、これまでの歩みを振り返り所蔵作品の中から近代日本美術を支えた作家たちを中心に、前期展後期展の2回に分けて美術団体や歴史的なつながりを主軸に作品を展示した。

前期展では、横山大観や小林古径、安田靉彦などの日本画の名品や、洗練された女性表現を追究した上村松園や鏑木清方、伊東深水の美人画作品を展示した。

洋画では、1914（大正3）年に新しい美術の確立を掲げ、文部省展覧会から分離して結成された在野の美術団体である二科会に参加した作家たちの作品を起点に展示した。二科会は、石井柏亭、梅原龍三郎、山下新太郎らによって発足し、のちに安井曾太郎らを加えている。本展ではこうした二科会発足に携わった作家など、昭和初期の洋画壇を代表する作家たちを紹介した。

またあわせて、広島にゆかりのある作家たちの作品を特集展示した。

（山下裕子）

おもな関連記事、番組など

○「EVENT」『くれえばん』7月号、株式会社SAメディアラボ ○「エンタメnavi! コーナー」『TJ Hiroshima』8月号、株式会社アドプレックス ○「市政だよりくれ」6月号、呉市 ○「市政だよりくれ」7月号、呉市 ○広町国道185号線沿いデジタルサイネージ、株式会社グランド

印刷物

- チラシ A3判（両面刷り）9,500部
- 出品目録 A4判（両面刷り）



蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅱ 「開館30周年記念 名画をたずねて 前期」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 日本画コレクションより～院展の作家たち

| | | | | | | | |
|----|------|-------|-------------------|------|----|---------------------|----|
| 1 | 横山大観 | 冬の海 | 1907(明治40)年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 49.0×76.0 | |
| 2 | 横山大観 | 神国日本 | 1926-29(昭和元-4)年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 73.0×74.0 | |
| 3 | 横山大観 | 神洲乃正気 | 1943(昭和18)年 | 紙本彩色 | 額装 | 59.5×73.5 | |
| 4 | 下村観山 | 不動明王 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 89.8×50.8 | |
| 5 | 小杉放菴 | 舌切雀 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 39.2×41.0 | 寄託 |
| 6 | 安田靉彦 | 稔り | 1918(大正7)年 | 紙本彩色 | 額装 | 65.0×123.1 | |
| 7 | 安田靉彦 | 女衆偶人 | 1959(昭和34)年 | 紙本彩色 | 額装 | 61.0×47.5 | |
| 8 | 安田靉彦 | 観音 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 51.0×59.2 | |
| 9 | 小林古徑 | 紅梅 | 1941(昭和16)年 | 紙本彩色 | 額装 | 96.6×85.8 | |
| 10 | 小林古徑 | 牡丹 | 1951-52(昭和26-27)年 | 紙本彩色 | 額装 | 50.5×65.6 | |
| 11 | 前田青邨 | 群泳 | 1963(昭和38)年頃 | 紙本彩色 | 額装 | 56.3×71.0 | |
| 12 | 堅山南風 | 茜 | 1975(昭和50)年頃 | 紙本彩色 | 額装 | 73.0×60.2 | |
| 13 | 奥村土牛 | スペイン皿 | 1961(昭和36)年 | 紙本彩色 | 額装 | 56.8×66.2 | |
| 14 | 小倉遊亀 | 紅梅と白椿 | 1980(昭和55)年 | 紙本彩色 | 額装 | 38.3×65.0 | |
| 15 | 岩橋英遠 | 去来 | 1988(昭和63)年 | 紙本彩色 | 額装 | 80.3×116.7 | |
| 16 | 平櫛田中 | 釣隠 | 1944(昭和19)年 | 木彫 | 木彫 | 80.0×17.2×15.3(竿含む) | |

(2) 特集展示 美人画 多様化する女性像

| | | | | | | | |
|----|-------|------|--------------|------|----|------------|--|
| 17 | 三輪良平 | 舞妓二人 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 111.3×93.0 | |
| 18 | 上村松園 | つれづれ | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 40.4×42.2 | |
| 19 | 島成園 | 美人 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 58.5×62.0 | |
| 20 | 鎌木清方 | 冬ごもり | 1955(昭和30)年 | 絹本彩色 | 額装 | 57.3×42.7 | |
| 21 | 伊東深水 | 酣春 | 1950(昭和25)年 | 絹本彩色 | 額装 | 50.5×57.4 | |
| 22 | 伊東深水 | 新橋駅 | 1942(昭和17)年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 53.5×43.0 | |
| 23 | 伊東深水 | 晴日 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 87.2×57.5 | |
| 24 | 高木義夫 | 佳日 | 1991(平成3)年 | 紙本彩色 | 額装 | 60.7×45.5 | |
| 25 | 岩田専太郎 | 湯上がり | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 50.5×57.5 | |
| 26 | 橋本明治 | 麗 | 1970(昭和45)年 | 紙本彩色 | 額装 | 73.0×50.0 | |
| 27 | 小川雨虹 | 鏡獅子 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 53.0×72.5 | |
| 28 | 小川雨虹 | 舞妓 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 44.5×53.0 | |
| 29 | 青山亘幹 | 佳日 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 119.5×91.6 | |

(3) 郷土作家たち

| | | | | | | | |
|----|-------|--------------|-------------------|------|------|-------------|--|
| 30 | 児玉希望 | 清爽 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 45.3×52.6 | |
| 31 | 奥田元宋 | 風光る | 1970(昭和45)年 | 絹本彩色 | 額装 | 80.8×100.5 | |
| 32 | 三上巴峽 | 夕映 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 41.0×60.7 | |
| 33 | 塩出英雄 | 裏岩管秋色 | 1994(平成6)年 | 紙本彩色 | 額装 | 47.8×55.1 | |
| 34 | 西田俊英 | 灯のともる頃 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 113.0×163.0 | |
| 35 | 平山郁夫 | アッシジの丘 | 1965(昭和40)年 | 紙本彩色 | 額装 | 44.5×100.0 | |
| 36 | 山中雪人 | 仔牛を担う青年 ギリシャ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 33.3×24.3 | |
| 37 | 池田栄廣 | 柿 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 88.0×101.5 | |
| 38 | 船田玉樹 | 松 | 1967(昭和42)年 | 紙本彩色 | 六曲一隻 | 187.0×367.0 | |
| 39 | 其阿弥赫土 | 雲上の嶽 | 2010-11(平成22-23)年 | 紙本彩色 | 額装 | 182.7×549.6 | |
| 40 | 南薫造 | 夏の海 | 1916(大正5)年 | 紙・水彩 | 額装 | 25.0×35.5 | |
| 41 | 南薫造 | 海(帆) | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 27.5×40.0 | |
| 42 | 南薫造 | 瀬戸内風景 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 28.0×37.0 | |
| 43 | 南薫造 | 瀬戸の夕陽 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 24.0×33.0 | |
| 44 | 小林和作 | 瀬戸の海 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 28.7×46.2 | |
| 45 | 小林和作 | 瀬戸内風景 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 28.3×22.5 | |
| 46 | 小林和作 | 向島 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 26.2×36.5 | |
| 47 | 小林和作 | 向島風景 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 26.1×36.4 | |

(4) 油彩画コレクションより～二科会を起点に

| | | | | | | | |
|----|-------|-----------|-----------------|----------|----|-----------|----|
| 48 | 山下新太郎 | 朝鮮水源 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 26.0×35.0 | 寄託 |
| 49 | 石井柏亭 | 水辺 | 1944 (昭和 19) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 62.7×92.2 | |
| 50 | 梅原龍三郎 | 薔薇図 | 1971 (昭和 46) 年 | ボード・油彩 | 額装 | 41.3×31.9 | |
| 51 | 熊谷守一 | くしげづる女 | 1954 (昭和 29) 年 | 板・油彩 | 額装 | 33.0×24.0 | |
| 52 | 熊谷守一 | つつぢに揚羽蝶 | 1962 (昭和 37) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 32.0×41.3 | |
| 53 | 安井曾太郎 | 雉子 | 1933 (昭和 8) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 39.5×47.5 | |
| 54 | 岸田劉生 | 童女図 (麗子像) | 1929 (昭和 4) 年 | 紙本墨画淡彩 | 額装 | 69.2×49.3 | |
| 55 | 林武 | 女の座像 | 1932 (昭和 7) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 91.0×73.0 | |
| 56 | 里見勝蔵 | ハンス婦人 | 1923 (大正 12) 年頃 | キャンバス・油彩 | 額装 | 41.0×27.5 | |
| 57 | 中川一政 | マジョリカの壺 | 1950 (昭和 25) 年代 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 41.6×33.5 | |
| 58 | 福沢一郎 | 花 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 41.5×36.0 | 寄託 |
| 59 | 長谷川利行 | 新宿風景 | 1937 (昭和 12) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 23.8×32.6 | |
| 60 | 野間仁根 | 瀬戸内海 新緑の丘 | 1978 (昭和 53) 年頃 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.0×45.5 | |
| 61 | 野間仁根 | マリオネットの散歩 | 1978 (昭和 53) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.7×91.0 | |
| 62 | 野口彌太郎 | 風景 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 20.5×30.3 | |
| 63 | 鈴木信太郎 | 風景 | 1959 (昭和 34) 年 | 紙・油彩 | 額装 | 34.0×43.0 | |
| 64 | 服部正一郎 | 箱根風景 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 60.5×72.5 | |
| 65 | 国吉康雄 | 風景 小さい池 | 1932 (昭和 7) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 23.4×41.0 | |
| 66 | 向井潤吉 | 水路 | 1959 (昭和 34) 年頃 | キャンバス・油彩 | 額装 | 43.0×50.5 | |
| 67 | 佐野繁次郎 | 二ースの海 | 1951 (昭和 26) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 53.0×65.5 | |
| 68 | 小山敬三 | ばら | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×37.8 | |
| 69 | 宮本三郎 | 人形 | 1974 (昭和 49) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 40.9×24.2 | |

蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅲ

開館 30 周年記念 名画をたずねて 後期

2021（令和3）年8月11日〔水〕—10月4日〔月〕

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2021（令和3）年8月27日〔金〕から9月30日〔木〕までは臨時休館

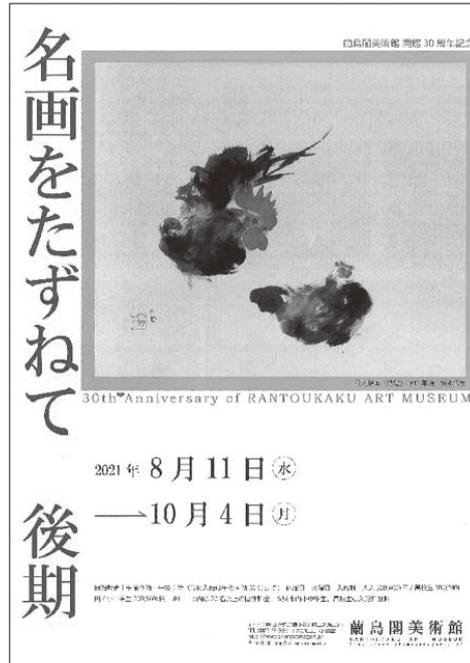
2021（令和3）年に当館は開館から30年の節目の年を迎えた。本展では、これまでの歩みを振り返り所蔵作品の中から近代日本美術を支えた作家たちを中心に、前期展後期展の2回に分けて美術団体や歴史的なつながりを主軸に作品を展示した。

後期展では、竹内栖鳳や橋本関雪など円山派の写実の伝統を受け継いだ京都画壇の作家たちの作品を展示。あわせて、1948（昭和23）年山本丘人らによって結成された創造美術の作家や、戦後日展を支え日展三山と称された高山辰雄、東山魁夷、杉山寧など、日本画の新たな境地を目指した作家の作品を紹介した。

また1980年代以降、新進の作家として活躍した現代日本美術の多様な作家たちを取り上げた。

あわせて特集展示として、現代写実絵画の画壇を代表する洋画家野田弘志の「TOKIJKU（非時）」シリーズを紹介した。

(山下裕子)

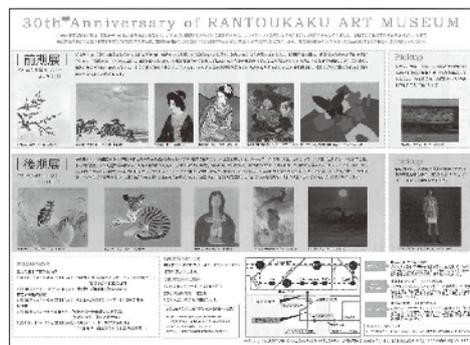


おもな関連記事、番組など

○「エンタメ navi! コーナー」『TJ Hiroshima』9月号、株式会社アドプレックス ○「市政だよりくれ」8月号、呉市 ○「市政だよりくれ」9月号、呉市 ○広町国道185号線沿いデジタルサイネージ、株式会社グランド

印刷物

- チラシ A3判（両面刷り）9,500部
- 出品目録 A4判（両面刷り）



蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅲ 「開館 30 周年記念 名画をたずねて 後期」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 日本画コレクションより～京都画壇の作家たち

| | | | | | | | |
|----|-------|-------|--------------|---------|------|-------------------------|--|
| 1 | 森寛斎 | 春秋図 | 1872(明治5)年 | 紙本彩色 | 二曲一双 | 151.9×169.2 | |
| 2 | 田能村直入 | 夏景山水 | 制作年不詳 | 紙本墨画・墨書 | 軸装 | ㊦ 18.5×52.8 ㊧ 18.5×52.8 | |
| 3 | 村上華岳 | 虎の図 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 軸装 | 128.4×30.3 | |
| 4 | 榊原紫峰 | 白菊 | 1928(昭和3)年 | 絹本彩色 | 額装 | 46.0×57.0 | |
| 5 | 小野竹喬 | 山辺の春 | 1945(昭和20)年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 38.7×50.7 | |
| 6 | 橋本関雪 | ふくろう | 1935(昭和10)年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 49.0×58.2 | |
| 7 | 竹内栖鳳 | 雙鶏 | 1941(昭和16)年頃 | 紙本彩色 | 額装 | 70.3×82.0 | |
| 8 | 福田平八郎 | 鯉(春水) | 1940(昭和15)年 | 絹本彩色 | 額装 | 44.5×72.5 | |
| 9 | 金島桂華 | 紅梅 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 42.8×50.2 | |
| 10 | 池田遙邨 | 嵐山渡月橋 | 1985(昭和60)年頃 | 紙本彩色 | 額装 | 50.0×65.9 | |
| 11 | 徳岡神泉 | 桔梗 | 1966(昭和41)年 | 紙本彩色 | 額装 | 33.6×45.8 | |
| 12 | 梶原緋佐子 | 梅快窓 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 軸装 | 49.0×35.8 | |
| 13 | 山口華楊 | 虎児 | 1957(昭和32)年 | 紙本彩色 | 額装 | 56.2×71.7 | |
| 14 | 上村松篁 | 五月 | 1991(平成3)年 | 紙本彩色 | 額装 | 66.5×94.0 | |

(2) 日本画コレクションより～戦後の巨匠たち

| | | | | | | | |
|----|------|------|--------------|---------|----|-------------|--|
| 15 | 山本丘人 | 青い季節 | 1962(昭和37)年 | 金箔麻紙・彩色 | 額装 | 49.2×60.4 | |
| 16 | 吉岡堅二 | 孔雀 | 1973(昭和48)年 | 紙本彩色 | 額装 | 61.0×46.0 | |
| 17 | 横山操 | 朱富士 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 50.0×65.5 | |
| 18 | 加山又造 | 鴉 | 1959(昭和34)年 | 紙本彩色 | 額装 | 62.2×74.7 | |
| 19 | 杉山寧 | 晶 | 1969(昭和44)年頃 | 麻布・彩色 | 額装 | 65.6×93.5 | |
| 20 | 高山辰雄 | 鳩 | 1988(昭和63)年 | 絹本彩色 | 額装 | 73.2×55.4 | |
| 21 | 高山辰雄 | 森の気 | 1973(昭和48)年 | 紙本彩色 | 額装 | 53.0×65.2 | |
| 22 | 東山魁夷 | 晴春 | 1956(昭和31)年 | 紙本彩色 | 額装 | 38.0×50.2 | |
| 23 | 加藤栄三 | 牛 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 63.0×84.3 | |
| 24 | 加藤東一 | 人 | 1977(昭和52)年 | 紙本彩色 | 額装 | 177.7×217.0 | |
| 25 | 大山忠作 | 俑 | 1988(昭和63)年 | 紙本彩色 | 額装 | 214.8×156.4 | |
| 26 | 鈴木竹柏 | 丘 | 1981(昭和56)年 | 紙本彩色 | 額装 | 160.0×210.0 | |

(3) 現代の巨匠たち

| | | | | | | | |
|----|------|--------------|-----------------|----------|----|-------------|--|
| 27 | 林功 | 泊舟 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 112.1×162.1 | |
| 28 | 中野嘉之 | 水辺と鴨 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 73.0×91.0 | |
| 29 | 滝沢具幸 | 古代の壺 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 72.7×91.0 | |
| 30 | 土屋礼一 | 静日 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 65.5×100.0 | |
| 31 | 中島千波 | 空* 93-3 | 1993(平成5)年 | 紙本彩色 | 額装 | 100.0×100.0 | |
| 32 | 石踊達哉 | 大地への贈り物 | 1998(平成10)年 | 紙本彩色 | 額装 | 131.0×162.5 | |
| 33 | 牧進 | 梅寿 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 53.0×74.0 | |
| 34 | 田淵俊夫 | 歴 | 1987(昭和62)年 | 紙本彩色 | 額装 | 101.0×101.1 | |
| 35 | 竹内浩一 | オリーブの頃 | 1991(平成3)年 | 紙本彩色 | 額装 | 73.2×53.5 | |
| 36 | 下田義寛 | 風渡る | 1979(昭和54)年 | 紙本彩色 | 額装 | 194.0×130.0 | |
| 37 | 大津英敏 | 孔雀のいる丘 サントロペ | 2003(平成15)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 80.3×100.0 | |
| 38 | 大沼映夫 | 大和思考 | 1990-94(平成2-6)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 91.0×116.7 | |
| 39 | 脇田和 | 風媒花 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.9×37.9 | |
| 40 | 絹谷幸二 | 薔薇 | 1980(昭和55)年頃 | アプレスコ | 額装 | 41.0×32.1 | |
| 41 | 智内兄助 | 花念天 | 1995(平成7)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 60.5×61.5 | |
| 42 | 森本草介 | 微光 | 1982(昭和57)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 97.4×145.6 | |

(4) 特集展示～野田弘志

| | | | | | | | |
|----|------|-------------------------|------------|----------|----|-------------|--|
| 43 | 野田弘志 | 珪化木 | 1990(平成2)年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 65.0×53.0 | |
| 44 | 野田弘志 | TOKUJIKU(非時)XIV Lion | 1993(平成5)年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 72.5×91.0 | |
| 45 | 野田弘志 | TOKUJIKU(非時)VIII Goat | 1992(平成4)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 145.5×112.1 | |
| 46 | 野田弘志 | TOKUJIKU(非時)XI Sphere | 1993(平成5)年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 130.2×97.0 | |
| 47 | 野田弘志 | TOKUJIKU(非時)XV Elephant | 1994(平成6)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 181.8×227.3 | |

| | | | | | | | |
|----|------|--------------------------|----------------|----------|----|-------------|--|
| 48 | 野田弘志 | TOKIJIKU (非時) X III Dove | 1993 (平成 5) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 162.0×130.3 | |
| 49 | 野田弘志 | THE 3 | 1998 (平成 10) 年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 162.0×162.0 | |
| 50 | 野田弘志 | 牡丹 | 1978 (昭和 53) 年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 53.0×65.0 | |
| 51 | 野田弘志 | おんな | 1979 (昭和 54) 年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 53.2×45.7 | |
| 52 | 野田弘志 | 屈斜路湖・夏 | 1990 (平成 2) 年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 65.2×53.2 | |
| 53 | 野田弘志 | 下蒲刈の海 | 1999 (平成 11) 年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 23.0×72.2 | |
| 54 | 野田弘志 | 安芸灘大橋 | 2000 (平成 12) 年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 43.2×76.1 | |

榊原紫峰の漢字表記は、2006 (平成 18 年) 発行『蘭島閣美術館所蔵品目録』では榊原と表記されているがこれを訂正し、榊原紫峰と表記する。
作家名のうち、土屋礼一の漢字表記は礼一とした。本名は禮一。

蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅳ

海をみつめて—画家を魅了した景色—

2021（令和3）年12月3日〔金〕—2022（令和4）年2月7日〔月〕

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2022（令和4）年1月9日〔日〕から2月20日〔日〕までは臨時休館

本展では、海を主題にした日本画や油彩画、工芸を展示し、画家それぞれの個性によって多彩に表現された海の作品を幅広く紹介した。近代日本洋画の巨匠であり白馬会の創立に尽力した黒田清輝や、その後身にあたる光風会を結成した中沢弘光らを中心に、同会で活躍した画家たちによる海を描いた作品を展示した。また、白馬会や光風会にも出品した呉市安浦町出身の南薫造をはじめ、広島ゆかりの洋画家、日本画家たちの描いた作品も紹介した。

（沼田綿子）

関連行事

- 1月2日限定ポストカードプレゼント
2022（令和4）年1月2日（日）

おもな関連記事、番組など

- 「ART」『くれえばん』1月号、株式会社 SAメディアラボ
- 「エンタメ navil! コーナー」『TJ Hiroshima』12月号、株式会社アドプレックス
- 「市政だよりくれ」12月号、呉市
- 「市政だよりくれ」1月号、呉市

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）6,000部
- 出品目録 A4判（両面刷り）



海をみつめて
—画家を魅了した景色—

2021. 12/3 金 ⇒ 2022. 2/7 月

開館時間 9:00～17:00（観覧入場は15:30）
休館日 定休日曜日、12/23～1/1
大館料 大人300円（小学生300円）7歳以下小学生200円（6歳以下は無料）
※12歳未満の子どもは保護者同伴で観覧いただけます。

蘭島閣美術館 平野74001 広島県呉市平野町西二丁目300-1
TEL 0822-918-0406 FAX 0822-79-3032
http://www.ak-jincho.museum.jp/

海をみつめて

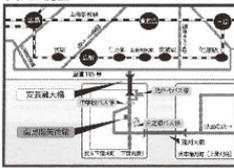
海に漂われて生き残った者たちによって、激しい戦いが起る。海をみつめては、戦時下の日本を写し留めた貴重な記録です。海をみつめては、戦時下の日本を写し留めた貴重な記録です。海をみつめては、戦時下の日本を写し留めた貴重な記録です。

出品 戦時下の記録写真、戦時下の記録写真、戦時下の記録写真

文化施設のご案内

- ◆三之浦本館芸術文化館（RMP）12/2（木）～2022.2/14（月）『歌する蘭島たち』
- ◆蘭島閣美術館 展覧会 2022.1/10（月）～『所蔵品への視点—探検の世界—』
- ◆1月2日限定ポストカードプレゼント！ 1/25（木）～2022.1/24（日）『わかぬ島もてなす！蘭島と呉市文化』

アクセス方法



最新型ユニバーサルデザインの感染予防・拡大防止のため今後開催を予定しております。最新情報は当館のHPをご覧ください。



蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅳ 「海をみつめて一画家を魅了した景色」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) さまざまな海の表現

| | | | | | | | |
|----|-------|-----------|----------------------|----------|----|------------|----|
| 1 | 南薫造 | 海(房州) | 1930(昭和5)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 50.0×60.5 | |
| 2 | 南薫造 | 日の出 | 1946-1948(昭和21-23)年頃 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.0×45.5 | |
| 3 | 南薫造 | 瀬戸内風景 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×53.0 | |
| 4 | 南薫造 | 串山のみかん畑 | 1948(昭和23)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.1×45.4 | |
| 5 | 南薫造 | 瀬戸内 | 制作年不詳 | 板・油彩 | 額装 | 24.2×33.3 | |
| 6 | 小糸源太郎 | 雪の漁港 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.0×45.5 | |
| 7 | 中沢弘光 | 海岸風景 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 70.0×113.5 | |
| 8 | 黒田清輝 | 伊豆大島遠望 | 1914(大正3)年 | 板・油彩 | 額装 | 23.8×33.0 | |
| 9 | 鈴木信太郎 | 風景 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 31.7×40.3 | |
| 10 | 山口長男 | 江田島の図 | 1969(昭和44)年 | 板・油彩 | 額装 | 21.0×26.4 | 寄託 |
| 11 | 牛島憲之 | 伊豆の海 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 24.5×41.0 | |
| 12 | 野間仁根 | 漁村 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.8×53.2 | |
| 13 | 野間仁根 | 瀬戸内海 新緑の丘 | 1978(昭和53)年頃 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.0×45.5 | |
| 14 | 岡崎勇次 | 潮音 | 1988(昭和63)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.7×100.0 | |
| 15 | 岡崎勇次 | 瀬戸の夜明け | 1989(平成元)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 50.4×91.2 | |
| 16 | 平岡秀樹 | 瀬戸内(因島) | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 91.3×116.8 | |

(2) 広島画家たち

| | | | | | | | |
|----|-------|------------|-------------|----------|----|-------------|--|
| 17 | 浜崎左髪子 | 内海 | 1975(昭和50)年 | 紙本彩色 | 額装 | 240.0×541.0 | |
| 18 | 船田玉樹 | 岬 | 1967(昭和42)年 | 紙本彩色 | 額装 | 60.8×45.6 | |
| 19 | 船田玉樹 | 猫瀬 | 1967(昭和42)年 | 紙本彩色 | 額装 | 46.0×53.2 | |
| 21 | 船田玉樹 | 海景 | 1967(昭和42)年 | 紙本彩色 | 額装 | 45.5×53.1 | |
| 20 | 船田玉樹 | 浜辺 | 1967(昭和42)年 | 紙本彩色 | 額装 | 46.7×55.7 | |
| 22 | 船田奇岑 | 海辺 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 116.0×72.0 | |
| 23 | 平末初子 | 港の朝 | 1989(平成元)年 | 紙本彩色 | 額装 | 91.0×116.7 | |
| 24 | 其阿弥赫土 | 涛 | 1989(平成元)年 | 紙本彩色 | 額装 | 182.6×366.0 | |
| 25 | 平賀公二 | 内海 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 130.6×162.5 | |
| 26 | 新延輝雄 | 蜜柑の瀬戸 | 1991(平成3)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 60.5×72.8 | |
| 27 | 新延輝雄 | 蜜柑の瀬戸 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 32.4×42.2 | |
| 28 | 武永楨雄 | 女猫島(蒲刈島風景) | 1989(平成元)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 60.6×72.7 | |
| 29 | 武永楨雄 | 黒島 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×52.8 | |
| 30 | 武永楨雄 | ヒクベ島 | 1989(平成元)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×52.9 | |
| 31 | 村上選 | 港 | 1989(平成元)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 80.7×116.3 | |
| 32 | 三原捷宏 | 周防灘 | 1988(昭和63)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 91.0×116.7 | |
| 33 | 三原捷宏 | 瀬戸海景 | 1991(平成3)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 130.0×194.0 | |

(3) 工芸に見る海の表現

| | | | | | | |
|----|------------------|---------------|-------------------|----|--------------------|--|
| 34 | 鞆の浦文甕 | | 制作年不詳 | 漆器 | 高6.5 縦9.0×横9.0 | |
| 35 | 海松貝文炉縁 | | 制作年不詳 | 漆器 | 高6.2×幅42.0×奥行42.0 | |
| 36 | 染付貝千鳥山水文皿 | | 1650-70年代伊万里・寛文様式 | 磁器 | 高21.0 口径21.0 底径2.0 | |
| 37 | 染付貝文瓶 | | 1660-80年代伊万里・寛文様式 | 磁器 | 高28.5 口径3.7 底径10.5 | |
| 38 | 中里太郎右衛門 (十三代) | 叩き唐津三島辰砂鉄砂魚文壺 | 制作年不詳 | 陶器 | 高23.2 径20.8 | |
| 39 | 今井政之 | 泥彩蝦蛄図長壺 | 1965(昭和40)年 | 陶器 | 高52.7 径23.0 | |
| 40 | 今井政之 | 柑釉レリーフ蝦蛄壺 | 1992(平成4)年 | 陶器 | 高39.0 径19.5 | |
| 41 | 今井政之 | 象嵌彩鏡鯛花壺 | 1990(平成2)年 | 陶器 | 高24.1 径32.0 | |
| 42 | 金重晃介 | 備前花器「海から」 | 1992(平成4)年頃 | 陶器 | 高35.0 径37.5×40.5 | |

(4) 特集展示 京都画壇の画家たち

| | | | | | | | |
|----|------|--------|-------------|------|----|------------|--|
| 43 | 竹内浩一 | オリーブの頃 | 1991(平成3)年 | 紙本彩色 | 額装 | 73.2×53.5 | |
| 44 | 岩倉寿 | 雨季 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 65.5×91.0 | |
| 45 | 中路融人 | 伊吹 | 1993(平成5)年 | 紙本彩色 | 額装 | 80.0×117.0 | |
| 46 | 山口華楊 | 虎児 | 1957(昭和32)年 | 紙本彩色 | 額装 | 56.2×71.7 | |

| | | | | | | | |
|----|-------|-------|--------------|------|----|------------|----|
| 47 | 猪原大華 | 竹梅 | 1968（昭和43）年 | 紙本彩色 | 額装 | 40.9×52.8 | |
| 48 | 徳岡神泉 | 桔梗 | 1966（昭和41）年 | 紙本彩色 | 額装 | 33.6×45.8 | |
| 49 | 上村松園 | つれづれ | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 40.4×42.2 | |
| 50 | 竹内栖鳳 | 雙鶏 | 1941（昭和16）年頃 | 紙本彩色 | 額装 | 70.3×82.0 | |
| 51 | 橋本閑雪 | ふくろう | 1935（昭和10）年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 49.0×58.2 | |
| 52 | 金島桂華 | 雪の椿 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 50.5×59.5 | 寄託 |
| 53 | 福田平八郎 | 雪庭 | 1936（昭和11）年 | 絹本彩色 | 額装 | 49.0×73.0 | |
| 54 | 池田遙邨 | 川奈の富士 | 1955（昭和30）年頃 | 紙本彩色 | 額装 | 41.2×53.4 | |
| 55 | 小野竹喬 | 山辺の春 | 1945（昭和20）年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 38.7×50.7 | |
| 56 | 榊原紫峰 | 白菊 | 1928（昭和3）年 | 絹本彩色 | 額装 | 46.0×57.0 | |
| 57 | 村上華岳 | 虎の図 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 軸装 | 128.4×30.3 | |
| 58 | 野長瀬晩花 | 初秋の庭 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 軸装 | 149.5×50.5 | 寄託 |

榊原紫峰の漢字表記は、2006（平成18年）発行『蘭島閣美術館所蔵品目録』では榊原と表記されているがこれを訂正し、榊原紫峰と表記する。

蘭島閣美術館 所蔵品展V

和のかたち

2022（令和4）年3月2日【水】－4月18日【月】

飛鳥時代に日本にもたらされた屏風は、宮廷や寺院で用いられその後貴族の邸宅に欠かせないものとなった。屏風全体に絵を描くことも平安時代に始まり間仕切りや風よけのための実用品と同時に室内装飾としても多用されている。また掛け軸も床の間や壁にかけて、鑑賞するなど芸術価値を高めてきた。

本展ではこうした屏風や掛け軸など建築物の中に調和した「かたち」の作品をはじめ、荘厳なイメージを表現する色としてさまざまな作品に用いられている「金」や「銀」を使用した作品、墨を使用した作品などその特質を生かした作品を幅広く展示した。

（山下裕子）

おもな関連記事、番組など

○「おでかけ案内版」『リビングひろしま』2月25日号、広島リビング新聞社 ○「エンタメnavi! コーナー」『TJ Hiroshima』3月号、株式会社アドプレックス ○「市政だよりくれ」2月号、呉市 ○「市政だよりくれ」3月号、呉市

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）6,000部
- 出品目録 A4判（両面刷り）



蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅴ 「和のかたち」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 掛け軸と屏風

| | | | | | | | |
|----|----------|--------|------------|--------|------|---------------|----|
| 1 | 濱田観 | 紅匂葵 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 軸装 | 53.8×56.7 | 寄託 |
| 2 | 山本紅雲 | 清秋 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 軸装 | 49.5×57.3 | 寄託 |
| 3 | 梶原緋佐子 | 梅快窓 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 軸装 | 49.0×35.8 | |
| 4 | 梶原緋佐子 | 美人図 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 軸装 | 119.5×33.0 | |
| 5 | 伊藤小坡 | 青葉の頃 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 軸装 | 58.0×72.0 | 寄託 |
| 6 | 森徹山 | 狸獲鴨之図 | 制作年不詳 | 絹本墨画淡彩 | 軸装 | 110.1×50.8 | |
| 7 | 森寛斎 | 梅図 | 制作年不詳 | 紙本墨画 | 軸装 | 126.0×52.8 | |
| 8 | 森寛斎 | 花卉小禽図 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 軸装 | 117.5×47.5 | |
| 9 | 森寛斎 | 雨中漁船図 | 制作年不詳 | 絹本墨画淡彩 | 軸装 | 101.6×35.8 | |
| 10 | 森寛斎 | 春秋図(秋) | 1872(明治5)年 | 紙本彩色 | 二曲一双 | 各 151.9×169.2 | |
| 11 | 松村月溪(呉春) | 風炉先屏風 | 制作年不詳 | 紙本墨画淡彩 | 二曲一隻 | 44.0×169.3 | 寄託 |

(2) 金と銀

| | | | | | | | |
|----|-------|----------|--------------|----------|----|-------------|--|
| 12 | 金島桂華 | 鶴 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 85.7×119.1 | |
| 13 | 福田平八郎 | 鯉(春水) | 1940(昭和15)年 | 絹本彩色 | 額装 | 44.5×72.5 | |
| 14 | 小野竹喬 | 春日野 | 1922(大正11)年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 170.0×170.0 | |
| 15 | 岩橋英遠 | 山 金扇 | 1966(昭和41)年 | 紙本彩色 | 額装 | 180.5×150.0 | |
| 16 | 岩橋英遠 | 山 銀斧 | 1966(昭和41)年 | 紙本彩色 | 額装 | 180.5×150.0 | |
| 17 | 奥村土牛 | 富士 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 38.3×46.1 | |
| 18 | 小倉遊亀 | 紅梅と白椿 | 1980(昭和55)年 | 紙本彩色 | 額装 | 38.3×65.0 | |
| 19 | 小倉遊亀 | 春 | 1995(平成7)年 | 紙本彩色 | 額装 | 46.0×33.0 | |
| 20 | 片岡球子 | 富士 | 1989(平成元)年 | 紙本彩色 | 額装 | 44.5×59.7 | |
| 21 | 吉田善彦 | 吉野 | 1980(昭和55)年 | 紙本彩色 | 額装 | 61.2×73.2 | |
| 22 | 吉田善彦 | 二月堂 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 50.0×73.0 | |
| 23 | 野村義照 | シャルトル | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 90.5×65.0 | |
| 24 | 西田俊英 | 灯のともる頃 | 1992(平成4)年 | 紙本彩色 | 額装 | 113.0×163.0 | |
| 25 | 平山郁夫 | アッシジの丘 | 1965(昭和40)年 | 紙本彩色 | 額装 | 44.5×100.0 | |
| 26 | 小泉淳作 | 牡丹図 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 78.0×49.0 | |
| 27 | 石踊達哉 | 大地への贈り物 | 1998(平成10)年 | 紙本彩色 | 額装 | 131.0×162.5 | |
| 28 | 石踊達哉 | フォンテンブロー | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 72.8×60.8 | |
| 29 | 藤田吉香 | 牡丹 | 制作年不詳 | 紙・ガッシュ | 額装 | 72.5×60.0 | |
| 30 | 智内兄助 | 花念天 | 1995(平成7)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 60.5×61.5 | |
| 31 | 野田弘志 | 薔薇 | 1989(平成元)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 45.5×53.0 | |
| 32 | 野田弘志 | おんな | 1979(昭和54)年 | 板・麻布・油彩 | 額装 | 53.2×45.7 | |

(3) 特集展示 春のはなばな〜堅山南風作品から

| | | | | | | | |
|----|------|--------|-------------|------|----|-----------|--|
| 33 | 堅山南風 | スイセン | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 46.4×58.2 | |
| 34 | 堅山南風 | ツバキ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 31.5×42.5 | |
| 35 | 堅山南風 | ツバキ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 32.0×40.3 | |
| 36 | 堅山南風 | ウメ | 1942(昭和17)年 | 紙本彩色 | 額装 | 42.4×31.5 | |
| 37 | 堅山南風 | ウメ | 1948(昭和23)年 | 紙本彩色 | 額装 | 31.7×43.0 | |
| 38 | 堅山南風 | ソメイヨシノ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 58.4×46.0 | |
| 39 | 堅山南風 | チューリップ | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 34.0×51.5 | |

(4) 墨をつかう

| | | | | | | | |
|----|------|------|------------------|--------|----|------------|--|
| 40 | 平川敏夫 | 白馬凍日 | 1993(平成5)年 | 絹本彩色 | 額装 | 80.5×116.8 | |
| 41 | 横山操 | 灯台 | 1958(昭和33)年 | 絹本彩色 | 額装 | 51.2×75.8 | |
| 42 | 横山操 | 疎林 | 1963(昭和38)年頃 | 紙本彩色 | 額装 | 38.4×55.4 | |
| 43 | 加山又造 | 雪の溪谷 | 1983(昭和58)年 | 紙本彩色 | 額装 | 118.5×82.5 | |
| 44 | 加山又造 | 牡丹 | 1969(昭和44)年 | 紙本彩色 | 額装 | 63.7×90.1 | |
| 45 | 児玉希望 | 夜梅 | 1960(昭和35)年頃 | 絹本彩色 | 額装 | 42.7×73.0 | |
| 46 | 川合玉堂 | 湖畔雪霽 | 1955(昭和30)年 | 紙本墨画淡彩 | 額装 | 43.0×53.8 | |
| 47 | 川合玉堂 | 松山遠嶺 | 1917-18(大正6-7)年頃 | 絹本墨彩 | 額装 | 57.0×148.0 | |

| | | | | | | | |
|----|------|-------|----------------|------|------|---------------|----|
| 48 | 川合玉堂 | 雨中八々鳥 | 制作年不詳 | 紙本墨画 | 額装 | 24.0×15.0 | |
| 49 | 川合玉堂 | 樹林 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 24.0×15.0 | |
| 50 | 下保昭 | 日本海 | 1974 (昭和 49) 年 | 紙本彩色 | 額装 | 181.5×181.5 | |
| 51 | 船田玉樹 | 松 | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 六曲一双 | 各 166.0×363.5 | 寄託 |

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

蘭島閣美術館別館 所蔵品公開事業

| | | |
|-------|-----------|--------|
| 所蔵品展Ⅰ | ・ ・ ・ ・ ・ | 40-41p |
| 所蔵品展Ⅱ | ・ ・ ・ ・ ・ | 42-43p |
| 所蔵品展Ⅲ | ・ ・ ・ ・ ・ | 44-46p |
| 所蔵品展Ⅳ | ・ ・ ・ ・ ・ | 47-48p |

蘭島閣美術館別館 所蔵品展 I

寺内萬治郎の歩み（2）

2021（令和3）年5月12日〔水〕－6月28日〔月〕

蘭島閣美術館別館は洋画家・寺内萬治郎の代表的な油彩画、素描などを中心とした所蔵品を展示公開している。本展では、寺内萬治郎の画業を年代別に公開した。

代表作のうち、作品「髪」を中心に晩年の大作を公開した。背景描写を極力省いた画面構成の作品のほか、戦中から戦後にかけて描かれた女性風俗への細やかな視点が感じられる油彩小品なども紹介した。さらに、クロッキーや水彩作品によって寺内萬治郎の持つ人物描写の特長も感じられる展示内容とした。

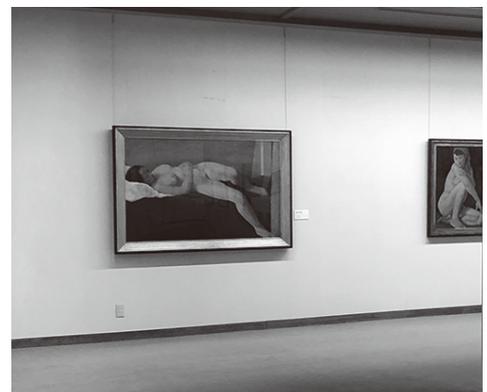
（山崎環）

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」5月号、呉市 ○「市政だよりくれ」6月号、呉市

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）3,000部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅰ「寺内萬治郎の歩み(2)」出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 寺内萬治郎の代表作

| | | | | | | | |
|---|-------|------|-------------|----------|----|------------|----|
| 1 | 寺内萬治郎 | 横臥裸婦 | 1951(昭和26)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.5×90.8 | |
| 2 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 1964(昭和39)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 90.6×64.9 | 寄託 |
| 3 | 寺内萬治郎 | 横臥裸婦 | 1958(昭和33)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 96.0×144.0 | 寄託 |
| 4 | 寺内萬治郎 | 横臥裸婦 | 1957(昭和32)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.0×115.5 | 寄託 |
| 5 | 寺内萬治郎 | 髪 | 1961(昭和36)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 73.0×116.5 | 寄託 |

(2) デッサン、小品(水彩など)

| | | | | | | | |
|----|-------|----|-------|---------|----|-----------|--|
| 6 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 19.5×31.0 | |
| 7 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 17.6×29.8 | |
| 8 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 24.5×30.0 | |
| 9 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 24.7×31.2 | |
| 10 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 19.0×31.2 | |
| 11 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 24.3×30.0 | |
| 12 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 34.4×27.8 | |
| 13 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 31.3×26.8 | |
| 14 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 34.2×23.0 | |
| 15 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 31.6×20.2 | |
| 16 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 20.0×26.4 | |
| 17 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 18.0×28.5 | |
| 18 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 22.0×28.7 | |
| 19 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 23.0×34.2 | |

(3) 寺内萬治郎の油彩画

| | | | | | | | |
|----|-------|----------|-------------|----------|----|-----------|----|
| 20 | 寺内萬治郎 | 金の首飾り | 1937(昭和12)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.3×38.2 | |
| 21 | 寺内萬治郎 | 赤いオーバーの女 | 1947(昭和22)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 91.0×72.8 | |
| 22 | 寺内萬治郎 | 頭巾の女 | 1947(昭和22)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 91.0×72.8 | 寄託 |
| 23 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 1950(昭和25)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 40.5×32.0 | |
| 24 | 寺内萬治郎 | 背を見せたる裸婦 | 1954(昭和29)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 33.3×24.5 | |
| 25 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 1960(昭和35)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 25.5×20.5 | |
| 26 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 1960(昭和35)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 53.2×45.5 | |
| 27 | 寺内萬治郎 | 自画像 | 1950(昭和25)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 43.7×36.2 | |

蘭島閣美術館別館 所蔵品展 II

所蔵品への視点シリーズ・3 版画の魅力

2021（令和3）年6月30日【水】—9月27日【月】

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2021（令和3）年8月27日【金】から9月30日【木】までは臨時休館

版画作品に焦点を当て、多彩な所蔵品を展示し版画の魅力を紹介した。

日本では、近世まで木版画が中心で、江戸の浮世絵が示すように極めて高い技法を誇り、広く庶民にまで親しまれてきた。明治になり、従来の木版画のほか新たに西欧から銅版や石版が加わり、版画の表現は広がりを見せた。

本展は、様々な技法の版画表現を知る機会となるよう、近世の浮世絵から現代の版画作品まで幅広く紹介した。

展示では冒頭、〈版〉を使った造形に表出する独特なタッチを用い、陶芸家やグラフィックデザイナー、彫刻家などが手がけた版画の小品を紹介した。

そして、1950年代から60年代、世界的なビエンナーレで評価を得、一躍世界の注目を浴びた棟方志功や池田満寿夫の作品を紹介した。

このような状況下、戦後から1960年代にかけて版画史に残る作品を作り続けた版画家たちを師とし、次代の版画家たちが生まれた。この世代の代表として、版画家の中林忠良、野田哲也の版画作品を紹介した。

先に紹介した棟方志功と共に、呉市出身の朝井清の作品を展示した。友人であった棟方志功は、朝井の木版を高く評価した。朝井は、1960（昭和35）年に棟方志功らと日本版画会を設立し、日本の版画芸術の発展にも貢献した。

また、「最後の浮世絵師」と称され幕末から明治に活躍した浮世絵師・月岡芳年の浮世絵と共に、「平成の絵師」とも称された現代の画家、智内兄助の版画を取り上げた。着物の意匠文様の平面性や、筆の大胆なストロークを活かした画面構成などに共通性があることを解説した。

最後に、身近に鑑賞の楽しみを広げてくれるエスタンプ（複製版画）の楽しみ方について紹介した。

（山崎環）

おもな関連記事、番組など

- 「市政だよりくれ」7月号、呉市
- 「市政だよりくれ」8月号、呉市
- 「市政だよりくれ」9月号、呉市
- 「市政だよりくれ」10月号、呉市

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）3,000部
- 出品目録 A4判（片面刷り）




蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅱ 「所蔵品への視点シリーズ・3 版画の魅力」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-------------------------|-------|----------------------|-------------|-------------|----|------------|----|
| (1) プロローグー多彩な芸術家の版画 | | | | | | | |
| 1 | 米林雄一 | Da,Leda | 1986(昭和61)年 | 紙・エッチング | 額装 | 33.7×33.7 | |
| 2 | 佐藤一郎 | 夾竹桃 | 1986(昭和61)年 | 紙・ドライポイント | 額装 | 33.7×33.7 | |
| 3 | 宮脇昭彦 | サーカス | 1986(昭和61)年 | 紙・エッチング | 額装 | 33.7×33.7 | |
| 4 | 福田繁雄 | ホルバインの大使たち | 1986(昭和61)年 | 紙・シルクスクリーン | 額装 | 33.9×33.9 | |
| (2) 世界での活躍 日本の版画家たち | | | | | | | |
| 5 | 棟方志功 | 普賢菩薩の柵 | 1948(昭和23)年 | 紙・木版 | 額装 | 94.5×30.3 | |
| 6 | 棟方志功 | 文殊菩薩の柵 | 1948(昭和23)年 | 紙・木版 | 額装 | 94.5×30.3 | |
| 7 | 池田満寿夫 | 女 | 1987(昭和62)年 | 紙・リトグラフ | 額装 | 58.0×42.0 | |
| (3) 現代の版画家たち | | | | | | | |
| 8 | 野田哲也 | Jan・3rd'82 in Izumi | 1982(昭和57)年 | 紙・リトグラフ | 額装 | 63.5×59.0 | |
| 9 | 野田哲也 | Oct・22nd'82 in Tokyo | 1982(昭和57)年 | 紙・リトグラフ | 額装 | 84.0×59.3 | |
| 10 | 中林忠良 | 転移'86一地一Ⅵ | 1986(昭和61)年 | 紙・アクアチント | 額装 | 33.7×34.2 | |
| 11 | 中林忠良 | 春 | 1982(昭和57)年 | 紙・エッチング | 額装 | 56.8×49.2 | |
| (4) 呉市出身の版画家 朝井清 | | | | | | | |
| 12 | 朝井清 | 奈良の六角堂 | 1961(昭和36)年 | 紙・リノカット | 額装 | 68.8×90.0 | |
| (5) 異端のジャポニズム 月岡芳年と智内兄助 | | | | | | | |
| 13 | 月岡芳年 | 三代目岩井糸三郎のお柳の方 | 1860(万延元)年 | 紙・木版 | 額装 | 35.7×24.4 | |
| 14 | 月岡芳年 | 初代河原崎権十郎の多賀大領 | 1860(万延元)年 | 紙・木版 | 額装 | 35.7×25.7 | |
| 15 | 智内兄助 | 御供 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 57.0×39.4 | |
| 16 | 智内兄助 | 身 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 57.0×39.4 | |
| 17 | 智内兄助 | 人 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 39.4×57.0 | |
| (6) 蒐集家のための複製版画の世界 | | | | | | | |
| 18 | 土田麦僊 | 虞美人草 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 19.4×28.0 | |
| 19 | 土田麦僊 | 三人の舞妓 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 43.0×33.0 | |
| 20 | 土田麦僊 | 三人の舞妓 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 43.0×33.0 | |
| 21 | 上村松園 | 鼓の音 | 制作年不詳 | 紙・シルクスクリーン | 額装 | 48.0×60.0 | |
| 22 | 奥村土牛 | 鯉 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 44.4×61.7 | |
| 23 | 小倉遊亀 | 青梅と鉢 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 45.5×60.5 | |
| 24 | 小倉遊亀 | 三宝柑と九谷皿 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 45.5×60.5 | |
| 25 | 小松均 | 大原女 | 制作年不詳 | 紙・エッチング・手彩色 | 額装 | 69.5×49.5 | |
| 26 | 片岡球子 | めでたき山と樹 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 44.7×63.6 | |
| 27 | 東山魁夷 | 風吹く浜 | 制作年不詳 | 紙・シルクスクリーン | 額装 | 31.0×45.5 | |
| 28 | 杉山寧 | 淑 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 40.0×53.0 | |
| 29 | 大山忠作 | 紅白牡丹 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 54.0×68.4 | |
| 30 | 大山忠作 | 霊峰翔鶴 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 38.0×60.4 | |
| 31 | 加藤東一 | 鶉飼 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 50.2×62.6 | |
| 32 | 加藤東一 | 二月堂のお水とり | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 40.5×52.2 | |
| 33 | 松尾敏男 | 紅牡丹 | 制作年不詳 | 紙・木版 | 額装 | 41.0×47.0 | |

蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅲ

所蔵品への視点シリーズ・4 表紙絵・挿絵の世界

2021（令和3）年9月29日〔水〕—2022（令和4）年1月10日〔月・祝〕

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2021（令和3）年8月27日〔金〕から9月30日〔木〕までは臨時休館

雑誌や書籍の挿絵の地位が認められるようになったのは明治20年代からとされている。それまでは「版下絵師」と呼ばれ社会的地位の低かった挿絵の世界に著名な画家たちが参入するようになった。大正時代に入ると、雑誌・新聞の連載小説へ洋画家が挿絵を提供し人気を博した。現代では、出版の商業的発展、印刷技術の発展とともに、表紙絵や挿絵は多様に花開き、多くの人々を魅了している。この展示では、6人の作家が手がけた作品を紹介した。

竹久夢二（1884-1934）は、明治の頃、新聞や雑誌の余白に挿し込まれる〈こま絵〉と呼ばれた小さな絵を描くことから画家の道に進んだ。

寺内萬治郎（1890-1964）は、大正から昭和初期に、児童雑誌の挿絵提供の仕事をしていた。

林武（1896-1975）は、戦後美術の寵児となり、1950年代、50歳頃にかけて三島由紀夫や武田泰淳といった小説家たちの作品や、『週刊朝日』などの表紙絵を手がけた。

杉山寧（1909-1993）は、『文藝春秋』の表紙絵を1956（昭和31）年から1986（昭和61）年まで描いた。杉山寧の表紙絵の魅力は、その卓越した構図にある。月刊誌という位置づけから、季節の風物を配した清らかな画面構成は、多くの人々を納得させる美的感覚に満ちている。

智内兄助（1948-）は、宮尾登美子原作『蔵』の挿絵を手がけ、絵と文芸作品の見事な調和で人々を魅了した。

大沼映夫（1933-）は、1989（昭和64/平成元）年から中日新聞などに連載された新聞小説「生きている心臓」（加賀乙彦）の挿絵を描いた。1980年代後半、脳死や心臓移植に関する議論が巻き起こった時代背景のもとに生まれた小説を、具象と抽象の入り交じった挿絵によって描き出し高い評価を得た。

これらの作品を通して、美術が文芸や出版文化と深く結びついていることを知る機会となることを目指した。

（山崎環）



おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」11月号、呉市 ○「市政だよりくれ」12月号、呉市

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り）3,000部
- 出品目録 A4判（片面刷り）

蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅲ 「所蔵品への視点シリーズ・4 表紙絵・挿絵の世界」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 竹久夢二のこま絵

| | | | | | | | |
|---|------|-----------|-------|-----|----|-----------|--|
| 1 | 竹久夢二 | 橋をわたる | 制作年不詳 | 紙・墨 | 額装 | 11.5×11.5 | |
| 2 | 竹久夢二 | 風景 | 制作年不詳 | 紙・墨 | 額装 | 13.1×8.2 | |
| 3 | 竹久夢二 | 太陽の下で | 制作年不詳 | 紙・墨 | 額装 | 15.5×13.0 | |
| 4 | 竹久夢二 | 馬 | 制作年不詳 | 紙・墨 | 額装 | 12.0×12.0 | |
| 5 | 竹久夢二 | 向こうからくる子供 | 制作年不詳 | 紙・墨 | 額装 | 8.1×15.1 | |
| 6 | 竹久夢二 | シルクハットの子供 | 制作年不詳 | 紙・墨 | 額装 | 5.5×12.5 | |
| 7 | 竹久夢二 | 郵便 | 制作年不詳 | 紙・墨 | 額装 | 13.2×9.6 | |
| 8 | 竹久夢二 | カエルの絵 | 制作年不詳 | 紙・墨 | 額装 | 11.5×16.0 | |

(2) 寺内萬治郎の〈童画〉 No.15~18は童話集『青い眼の人形』【初出：童謡集『青い眼の人形』野口雨情著 金の星社 1924(大正13)年6月1日発行】からの復刻版画

| | | | | | | | |
|----|-------|----------------|-------------|------|----|-----------|----|
| 9 | 寺内萬治郎 | 挿絵「オヒサマトカゼノカミ」 | 1937(昭和12)年 | 印刷物 | 額装 | 37.5×25.3 | 寄託 |
| 10 | 寺内萬治郎 | 表紙絵「ハシ」 | 1932(昭和7)年 | 印刷物 | 額装 | 25.3×37.5 | 寄託 |
| 11 | 寺内萬治郎 | 表紙絵「ニハトリ」 | 1933(昭和8)年 | 印刷物 | 額装 | 37.5×25.3 | 寄託 |
| 12 | 寺内萬治郎 | 挿絵「オモチャアソビ」 | 1934(昭和9)年 | 印刷物 | 額装 | 37.5×25.3 | 寄託 |
| 13 | 寺内萬治郎 | 表紙絵「ヤサイ」 | 1936(昭和11)年 | 印刷物 | 額装 | 37.5×25.3 | 寄託 |
| 14 | 寺内萬治郎 | 表紙絵「トリ」 | 1936(昭和11)年 | 印刷物 | 額装 | 37.5×25.3 | 寄託 |
| 15 | 寺内萬治郎 | 挿絵「和歌の浦」復刻木版 | 1924(大正13)年 | 紙・木版 | 額装 | 18.0×11.6 | 寄託 |
| 16 | 寺内萬治郎 | 挿絵「赤い櫻んぼ」復刻木版 | 1924(大正13)年 | 紙・木版 | 額装 | 19.1×11.6 | 寄託 |
| 17 | 寺内萬治郎 | 挿絵「沙の数」復刻木版 | 1924(大正13)年 | 紙・木版 | 額装 | 18.0×11.6 | 寄託 |
| 18 | 寺内萬治郎 | 挿絵「くたびれこま」復刻木版 | 1924(大正13)年 | 紙・木版 | 額装 | 18.0×11.6 | 寄託 |

(3) 林武の表紙絵

| | | | | | | | |
|----|----|----------|-------|------------|----|-------------------------|--|
| 19 | 林武 | 女の顔 | 制作年不詳 | 紙・パステル | 額装 | 19.5×24.0 | |
| 20 | 林武 | 花 | 制作年不詳 | 紙・パステル・インク | 額装 | 27.8×40.0 | |
| 21 | 林武 | 人物 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | ㊦ 19.0×25.5 ㊧ 25.5×17.0 | |
| 22 | 林武 | 人物 | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | ㊦ 27.5×15.5 ㊧ 27.0×11.5 | |
| 23 | 林武 | 人 | 制作年不詳 | 紙・パステル・水彩 | 額装 | 26.0×27.0 | |
| 24 | 林武 | 宿命の血(挿絵) | 制作年不詳 | 紙・インク | 額装 | 28.0×19.0 | |
| 25 | 林武 | 裸婦群像 | 制作年不詳 | 紙・コンテ・水彩 | 額装 | 19.0×29.1 | |
| 26 | 林武 | 裸婦群像 | 制作年不詳 | 紙・インク・コンテ | 額装 | 19.0×29.3 | |

(4) 杉山寧の『文藝春秋』表紙絵

| | | | | | | | |
|----|-----|-------|-------------|-------|----|-----------|--|
| 27 | 杉山寧 | 冬がまえ | 1966(昭和41)年 | 麻布・彩色 | 額装 | 17.7×17.7 | |
| 28 | 杉山寧 | りんご | 1966(昭和41)年 | 麻布・彩色 | 額装 | 17.7×17.7 | |
| 29 | 杉山寧 | 向日葵 | 1966(昭和41)年 | 麻布・彩色 | 額装 | 17.7×17.7 | |
| 30 | 杉山寧 | 渡り | 1966(昭和41)年 | 麻布・彩色 | 額装 | 17.7×17.7 | |
| 31 | 杉山寧 | 城 | 1966(昭和41)年 | 麻布・彩色 | 額装 | 17.7×17.7 | |
| 32 | 杉山寧 | 土偶 | 1966(昭和41)年 | 麻布・彩色 | 額装 | 17.7×17.7 | |
| 33 | 杉山寧 | マカオの海 | 1966(昭和41)年 | 麻布・彩色 | 額装 | 17.7×17.7 | |

(5) 智内兄助の『蔵』挿絵

| | | | | | | | |
|----|------|----|-------|---------|----|-----------|--|
| 34 | 智内兄助 | 身 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 57.0×39.4 | |
| 35 | 智内兄助 | 人 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 39.4×57.0 | |
| 36 | 智内兄助 | 御供 | 制作年不詳 | 紙・リトグラフ | 額装 | 57.0×39.4 | |

(6) 大沼映夫の『生きていく心臓』挿絵

| | | | | | | | |
|----|------|--------------------|------------|-------------|----|-----------|--|
| 37 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 ドンキホーテ(17) | 1990(平成2)年 | 紙・鉛筆・インク・水彩 | 額装 | 24.0×33.8 | |
| 38 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 教室(22) | 1989(平成元)年 | 紙・鉛筆・色鉛筆 | 額装 | 23.9×33.7 | |
| 39 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 ドンキホーテ(26) | 1990(平成2)年 | 紙・インク・水彩 | 額装 | 23.7×33.6 | |
| 40 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 手術室(11) | 1990(平成2)年 | 紙・鉛筆 | 額装 | 12.0×18.3 | |
| 41 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 ドンキホーテ(29) | 1990(平成2)年 | 紙・鉛筆・インク・水彩 | 額装 | 23.2×32.7 | |
| 42 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 ドンキホーテ(23) | 1990(平成2)年 | 紙・鉛筆・色鉛筆・水彩 | 額装 | 12.0×18.2 | |
| 43 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 合わせ鏡(7) | 1990(平成2)年 | 紙・鉛筆・インク・水彩 | 額装 | 23.6×33.8 | |
| 44 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 ドンキホーテ(7) | 1990(平成2)年 | 紙・鉛筆・インク・水彩 | 額装 | 23.8×33.7 | |
| 45 | 大沼映夫 | 生きていく心臓 ドンキホーテ(8) | 1990(平成2)年 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 24.0×33.7 | |

| | | | | | | | |
|----|------|-----------------|--------------|----------|----|-----------|--|
| 46 | 大沼映夫 | 生きている心臓 手術室 (3) | 1990 (平成2) 年 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 23.8×33.7 | |
| 47 | 大沼映夫 | 生きている心臓 告発 (33) | 1990 (平成2) 年 | 紙・インク | 額装 | 23.8×33.8 | |
| 48 | 大沼映夫 | 生きている心臓 家族 (22) | 1990 (平成2) 年 | 紙・鉛筆・インク | 額装 | 23.8×33.7 | |

蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅳ

寺内萬治郎と森清治郎

2022（令和4）年1月12日〔水〕—4月4日〔月〕

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2022（令和4）年1月9日〔日〕から2月20日〔日〕までは臨時休館

師弟関係にあった寺内萬治郎と森清治郎の作品を紹介した。

寺内萬治郎（1890-1964）は、昭和22（1947）年、東京美術学校師範科卒業生らによって結成した紅土会を自身の活動のひとつとし、昭和38（1963）年の会解散まで、長年にわたり指導した。

このメンバーのひとり、森清治郎（1921-2004）がいた。自身の病気や戦争の混乱期、創作の方向性を模索していた清治郎は、寺内萬治郎の芸術追究の姿に強い感銘を受け、終生の師と仰いだ。森清治郎はその後、工場や建物群、集落の景観を描くことを本領として画家として成長し、戦後から平成にかけて風景を主題として活躍した。日展、光風会をおもな発表の場とし、個展も重ね、人情味溢れる作風を育んだ。重厚に塗り重ねた色彩で建物を描く点に持ち味があり、初期は東京の下町を題材とし、30代半ばでの渡欧の経験から、以後はヨーロッパの町並み、日本の古民家、地方固有の歴史性に満ちた風景画、庶民の生活感あふれる裏通り、野辺などを題材に作風を確立した。

寺内萬治郎は、大正から昭和40年代にかけて、一貫して裸婦像を描いた。写実に徹し、帝展、文展、日展、光風会などで作品を発表し「裸婦の寺内」として評価を確立した。東京美術学校西洋画科で黒田清輝、藤島武二らに学んだ寺内萬治郎は、のちに自身も母校で美術教育に携わった。明治の正統的な洋画教育を受け継ぎ堅実な写実の作風を持つ寺内は、後進の画家にも多くの影響を与えた。

「裸婦の寺内」、「風景の森」、それぞれに違ったテーマを持ち、足跡を残した二人の画家。本展は、ふたりの出会いに焦点を絞り、創作の軌跡を紹介した。また、森清治郎氏ご子息・森哲也氏が本展のために寄稿した文章「父との絵の思い出」を掲示した。

（山崎環）

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」1月号、呉市 ○「市政だよりくれ」2月号、呉市 ○「市政だよりくれ」3月号、呉市 ○「ART」『くれえばん』1月号、株式会社SAメディアラボ

印刷物

- チラシA4判（両面刷り）3,000部
- 出品目録A4判（片面刷り）



蘭島閣美術館別館 所蔵品展Ⅳ 「寺内萬治郎と森清治郎」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 寺内萬治郎と森清治郎

| | | | | | | | |
|---|-------|--------------|-------------|----------|----|------------|----|
| 1 | 森清治郎 | オビドスの僧院 | 1992(平成4)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 60.0×73.0 | |
| 2 | 森清治郎 | 佐用川のほとり | 1992(平成4)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 60.3×91.0 | |
| 3 | 森清治郎 | 山百合とアルパベルロの壺 | 1995(平成6)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 41.0×27.3 | |
| 4 | 森清治郎 | アネモネ | 1988(昭和63)年 | 紙・リトグラフ | 額装 | 52.5×59.8 | |
| 5 | 森清治郎 | 童女 | 1991(平成3)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 40.0×31.0 | |
| 6 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 1951(昭和26)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.5×90.8 | |
| 7 | 寺内萬治郎 | 横臥裸婦 | 1957(昭和32)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.0×115.5 | 寄託 |
| 8 | 寺内萬治郎 | 横臥裸婦 | 1958(昭和33)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 96.0×144.0 | 寄託 |

(2) 師弟、ふたりの出会い

| | | | | | | | |
|----|-------|----------|-------------|----------|----|-----------|----|
| 9 | 森清治郎 | M嬢 | 1947(昭和22)年 | 紙・油彩 | 額装 | 45.6×37.9 | 寄託 |
| 10 | 森清治郎 | 川口の工場 | 1949(昭和24)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 53.0×73.0 | |
| 11 | 森清治郎 | 日野 | 1949(昭和27)年 | 板・油彩 | 額装 | 23.6×32.0 | |
| 12 | 森清治郎 | 東京湾(芝浦) | 1957(昭和32)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×53.0 | |
| 13 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 1937(昭和12)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 73.0×61.2 | |
| 14 | 寺内萬治郎 | 赤いオーバーの女 | 1947(昭和22)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 91.0×72.8 | |
| 15 | 寺内萬治郎 | 背を見せたる裸婦 | 1954(昭和29)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 33.3×24.5 | |
| 16 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 1950(昭和25)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 40.5×32.0 | |
| 17 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 24.8×24.0 | |
| 18 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 34.2×23.0 | |
| 19 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 31.6×20.2 | |
| 20 | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 20.0×26.4 | |

(3) 渡欧、風景画の確立

| | | | | | | | |
|----|------|--------------------|-------------|---------------|----|-----------|--|
| 21 | 森清治郎 | カンヌの窓より | 1958(昭和33)年 | 紙・鉛筆・水彩・パステル | 額装 | 31.6×40.8 | |
| 22 | 森清治郎 | サンマルタン運河Ⅰ 1958(巴里) | 1958(昭和33)年 | 紙・水彩・インク | 額装 | 47.6×56.5 | |
| 23 | 森清治郎 | サンマルタン運河Ⅱ 1958(巴里) | 1958(昭和33)年 | 紙・水彩・パステル・インク | 額装 | 49.6×58.5 | |
| 24 | 森清治郎 | サンマルタン運河Ⅲ | 1958(昭和33)年 | 紙・水彩・パステル・インク | 額装 | 39.7×46.2 | |
| 25 | 森清治郎 | 古い巴里 | 1958(昭和33)年 | 紙・水彩・パステル・インク | 額装 | 38.0×44.6 | |
| 26 | 森清治郎 | パリ街景 | 1958(昭和33)年 | 紙・パステル | 額装 | 55.5×64.7 | |
| 27 | 森清治郎 | セーヌ ベルサイユあたり | 1998(平成10)年 | 紙・水彩・油彩 | 額装 | 67.5×58.3 | |

(4) 師、寺内萬治郎の故郷を描く

| | | | | | | | |
|----|------|---------|-------------|-----------|----|-------------|--|
| 28 | 森清治郎 | 三之瀬風景 | 1998(平成10)年 | 紙・油彩 | 額装 | 53.0×72.7 | |
| 29 | 森清治郎 | 天神鼻真景 | 1994(平成6)年 | 紙・水彩・パステル | 額装 | 35.0×50.0 | |
| 30 | 森清治郎 | 眺望天神鼻真景 | 1994(平成6)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 112.1×161.9 | |

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品公開事業

| | | |
|-------|-----------|--------|
| 所蔵品展Ⅰ | ・ ・ ・ ・ ・ | 50-51p |
| 所蔵品展Ⅱ | ・ ・ ・ ・ ・ | 52-54p |
| 所蔵品展Ⅲ | ・ ・ ・ ・ ・ | 55-56p |
| 所蔵品展Ⅳ | ・ ・ ・ ・ ・ | 57-58p |

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展 I

須田国太郎が見つめた世界ー留学から晩年までー

2021（令和3）年4月21日 [水]ー6月21日 [月]

須田国太郎の留学時代から晩年までの油彩画をはじめ、水墨画や水彩画、スケッチなど、須田国太郎に関する当館の所蔵作品を一挙に展示。また、常用した画材、スペイン留学で使用したトランク、日常的に愛用した遺品なども併せ、これらを通して須田が見つめた世界を紹介した。

須田国太郎は1891（明治24）年に京都で生まれ、美術家としても活躍した。京都帝国大学（現・京都大学）で美学・美術史を学び、「写実主義」や「絵画の理論と技巧」をテーマに研究に励み、19歳頃から独学で油絵を始めた。その後26歳の時に関西美術院に入学し、大学院での研究と並行してデッサンなどを学んでいる。28歳でスペインに留学し、ルネサンス以降の油絵の歴史と実践（実技）を研究した。帰国後しばらくは、美術史を講じ、41歳で初めて開いた個展を機に画壇デビューを果たす。1934（昭和9）年からは独立美術協会を活動の中心に据え、精力的に活躍していった。

本展では、31歳の留学時に描いた「モヘンテ」から、画壇デビュー後の風景画や人物画、静物画、動物をテーマにした油彩画を紹介。あらゆる画題に目を向けて取り組んでいる様子を紹介した。

須田は、自宅近くの京都市動物園や、芸備地方を含めた日本各地へ写生によく出かけた。本展では広島を訪れて描いた「厳島」や「尾道風景」、動物園で取材した「馬」や「大鶴」などの作品を紹介。

このほか、須田は19歳ごろから生涯にわたり、能の謡をたしなんでいる。能の鑑賞時、多くのデッサンを残しその動きを見事にとらえている。展示では、能デッサン「能（角田川）」を紹介。最後に、戦後から晩年にかけての油彩画を紹介し、須田が見つめた世界を辿った。
（沼田綿子）

おもな関連記事、番組など

- 「市政だよりくれ」5月号、呉市 ○「市政だよりくれ」6月号、呉市
- 「ART」『月刊くれえばん』6月号、株式会社 SA メディアラボ
- 「須田国太郎の油彩画蔵出し」中国新聞、2021（令和3）年5月22日

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り） 6,500部
- 出品目録 A4判（片面刷り）

所蔵品展 I

須田国太郎が見つめた世界ー留学から晩年までー

2021年 4/21 (水) - 6/21 (月)

三之瀬御本陣芸術文化館

観覧時間 午前9時～午後5時（最終観覧は午後4時30分）
休 日 毎週水曜日（ただし4月祝祭日は除く）、6/6日
入 館 料 大人 600円（500円）
小・中学生 200円（150円）
高 校 生 300円（240円）
※19歳以下は以上の団体料金・団体観覧料の半額となります。
※団体料金（団体観覧料）は、団体名・団体人数・団体住所・団体連絡先（団体名・団体住所・団体電話番号）を明記した申込書を提出していただきます。
※申込書は、団体名・団体人数・団体住所・団体連絡先（団体名・団体住所・団体電話番号）を明記した申込書を提出していただきます。
※申込書は、団体名・団体人数・団体住所・団体連絡先（団体名・団体住所・団体電話番号）を明記した申込書を提出していただきます。



須田国太郎は1891（明治24）年に京都で生まれ、美術家としても活躍した油絵の画家です。須田ははじめ、京都帝国大学（現・京都大学）において美学・美術史を学び、「写実主義」や「絵画の理論と技巧」をテーマに研究に励み、19歳頃から独学で油絵を始めた。その後26歳の時に関西美術院に入学し、大学院での研究と並行してデッサンなどを学んでいる。28歳でスペインに留学し、ルネサンス以降の油絵の歴史と実践（実技）を研究した。帰国後しばらくは、美術史を講じ、41歳で初めて開いた個展を機に画壇デビューを果たす。1934（昭和9）年からは独立美術協会を活動の中心に据え、精力的に活躍していった。

須田は、自宅近くの京都市動物園や、芸備地方を含めた日本各地へ写生によく出かけた。本展では広島を訪れて描いた「厳島」や「尾道風景」、動物園で取材した「馬」や「大鶴」などの作品を紹介。

このほか、須田は19歳ごろから生涯にわたり、能の謡をたしなんでいる。能の鑑賞時、多くのデッサンを残しその動きを見事にとらえている。展示では、能デッサン「能（角田川）」を紹介。最後に、戦後から晩年にかけての油彩画を紹介し、須田が見つめた世界を辿った。

（沼田綿子）

散策マップ

三之瀬御本陣芸術文化館

観覧時間 午前9時～午後5時（最終観覧は午後4時30分）
休 日 毎週水曜日（ただし4月祝祭日は除く）、6/6日
入 館 料 大人 600円（500円）
小・中学生 200円（150円）
高 校 生 300円（240円）
※19歳以下は以上の団体料金・団体観覧料の半額となります。
※団体料金（団体観覧料）は、団体名・団体人数・団体住所・団体連絡先（団体名・団体住所・団体電話番号）を明記した申込書を提出していただきます。
※申込書は、団体名・団体人数・団体住所・団体連絡先（団体名・団体住所・団体電話番号）を明記した申込書を提出していただきます。
※申込書は、団体名・団体人数・団体住所・団体連絡先（団体名・団体住所・団体電話番号）を明記した申込書を提出していただきます。

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅰ 「須田国太郎が見つめた世界ー留学から晩年までー」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-------|-------------|--------------------|----------|----|-------------|----|
| 1 | 土門拳 | 照影 | 1953(昭和28)年 | 紙・プリント | 額装 | 119.5×89.5 | |
| 2 | 須田国太郎 | モヘンテ | 1922(大正11)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 66.6×81.4 | |
| 3 | 須田国太郎 | 牛 | 1934(昭和9)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 65.0×80.0 | |
| 4 | 須田国太郎 | 花山天文台遠望 | 1931(昭和6)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 64.5×90.5 | |
| 5 | 須田国太郎 | 雨後(水間村) | 1935(昭和10)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 65.2×80.3 | 寄託 |
| 6 | 須田国太郎 | 裸婦習作 | 1925-34(大正14-昭和9)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 90.3×60.2 | |
| 7 | 須田国太郎 | 裸婦 | 1934(昭和9)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 90.4×60.6 | |
| 8 | 須田国太郎 | 雑草 | 1940(昭和15)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 65.0×91.0 | |
| 9 | 須田国太郎 | 静物(蔬菜) | 1940(昭和15)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 52.8×45.4 | |
| 10 | 須田国太郎 | ざくろ | 1940(昭和15)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 24.3×33.4 | |
| 11 | 須田国太郎 | 花と鳥 | 1941-44(昭和16-19)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 33.4×24.3 | |
| 12 | 須田国太郎 | 紅薔薇 | 1942(昭和17)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 44.5×52.0 | |
| 13 | 須田国太郎 | 溪流の鷺 | 1942(昭和17)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.0×45.5 | |
| 14 | 須田国太郎 | 黒つぐみ | 1942(昭和17)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×53.0 | |
| 15 | 須田国太郎 | 風景 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 32.0×44.4 | |
| 16 | 須田国太郎 | 巖島 | 1954(昭和29)年 | 紙・水彩 | 額装 | 44.2×61.8 | |
| 17 | 須田国太郎 | 樹上猿 | 1950(昭和25)年 | 紙・鉛筆・水彩 | 額装 | 42.7×54.5 | |
| 18 | 須田国太郎 | 猫 | 1949(昭和24)年頃 | 紙・鉛筆 | 額装 | 33.3×24.2 | |
| 19 | 須田国太郎 | 猫 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆 | 額装 | 33.3×24.2 | |
| 20 | 須田国太郎 | 第三明悦丸修築 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆 | 額装 | 24.2×33.3 | |
| 21 | 須田国太郎 | 能(角田川) 5図 | 1951(昭和26)年 | 紙・鉛筆 | 額装 | 各 20.5×25.0 | |
| 22 | 須田国太郎 | 薔薇 | 制作年不詳 | 色紙・パステル | 額装 | 24.4×27.5 | |
| 23 | 須田国太郎 | ばら | 1945-50(昭和20-25)年 | 紙・水彩 | 額装 | 27.2×24.0 | |
| 24 | 須田国太郎 | 尾道風景 | 制作年不詳 | 紙本墨画 | 額装 | 31.7×42.7 | |
| 25 | 須田国太郎 | 馬 | 1944(昭和19)年頃 | 紙本墨画 | 額装 | 27.0×24.0 | |
| 26 | 須田国太郎 | 樹に止まった鷺 | 制作年不詳 | 紙本墨画淡彩 | 額装 | 16.3×52.0 | |
| 27 | 須田国太郎 | 猛禽 | 1946(昭和21)年 | 紙本墨画淡彩 | 軸装 | 90.5×33.6 | |
| 28 | 須田国太郎 | 大鶴 | 制作年不詳 | 紙本墨画淡彩 | 額装 | 27.0×24.2 | |
| 29 | 須田国太郎 | 富士遠望 | 1943-44(昭和18-19)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.0×52.6 | |
| 30 | 須田国太郎 | 黄豹 | 1944(昭和19)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 41.0×53.0 | |
| 31 | 須田国太郎 | 夫婦の像 | 1944(昭和19)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.6×53.0 | |
| 32 | 須田国太郎 | 月瀬平 | 1949(昭和24)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×53.0 | |
| 33 | 須田国太郎 | 風景 | 1946-47(昭和21-22)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 36.0×43.5 | |
| 34 | 須田国太郎 | 夏雲 | 1951(昭和26)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.0×45.0 | |
| 35 | 須田国太郎 | 赤比叡 | 1951(昭和26)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 37.8×45.0 | |
| 36 | 須田国太郎 | 大和室生寺十一面観音像 | 1951(昭和26)年 | 紙・油彩 | 額装 | 32.8×27.0 | |
| 37 | 須田国太郎 | 裸婦 | 1957(昭和32)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 44.7×27.5 | |

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展 II

「色の力」須田国太郎 & フォービズムの画家たち あざやかな錦絵の世界

2021（令和3）年6月23日〔水〕－8月23日〔月〕

「色の力」と題して「須田国太郎&フォービズムの画家たち」と「あざやかな錦絵の世界」の2部構成で、近代日本の油彩画と、江戸時代から明治時代初期にかけての錦絵（多色摺木版）を紹介した。

第1章では20世紀初頭に台頭したフォービズムに影響を受けた日本の画家たちを紹介した。色そのものが持つ力を探り、原色を多用し、細部を簡略化した激しいタッチで作品を描いたフォービズム。国内でフォービズムを広めるのに一翼を担ったのが「新時代の美術の確立」を宣言して1930（昭和5）年に創立された独立美術協会である。本展では、この会の発端となった佐伯祐三、創立メンバーの里見勝蔵、林武、児島善三郎、三岸好太郎の作品に加え、西洋の新しい色彩理論の影響を受けながらも、日本の風土に根ざした独自のスタイルを模索した梅原龍三郎や中川一政らの作品を紹介した。また、同時代に独立美術協会で活躍し続けた須田国太郎の作品もあわせて紹介した。

第2章ではフォービズムに影響を与えた一人である画家ファン・ゴッホらが日本の錦絵に魅了されたことをふまえ、錦絵の魅力を紹介した。

多色摺木版画は、江戸の庶民が気軽に楽しめる娯楽として大流行した。美人画や歌舞伎役者を描いた役者絵は、ファッションや芸能の情報発信として人気を博した。美人画、当時の世相を表現した作品、役者絵の3つのテーマで展開し、菊川英山「提灯を持つ女」や歌川芳員の「横兵異人館之図」、歌川豊国（三代）と歌川広重の合作「東都高名会席盡」などあざやか錦絵の世界を紹介した。

（湯浅ひろみ）

関連行事

●ワークショップ

「コマで色の不思議体験！」

2021（令和3）年7月11日（日）

午前10時から午後2時まで（予約制）

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」7月号、呉市 ○「市政だよりくれ」8月号、呉市 ○「ART」『月刊くれえばん』8月号、株式会社SAメディアラボ

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り） 6,500部
- 出品目録 A4判（片面刷り）



三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展II 「色の力 須田国太郎 & フォービズムの画家たち あざやかな錦絵の世界」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

須田国太郎 & フォービズムの画家たち

(1) フォービズムの画家たち 1 独立美術協会の画家たち

| | | | | | | | |
|---|-------|--------|-------------|----------|----|------------|--|
| 1 | 佐伯祐三 | パリの教会堂 | 1928(昭和3)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 38.2×45.0 | |
| 2 | 里見勝蔵 | イビサ風景 | 制作年不詳 | キャンパス・油彩 | 額装 | 88.8×115.8 | |
| 3 | 里見勝蔵 | 裸婦 | 1934(昭和9)年頃 | キャンパス・油彩 | 額装 | 52.5×79.6 | |
| 4 | 林武 | 婦人像 | 1923(大正12)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 45.3×37.8 | |
| 5 | 林武 | 婦人座像 | 1942(昭和17)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 90.2×72.6 | |
| 6 | 林武 | 婦人像 | 1945(昭和20)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 100.0×65.3 | |
| 7 | 児島善三郎 | 横臥 | 1929(昭和4)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 97.5×162.2 | |
| 8 | 三岸好太郎 | 印度人の男 | 制作年不詳 | 紙・ガッシュ | 額装 | 50.2×36.5 | |
| 9 | 三岸好太郎 | 貝殻 | 1934(昭和9)年 | 板・油彩 | 額装 | 21.2×27.1 | |

(2) フォービズムの画家たち 2 西洋の色彩理論を独自に展開していった画家

| | | | | | | | |
|----|--------|-------|-------------|----------|----|-----------|--|
| 10 | 海老原喜之助 | 初夏快走 | 1967(昭和42)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 16.0×22.9 | |
| 11 | 梅原龍三郎 | 少女 | 1973(昭和48)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 59.8×43.0 | |
| 12 | 梅原龍三郎 | 牡丹図 | 1975(昭和50)年 | 紙・油彩 | 額装 | 39.8×30.3 | |
| 13 | 中川一政 | 尾の道展望 | 1961(昭和36)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 65.2×80.8 | |
| 14 | 中川一政 | 薔薇 | 制作年不詳 | キャンパス・油彩 | 額装 | 60.8×45.7 | |
| 15 | 長谷川利行 | 浅草六区 | 1935(昭和10)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 38.0×45.5 | |

(3) 須田国太郎

| | | | | | | | |
|----|-------|--------|-------------------|----------|----|-----------|--|
| 16 | 須田国太郎 | 静物(蔬菜) | 1940(昭和15)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 52.8×45.4 | |
| 17 | 須田国太郎 | ざくろ | 1940(昭和15)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 24.3×33.4 | |
| 18 | 須田国太郎 | 風景 | 1946-47(昭和21-22)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 36.0×43.5 | |
| 19 | 須田国太郎 | 夏雲 | 1951(昭和26)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 38.0×45.0 | |
| 20 | 須田国太郎 | 花と鳥 | 1941-44(昭和16-19)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 33.4×24.3 | |
| 21 | 須田国太郎 | 瑞鳥 | 1940(昭和15)年頃 | キャンパス・油彩 | 額装 | 31.7×48.8 | |

あざやかな錦絵の世界

(1) 美人画

| | | | | | | | |
|----|----------|-------------------------------|--------------------|---------|----|-----------|--|
| 22 | 菊川英山 | 提灯を持つ女 | 江戸時代 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 73.3×23.4 | |
| 23 | 溪斎英泉 | 《当世美人合》松竹梅 浮世三美人 | 江戸時代 | 紙・多色摺木版 | | 39.5×27.0 | |
| 24 | 歌川豊国(三代) | 《美人爽句集》哥女吉 | 1863(文久3)年 | 紙・多色摺木版 | | 37.0×25.5 | |
| 25 | 歌川豊国(三代) | 吾妻源氏雅遊之図 | 1854(嘉永7)年 | 紙・多色摺木版 | | 37.5×76.7 | |
| 26 | 歌川広重 | 《江戸名所五性》両国乃花火 | 1847-52(弘化4-嘉永5)年頃 | 紙・多色摺木版 | | 38.0×25.5 | |
| 27 | 歌川広重 | 《東都名所年中行事》 八月 向しま花屋敷 秋の花ぞの | 1854(嘉永7)年 | 紙・多色摺木版 | | 37.2×25.5 | |

(2) 世相や流行をうつす風俗画

| | | | | | | | |
|----|------|---------------|-------------|---------|-----|-----------|--|
| 28 | 歌川広重 | 《名所江戸百景》廓中東雲 | 1857(安政4)年 | 紙・多色摺木版 | | 38.0×25.0 | |
| 29 | 楊洲周延 | 將軍徳川家 累代鏡 上ノ巻 | 1879(明治12)年 | 紙・多色摺木版 | | 37.0×73.0 | |
| 30 | 歌川芳員 | 横浜異人館之図 | 1866(慶応2)年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 35.3×73.0 | |
| 31 | 歌川国利 | 御臨幸鳳凰御輦之図 | 1890(明治23)年 | 紙・多色摺木版 | パネル | 37.0×72.5 | |
| 32 | 永島春暁 | 藝州広島大本営之図 | 明治時代 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 34.3×69.4 | |
| 33 | 作者不詳 | 大元帥陛下廣嶋御発轡 | 1894(明治27)年 | 紙・多色摺木版 | パネル | 36.4×71.1 | |

(3) 役者絵

| | | | | | | | |
|----|-------------------|------------------------------|------------|---------|----|-----------|--|
| 34 | 歌川豊国(三代)・ 歌川広重 | 《東都高名会席書》 三代目岩井桑三郎のすしや娘お里 | 1852(嘉永5)年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 35.6×24.4 | |
| 35 | 歌川豊国(三代)・ 歌川広重 | 《東都高名会席書》 三代目坂東三津五郎の狐忠信 | 1852(嘉永5)年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 36.5×24.6 | |
| 36 | 歌川豊国(三代)・ 歌川広重 | 《東都高名会席書》 三代目岩井桑三郎の牛若丸 | 1852(嘉永5)年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 36.5×24.8 | |
| 37 | 歌川豊国(三代)・ 歌川広重 | 《東都高名会席書》 五代目瀬川菊之丞の巴御前 | 1852(嘉永5)年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 36.0×24.8 | |

| | | | | | | | |
|----|-------------------|--|--------------------------|---------|----|------------------------|--|
| 38 | 歌川豊国（三代）・ 歌川広重 | 《東都高名会席盡》 六代目松本幸四郎の惣ろく | 1853（嘉永6）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 36.4×24.7 | |
| 39 | 歌川豊国（三代）・ 歌川広重 | 《東都高名会席盡》 五代目岩井半四郎の桜ひめ | 1852（嘉永5）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 35.2×23.8 | |
| 40 | 歌川豊国（三代） | 《今様押絵鏡》 初代河原崎権十郎の桃井若狭之助 | 1859（安政6）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 35.8×25.2 | |
| 41 | 歌川豊国（三代） | 《今様押絵鏡》 八代目片岡仁左衛門の梅の由兵衛 | 1859（安政6）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 36.0×24.5 | |
| 42 | 歌川豊国（三代） | 《今様押絵鏡》 三代目沢村田之助の新造名古曾 | 1859（安政6）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 35.9×25.1 | |
| 43 | 歌川豊国（三代） | 《今様押絵鏡》 三代目沢村田之助の快童丸 | 1860（万延元）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 35.9×26.0 | |
| 44 | 歌川豊国（三代） | 《今様押絵鏡》 初代中村福助の雪の山姥 | 1860（万延元）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 36.0×25.2 | |
| 45 | 歌川豊国（三代） | 《京人形》 （右）四代目尾上菊五郎のおやま人形の精 （左）初代中村福助の左り甚五郎 | 1859（安政6）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 35.8×25.4 35.8×25.5 | |
| 46 | 歌川豊国（三代） | 《仮名手本忠臣蔵》 （右）初代河原崎権十郎の斧定九郎 （左上）初代河原崎権十郎の早野勘平 （左）四代目市川小団次の百姓与一兵衛 | 1859（安政6）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 35.9×25.4 35.9×25.2 | |
| 47 | 歌川豊国（三代） | 児雷也豪傑譚 | 1852（嘉永5）年 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 33.9×49.4 | |
| 48 | 楊洲周延 | 《土蜘蛛》 （右）初代市川左團次の平井保昌 （中）五代目尾上菊次郎の土蜘蛛の精 （左）九代目市川團十郎の狂言師 | 明治時代 1881（明治14）年以降の刊行 | 紙・多色摺木版 | 額装 | 34.5×47.9 | |

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅲ 「旅する画家たち」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 油彩画家たちが描いた外国の風景

| | | | | | | | |
|----|-------|---------------|-------------------|----------|----|------------|--|
| 1 | 佐伯祐三 | パリの教会堂 | 1928(昭和3)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.2×45.0 | |
| 2 | 山口薫 | モンレリー風景(パリ郊外) | 1933(昭和8)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 65.1×80.5 | |
| 3 | 三岸節子 | カーニユの窓 | 1969(昭和44)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 90.8×70.3 | |
| 4 | 三岸節子 | アルスの広場への道 | 1977(昭和52)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 73.0×92.0 | |
| 5 | 三岸節子 | カダケス | 1987(昭和62)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 50.0×72.7 | |
| 6 | 里見勝蔵 | イビサ風景 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 88.8×115.8 | |
| 7 | 須田国太郎 | モヘンテ | 1922(大正11)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 66.6×81.4 | |
| 8 | 須田国太郎 | 牛 | 1934(昭和9)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 65.0×80.0 | |
| 9 | 鳥海青児 | スペイン風景 | 1959-62(昭和34-37)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 32.0×41.2 | |
| 10 | 鳥海青児 | アルゼリア風景 | 1930(昭和5)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 65.2×91.1 | |
| 11 | 鳥海青児 | アルゼリール風景 | 1932(昭和7)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 22.0×27.5 | |

(2) 油彩画家たちが描いた日本の風景

| | | | | | | | |
|----|-------|----------|-------------|----------|------|--------------|----|
| 12 | 三岸節子 | 梅の花咲く | 1964(昭和39)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 72.7×90.9 | |
| 13 | 鳥海青児 | 段々島 | 1951(昭和26)年 | ボード・油彩 | 額装 | 32.1×37.6 | |
| 14 | 菅野圭介 | 葉山あぶずり海岸 | 1961(昭和36)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×53.0 | |
| 15 | 中川一政 | 尾の道展望 | 1961(昭和36)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 65.2×80.8 | |
| 16 | 林武 | 風景 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 81.0×73.6 | |
| 17 | 須田国太郎 | 花山天文台遠望 | 1931(昭和6)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 64.5×90.5 | |
| 18 | 須田国太郎 | 雨後(水間村) | 1935(昭和10)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 65.2×80.3 | 寄託 |
| 19 | 須田国太郎 | 赤比叡 | 1951(昭和26)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 37.8×45.0 | |
| 20 | 須田国太郎 | 夏雲 | 1951(昭和26)年 | キャンバス・油彩 | 額装 | 38.0×45.0 | |
| 21 | 須田国太郎 | 尾道風景 | 制作年不詳 | 紙本墨画 | 額装 | 31.7×42.7 | |
| 22 | 須田国太郎 | 巖島 | 1954(昭和29)年 | 紙・水彩 | 額装 | 44.2×61.8 | |
| 23 | 須田国太郎 | 風景 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 32.0×44.4 | |
| 24 | 須田国太郎 | 第三明悦丸修築 | 制作年不詳 | 紙・鉛筆 | 額装 | 24.2×33.3 | |
| 25 | 小林和作 | 尾道風景 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×53.0 | |
| 26 | 小林和作 | 奥日光秋景 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 37.7×45.7 | |
| 27 | 小林和作 | 海(室戸岬) | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 31.5×40.8 | |
| 28 | 小林和作 | 海 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 二曲一双 | 各148.3×139.5 | |
| 29 | 小林和作 | 紀州の海 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 32.0×41.0 | 寄託 |
| 30 | 小林和作 | 大雪山早春 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 23.0×32.0 | 寄託 |
| 31 | 小林和作 | 那須岳残雪 | 制作年不詳 | キャンバス・油彩 | 額装 | 45.5×37.8 | 寄託 |

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅳ

鳥・とりどりー描かれた鳥たちー

2022（令和4）年2月21日〔月〕ー4月25日〔月〕

*当初予定していた2022（令和4）年2月16日〔水〕から4月25日〔月〕までの会期を、新型コロナウイルス感染拡大の影響（臨時休館の措置）により上記に変更

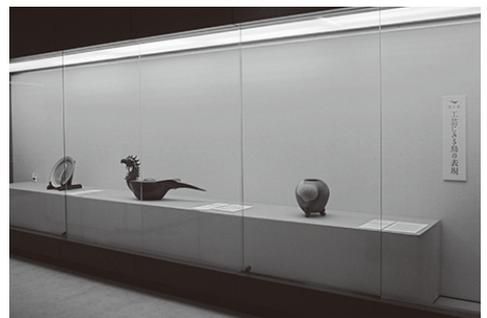
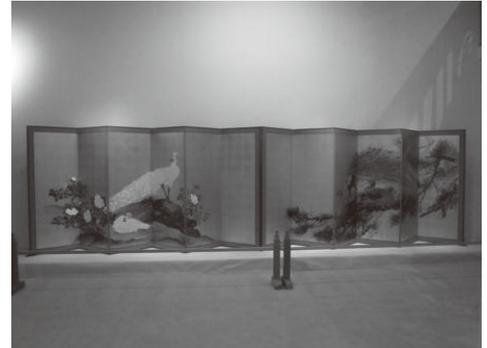
いつの時代も人々の生活に身近な存在である鳥は、芸術作品の画題として広く好まれてきた。吉祥の象徴として縁起の良い鳥、暮らしの中で見るとなじみ深い鳥、四季の移ろいを感じる鳥など、実に多様である。本展では、絵画や工芸品から、鳥をテーマにしたさまざまな表現を紹介した。

第1章では、絵画に見る鳥の表現に注目。洋画家の須田国太郎は、動物園で鳥類の標識画を手がけるほどの鳥好きで、鳥を描いた作品を多く残している。「溪流の鷺」や「猛禽」のように、特に猛禽類を好み、その鋭いくちばしやしつかりとした脚の力強い表現は須田特有と言える。日本画家の小村大雲は、動物園さながらに自宅に多くの動物を飼育し、その描写を極めた。本コーナーでは2種のクジャクの雄雌を描いた六曲一双の大作「孔雀図」を展示。これらの鳥は古来より吉祥の象徴とされてきた。このほか、死してなお、鮮やかな色彩を放つキジを描いた安井曾太郎の「雉子」や鳥形埴輪をモチーフにした三岸節子の「二つの鳥」、四季の鳥を暮らしの中で楽しむ池田栄廣の「四季襖絵」など、作者の捉え方、技法や形状も異なる多種多様な鳥の表現を紹介した。

鳥は工芸品の意匠にもよく用いられてきた。第2章では、陶芸・工芸に見る鳥の表現に注目。陶磁器ではニュージーランドの国鳥、キーウィをモデルにした今井政之の作品や伝説の神獣である朱雀から想を得た今井真正の力作のほか、藤本能道や加藤土師萌ら現代陶芸家の作品で鳥の表現を辿った。

伝統的な画題として描かれた鳥の多くは、繁栄を願う幸福のシンボルであり、祝意を表すおめでたいモチーフでもあった。漆芸では、鶯の和歌が登場する『源氏物語』「初音」の巻の情景を意匠化した、蒔絵硯箱や蒔絵御文臺をはじめ、象嵌や透彫による装飾が見事な芝山細工による作品を展示。これらは婚礼調度品や、海外への輸出品として人気を博した。

なお本展では、描かれた鳥の鑑賞をより楽しむため、QRコードによって鳴き声も聞けるようにした。（湯浅ひろみ）



おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」3月号、呉市 ○「市政だよりくれ」4月号、呉市

印刷物

- チラシ A4判（両面刷り） 6,500部
- 出品目録 A4判（片面刷り）

三之瀬御本陣芸術文化館 所蔵品展Ⅳ 「鳥・とりどりー描かれた鳥たち」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質技法 | 形状 | 寸法(縦×横) cm | 所蔵 |
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|
|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|----|

(1) 絵画にみる鳥の表現

| | | | | | | | |
|----|-------|------------------|-------------------|----------|------|--------------------|--|
| 1 | 須田国太郎 | 瑞鳥 | 1940(昭和15)年頃 | キャンパス・油彩 | 額装 | 31.7×48.8 | |
| 2 | 須田国太郎 | 溪流の鷺 | 1942(昭和17)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 38.0×45.5 | |
| 3 | 須田国太郎 | 鷺 | 1948(昭和23)年 | 紙本墨画淡彩 | 額装 | 38.5×50.7 | |
| 4 | 須田国太郎 | 大鶴 | 制作年不詳 | 紙本墨画淡彩 | 額装 | 27.0×24.2 | |
| 5 | 須田国太郎 | 鷺 | 1948(昭和23)年 | 紙本墨画淡彩 | 額装 | 21.0×60.4 | |
| 6 | 須田国太郎 | 樹に止まった鷺 | 制作年不詳 | 紙本墨画淡彩 | 額装 | 16.3×52.0 | |
| 7 | 須田国太郎 | 絵付け花瓶「鷺」 | 制作年不詳 | 陶器 | | 高23.8 口径8.7 胴径15.0 | |
| 8 | 須田国太郎 | 猛禽 | 1946(昭和21)年 | 紙本墨画淡彩 | 軸装 | 90.5×33.6 | |
| 9 | 池田栄廣 | タカ | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 額装 | 97.0×92.0 | |
| 10 | 池田栄廣 | ほととぎす | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 110.0×80.8 | |
| 11 | 伝 岸岱 | 芭蕉樹金鶏之図 | 1845(弘化2)年 | 絹本彩色 | 軸装 | 145.3×85.3 | |
| 12 | 小村大雲 | 孔雀図 | 制作年不詳 | 絹本彩色 | 六曲一双 | 各154.0×354.3 | |
| 13 | 須田国太郎 | 黒つぐみ | 1942(昭和17)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 45.5×53.0 | |
| 14 | 須田国太郎 | 花と鳥 | 1941-44(昭和16-19)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 33.4×24.3 | |
| 15 | 須田国太郎 | 雉 | 制作年不詳 | 紙・水彩 | 額装 | 23.3×27.2 | |
| 16 | 安井曾太郎 | 雉子 | 1933(昭和8)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 39.5×47.5 | |
| 17 | 巖光 | 鳥 | 1938(昭和13)年 | 紙・墨 | 額装 | 25.0×54.6 | |
| 18 | 三岸節子 | 二つの鳥 | 1956(昭和31)年 | キャンパス・油彩 | 額装 | 72.7×116.7 | |
| 19 | 池田栄廣 | 四季襖絵(春)(夏)(秋)(冬) | 制作年不詳 | 紙本彩色 | 額装 | 各172.5×90.5 | |

(2) 工芸にみる鳥の表現

| | | | | | | | |
|----|------------|-----------------------|------------|----------|--|--------------------|--|
| 20 | 今井政之 | 象嵌彩窯変 (新西蘭よりの使者)花壺 | 1991(平成3)年 | 陶器 | | 高27.8 径25.7 | |
| 21 | 今井真正 | 朱雀香爐 | 2021(令和3)年 | 陶器 | | H45.0×W103.0×D25.0 | |
| 22 | 今井政之 | 象嵌彩阿比飾皿 | 1994(平成6)年 | 陶器 | | 高4.0 口径38.4 | |
| 23 | 加藤土師萌 | 萌葱金襴手木菟文飾壺 | 制作年不詳 | 磁器 | | 高20.4 径18.5 | |
| 24 | 藤本能道 | 色絵鶴と木蓮の図四角筥 | 制作年不詳 | 磁器・色絵 | | 高8.6 径24.1 | |
| 25 | 平目地初音蒔絵 硯箱 | | 19世紀以降 | 漆・蒔絵 | | H5.0×W23.0×D25.0 | |
| 26 | 平目地初音蒔絵 文臺 | | 19世紀以降 | 漆・蒔絵 | | H11.8×W64.0×D36.4 | |
| 27 | 硯箱 鷹の図 | | 明治時代頃 | 漆・蒔絵 | | H2.2×W10.2×D11.5 | |
| 28 | 銀象嵌宝石箱 | | 19世紀以降 | 金工・銀象嵌 | | H13.1×W11.0×D9.2 | |
| 29 | 芝山宝石箱 | | 19世紀以降 | 象嵌・金工 | | H14.0×W15.5×D11.0 | |
| 30 | 芝山花入 | | 19世紀以降 | 象嵌・象牙・黒檀 | | H46.7×W23.7×D21.0 | |

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

松濤園 陶磁器館 所藏品公開事業

所藏品展Ⅰ 60-62p

所藏品展Ⅱ 63-65p

所藏品展Ⅲ 66-68p

所藏品展Ⅳ 69-71p

所藏品展Ⅴ 72-74p

松濤園 陶磁器館 所蔵品展 I

初期伊万里ー日本磁器のはじまりー

2021（令和3）年4月7日〔水〕ー6月28日〔月〕

日本では江戸時代に入るまで磁器は作られていなかった。それまで中国から輸入していた磁器は、日本人にとって憧れのやきものだった。1610年代に肥前国（現在の佐賀県・長崎県）で、朝鮮人陶工・李参平が磁器の原料となる陶石を発見し、日本初の磁器焼成に成功したことで、国産磁器の生産を開始。この頃は、中国磁器を目指しながらも、朝鮮風の力強くおおらかな作風を持つ磁器が作られた。また、茶陶を中心に高級食器が作られ、幕府や大名家などに広まった。

本展では草創期の伊万里焼である“初期伊万里”の魅力に迫った。初期伊万里と、それに類似する中国磁器と並列し、中国磁器からの影響を見比べた。他にも、初期伊万里から連なる伊万里焼の時代の変遷を知ることができる展示もおこなった。

また、同時開催として「板谷波山からはじまる近現代陶芸史」と題して、作家13名の作品を展示した。個性や創作性がうたわれた大正から昭和の陶芸史を、陶芸を芸術分野に押し上げた第一人者である板谷波山から、戦後に陶芸オブジェというジャンルを築いた清水卯一までを紹介した。

（土井基子／小川英史）

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」4月号、呉市 ○「市政だよりくれ」5月号、呉市 ○「市政だよりくれ」6月号、呉市 ○広町国道185号線沿いデジタルサイネージ、株式会社グランド

印刷物（ポスター、チラシは陶磁器館、御馳走一番館の2館共通）

- ポスター B2判 10枚
- チラシ A4判（両面刷り） 10,000部
- 出品目録 A4判（両面刷り）

「日本磁器のはじまり」展 陶磁器館
初期伊万里ー日本磁器のはじまりー
 2021年 4月7日〔水〕ー6月28日〔月〕
 開館時間：9:00-17:00（最終入館16:30）【休館日】火曜日のみ、3月4日は開館、5月6日は休館
 【入館料】大人800円（640円）/高校生480円（360円）/小学生320円（250円）
 ※10歳未満は200円未満 ※0歳児は無料 ※中学生以上は別途入館料あり ※団体割引あり ※2歳以下のお子様は無料
 ※本館に併設の陶磁器展示場（御馳走一番館）も同時開催。詳細は、本館または御馳走一番館のホームページをご覧ください。
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観覧人数を制限させていただきます。ホームページ等で最新の情報をご確認ください。

文人交流と通信使
 朝鮮通信使資料館 御馳走一番館
 〒777-0801 広島県呉市東町下馬 2373-1 TEL: 0823-45-2900 FAX: 0823-45-2711
 広島文化歴史博物館 松濤園 URL: http://www.shimokamagari.jp/ mail: info@shimokamagari.jp
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観覧人数を制限させていただきます。ホームページ等で最新の情報をご確認ください。

広瀬園には4種類の展示があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その佇まいを三之浦家屋を模倣した日本庭園が囲み、散策しながら歴史に感じることが出来る施設です。

文人交流と通信使
 朝鮮通信使資料館 御馳走一番館
 〒777-0801 広島県呉市東町下馬 2373-1 TEL: 0823-45-2900 FAX: 0823-45-2711
 広島文化歴史博物館 松濤園 URL: http://www.shimokamagari.jp/ mail: info@shimokamagari.jp
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観覧人数を制限させていただきます。ホームページ等で最新の情報をご確認ください。

初期伊万里
 日本磁器のはじまり
 4/14(98)~6/14(98)
 5/12(98)~6/28(98)
 4/21(98)~6/21(98)

あかりの館（芸術館） 徳川島御倉所（徳川）
 ◆交通 Access
 広島市内から車で約60分
 広島市内から車で約60分
 広島市内から車で約60分
 広島市内から車で約60分



松濤園 陶磁器館 所蔵品展Ⅰ「初期伊万里-日本磁器のはじまり」出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 | 産地・作家 | 時代・年代など | 寸法(高) | 寸法(口径) | 寸法(その他) | 所蔵 |
|-----|-----|-------|---------|----------|--------|---------|----|
| | | | | (縦×横) cm | | | |

(1) 初期伊万里-日本磁器のはじまり

| | | | | | | | |
|----|----------------|--|-----------|--------|--------------|-------------|--|
| 1 | 染付松文瓶 | | 1630-40年代 | 高 39.7 | 口径 4.9 | 底径 10.0 | |
| 2 | 染付山水文大皿 | | 1630-40年代 | 高 12.5 | 口径 45.0 | 底径 12.2 | |
| 3 | 染付山水人物文皿 | | 1630-40年代 | 高 9.0 | 口径 33.5 | 底径 9.6 | |
| 4 | 染付吹墨玉兔文皿(古染付) | | 明末期 | 高 2.8 | 口径 20.8 | 底径 12.8 | |
| 5 | 染付吹墨月兔文皿 | | 1630-40年代 | 高 4.0 | 口径 18.5 | 底径 6.7 | |
| 6 | 染付布袋文皿(古染付) | | 明末期 | 高 2.5 | 口径 18.7 | 底径 10.0 | |
| 7 | 染付布袋文皿 | | 1640年代頃 | 高 2.5 | 口径 21.5 | 底径 9.2 | |
| 8 | 色絵網目蟹文小皿(天啓赤絵) | | 明末期 | 高 3.5 | 口径 10.4 | 底径 4.0 | |
| 9 | 染付網目菊花文皿 | | 1630-40年代 | 高 3.5 | 口径 20.0 | 底径 7.0 | |
| 10 | 染付梅鶯文皿(祥瑞) | | 明末期 | 高 3.1 | 口径 19.4 | 底径 14.5 | |
| 11 | 染付鳥四方罽文皿 | | 1630-40年代 | 高 1.0 | 口径 19.9 | 底径 9.9 | |
| 12 | 染付桐梅文皿 | | 1640-50年代 | 高 2.3 | 口径 19.7 | 底径 9.5 | |
| 13 | 染付人物梅樹文水指 | | 1610-30年代 | 高 14.0 | 口径 10.0 | 底径 7.6 | |
| 14 | 染付竹虎文水指 | | 1650-60年代 | 高 18.0 | 口径 12.2 | 底径 13.6 | |
| 15 | 染付花蝶文木瓜形小皿 | | 1640年代頃 | 高 2.5 | 口径 14.7×12.6 | 底径 8.5 | |
| 16 | 染付葉文葉形小皿 | | 1640-50年代 | 高 3.1 | 口径 15.5×12.2 | 底径 9.3×7.0 | |
| 17 | 染付棕櫚車配形皿 | | 1640-50年代 | 高 3.0 | 口径 17.3×12.1 | 底径 13.0×9.0 | |
| 18 | 錆釉染付双鶴文輪花小皿 | | 1640-50年代 | 高 3.9 | 口径 14.0 | 底径 6.0 | |
| 19 | 染付辰砂花蝶文皿 | | 1630-40年代 | 高 3.1 | 口径 17.5 | 底径 6.5 | |
| 20 | 瑠璃釉鳥形香合 | | 1630-50年代 | 高 5.0 | 口径 5.2×4.2 | | |
| 21 | 染付寿字文碗 | | 1640-60年代 | 高 7.5 | 口径 12.0×7.8 | 底径 4.5 | |
| 22 | 染付福字文瓶 | | 1610-40年代 | 高 18.3 | 口径 3.5 | 底径 5.5 | |
| 23 | 染付牡丹文瓢形瓶 | | 1610-30年代 | 高 24.0 | 口径 2.9 | 底径 6.7 | |
| 24 | 染付牡丹唐草文壺 | | 1630-40年代 | 高 25.2 | 口径 10.8 | 底径 12.5 | |

(2) 寛文様式

| | | | | | | | |
|----|---------|--|-----------|--------|---------|---------|--|
| 25 | 染付竹虎文皿 | | 1650-60年代 | 高 3.2 | 口径 22.5 | 底径 13.5 | |
| 26 | 染付樹鳥文皿 | | 1650-60年代 | 高 3.0 | 口径 22.0 | 底径 13.7 | |
| 27 | 染付唐人物文瓶 | | 1650-60年代 | 高 29.0 | 口径 16.5 | 底径 13.8 | |
| 28 | 染付貝文瓶 | | 1660-80年代 | 高 28.5 | 口径 3.7 | 底径 10.5 | |
| 29 | 染付網花文瓶 | | 1660-80年代 | 高 26.5 | 口径 6.0 | 底径 7.5 | |

(3) 延宝様式

| | | | | | | | |
|----|-------------|--|-----------|--------|---------|---------|--|
| 30 | 染付芙蓉手花盆文大皿 | | 1680-90年代 | 高 15.5 | 口径 53.7 | 底径 22.1 | |
| 31 | 染付椿菊鳳凰文八角大壺 | | 1670-90年代 | 高 51.5 | 口径 22.4 | 底径 17.7 | |

(4) 元禄様式

| | | | | | | | |
|----|------------|--|-----------|--------|---------|---------|--|
| 32 | 色絵鳳凰文十六角大皿 | | 1700-30年代 | 高 7.0 | 口径 33.5 | 底径 18.8 | |
| 33 | 色絵牡丹寿字文皿 | | 1700-30年代 | 高 8.5 | 口径 27.0 | 底径 14.5 | |
| 34 | 色絵荒磯文皿 | | 1700-40年代 | 高 8.0 | 口径 25.1 | 底径 12.8 | |
| 35 | 色絵牡丹文十二角皿 | | 1700-30年代 | 高 5.4 | 口径 26.4 | 底径 16.0 | |
| 36 | 色絵花盆文皿 | | 18世紀前半 | 高 4.0 | 口径 24.0 | 底径 13.0 | |
| 37 | 色絵菊文皿 | | 18世紀前半 | 高 2.5 | 口径 18.0 | 底径 11.8 | |
| 38 | 色絵菊文蓋付壺 | | 1670-90年代 | 高 30.0 | 口径 11.5 | 底径 11.9 | |

(5) 伊万里・柿右衛門様式の名品

| | | | | | | | |
|----|--------------|--|-------------|--------|---------|---------|--|
| 39 | 色絵花卉文六角壺 | | 1670-90年代 | 高 31.5 | 口径 11.0 | 底径 13.5 | |
| 40 | 色絵花卉文八角瓶 | | 1670-90年代 | 高 23.8 | 口径 1.9 | 底径 9.2 | |
| 41 | 色絵梅鳥団龍文鉢 | | 1680-1700年代 | 高 9.9 | 口径 21.0 | 底径 10.5 | |
| 42 | 色絵柘榴牡丹松菊文輪花鉢 | | 1670-90年代 | 高 10.7 | 口径 23.5 | 底径 10.2 | |
| 43 | 色絵梅唐草文輪花鉢 | | 1680-1700年代 | 高 7.5 | 口径 20.0 | 底径 11.6 | |
| 44 | 色絵縞水車文碗 | | 1680-1700年代 | 高 6.2 | 口径 10.5 | 底径 4.5 | |

(6) 伊万里・鍋島様式の名品

| | | | | | | | |
|----|------------|--|-------------|-------|---------|---------|--|
| 45 | 染付柘榴文大皿 | | 1700-50年代 | 高 8.5 | 口径 31.0 | 底径 16.4 | |
| 46 | 色絵薔薇水仙文大皿 | | 1700-30年代 | 高 8.3 | 口径 30.2 | 底径 16.5 | |
| 47 | 青磁染付宝尽し文大皿 | | 1690-1750年代 | 高 8.4 | 口径 32.5 | 底径 15.9 | |
| 48 | 色絵牡丹如意頭文小皿 | | 1690-1730年代 | 高 4.5 | 口径 15.0 | 底径 8.1 | |
| 49 | 色絵蔓薔薇文小皿 | | 1700-30年代 | 高 4.0 | 口径 15.0 | 底径 7.3 | |
| 50 | 色絵花唐草文小皿 | | 1690-1730年代 | 高 4.3 | 口径 15.0 | 底径 8.0 | |
| 51 | 染付蕨文小皿 | | 1690-18世紀前半 | 高 4.3 | 口径 15.0 | 底径 8.1 | |
| 52 | 染付土筆文皿 | | 1700-40年代 | 高 5.0 | 口径 19.9 | 底径 11.1 | |
| 53 | 染付桜流水文皿 | | 18世紀末 | 高 5.5 | 口径 20.3 | 底径 11.5 | |

(7) 板谷波山から始まる近現代陶芸史

| | | | | | | | |
|----|-----------|---------------|--|--------|---------|---------------|--|
| 54 | 青磁下蕪花瓶 | 板谷波山 | | 高 23.5 | | 径 15.2 | |
| 55 | 染付竹林月夜模様皿 | 富本憲吉 | | 高 3.2 | | 径 20.0 | |
| 56 | 茶碗 | バーナード・リーチ | | 高 7.0 | 口径 15.0 | | |
| 57 | 彩堯藤飾皿 | 楠部弥弋 | | 高 3.5 | 口径 37.3 | | |
| 58 | 紅彩壺 | 河井寛次郎 | | 高 17.2 | | 径 18.5 | |
| 59 | 柿釉丸紋花瓶 | 浜田庄司 | | 高 30.9 | | 径 26.1 | |
| 60 | 伊賀釉水盤 | 北大路魯山人 | | 高 8.0 | 口径 34.3 | | |
| 61 | 志野茶碗 | 荒川豊蔵 | | 高 8.9 | 口径 13.0 | | |
| 62 | 備前掛花入 | 金重陶陽 | | 高 13.8 | 口径 11.0 | | |
| 63 | 萩花入 | 三輪休雪 (十代) 休和 | | 高 29.6 | | 径 11.1 | |
| 64 | 鬼萩茶碗 | 三輪休雪 (十一代) 寿雪 | | 高 11.1 | 口径 13.8 | | |
| 65 | 唐津耳付水指 | 中里無庵 | | 高 14.9 | | 径 22.7 | |
| 66 | 灰失透指頭文水指 | 清水卯一 | | 高 19.3 | | 径 17.0 底径 9.5 | |

No.57の資料名は、2007(平成19年)発行『松濤園陶磁器館所蔵目録』では「彩堯藤飾皿」と表記されているがこれを訂正し、「彩堯藤飾皿」と表記する。

松濤園 陶磁器館 所蔵品展 II

独創の意匠 国産初期色絵

2021（令和3）年6月30日〔水〕－9月6日〔月〕

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2021（令和3）年8月27日〔金〕から9月30日〔木〕までは臨時休館

1610年代、朝鮮人技術者により有田で始まった伊万里焼は、1644年（正保元）の中国内乱で戦火を逃れて日本に渡った中国人技術者によって、多くの技術が朝鮮式から中国式へと一新されたと考えられている。この技術革新の代表が色絵の技術である。初期には明るい色調と濃い色調の二つのパターンが作られたが、1650年頃から大きく変化し、「青手（あおで）」と呼ばれる青緑や黄系を基調とし器を塗り埋める色絵が登場した。絵付けは先の二つが中国磁器を模しているのに対し、青手は椿や柏葉、南京や桜など中国磁器に見られない文様や、中国磁器の模倣でない独自の花鳥文など、日本固有の文様をテーマとしている。

本展では、古九谷様式の伊万里焼を五彩手・祥瑞手・青手に分類し、それぞれの特徴を示しながら展示した。それとともに、同時代の染付磁器である寛文様式を並列したり、他の時代の伊万里焼も見比べられる様に紹介した。

あわせて「古陶磁に見る水の表現・現代陶芸に見る青の表現」を開催し、夏季の暑さを忘れるような涼を感じられる展示をおこなった。

（土井金子／小川英史）

おもな関連記事、番組など

- 「市政だよりくれ」7月号、呉市 ○「市政だよりくれ」8月号、呉市 ○「リーぶらインスタグラム」、広島市広域都市圏推進課

印刷物（ポスター、チラシは陶磁器館、御馳走一番館の2館共通）

- ポスター B2判 10枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000部
- 出品目録 A4判（両面刷り）

陶磁器館 独創の意匠 国産初期色絵

2021年 **6月30日〔水〕**—**9月6日〔月〕**

【開催時間】9:00～17:00（休館日：6・30）【観覧料】500円
 【入館料】大人800(640)円 / 高校生400(380)円 / 中学生320(250)円
 *1日2回入館制の原則あり *広域圏からのバス乗車 *広域圏から1日2回入館制 *広域圏からバス乗車
 *広域圏からバス乗車 *広域圏からバス乗車 *広域圏からバス乗車 *広域圏からバス乗車

誠信外交
 通信使と国際交流

御馳走一番館 御馳走一番館

松濤園
 URL: http://www.shokusanagari.jp/ MAIL: info@shokusanagari.jp

松濤園には4種の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本建築を活用しています。その移築や復元建築を継承した日本建築が、観覧しながら歴史に触れることができます。

誠信外交
 通信使と国際交流

独創の意匠 国産初期色絵

「古陶磁に見る水の表現」

「現代陶芸に見る青の表現」

外交を担っていた江戸時代、徳川幕府は朝鮮国と国書を交換することにより、一帯一帯の平和と発展を促していた。朝鮮通信使は、将軍の代筆やなどの文書に書かれた文様として「人たらしの象徴」を認め、1640年代に日本に渡来した。1610年からの約200年の間に12回来日しました。この期間の友好関係の証となったのが「誠信（まことまこと）の意匠」です。江戸時代中期に海外に仕立屋の屋敷（1608-1755）は対外貿易にあって外交の橋頭堡である「誠信（まことまこと）の意匠」を、現代の私生活にも通じる国際交流のあり方としていきました。本展では、朝鮮通信使の意匠をもつ「誠信の交わり」について紹介します。

あかりの館（あかりの館）
 白く上から輝いた装飾を利用し、世界の灯台を展示しています。

瀧川島御幸所（復元）
 江戸時代、この下町にあった藩邸を、本館に再現しています。

南島園美術館 6/16(土)～9/9(日)
 南島園美術館別館 6/30(水)～9/27(月)
 三之浦御本陣芸術文化館 6/23(土)～9/23(月)

交通 Access
 広島市内から車で約40分
 広島市内から徒歩約15分
 広島市内からバス約15分
 広島市内から徒歩約15分

新型コロナウイルス感染予防のためのお客様へのお願い
 ●発熱や咳などがある場合は、ご来館をお控えください。
 ●入館時の検温にご協力ください。●ご来館の際は、マスクの着用をお願いします。●アルコール消毒機での手の消毒をお願いします。
 ●ご来館の際は、お持ちのマスクは、お持ちのマスクを交換していただきます。●ご来館の際は、お持ちのマスクは、お持ちのマスクを交換していただきます。



松濤園 陶磁器館 所蔵品展Ⅱ「独創の意匠 国産初期色絵」出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 | 産地・作家 | 時代・年代など | 寸法 (高) | 寸法 (口径) | 寸法 (その他) | 所蔵 |
|-----|-----|-------|---------|----------|---------|----------|----|
| | | | | (縦×横) cm | | | |

(1) 古九谷様式

| | | | | | | | |
|----|--------------|--|-----------|--------|--------------|------------|--|
| 1 | 色絵孔雀文大皿 | | 1650年代頃 | 高 7.0 | 口径 39.5 | 底径 16.7 | |
| 2 | 色絵草花文皿 | | 1640-50年代 | 高 4.5 | 口径 21.1 | 底径 8.4 | |
| 3 | 色絵花鳥文皿 | | 1640-50年代 | 高 3.0 | 口径 19.2 | 底径 8.9 | |
| 4 | 色絵松竹梅文皿 | | 1640-50年代 | 高 3.4 | 口径 21.3 | 底径 8.8 | |
| 5 | 色絵花鳥文捻花皿 | | 1640-50年代 | 高 2.0 | 口径 20.5 | 底径 13.1 | |
| 6 | 色絵柘榴文大皿 | | 1640-50年代 | 高 7.0 | 口径 32.2 | 底径 19.8 | |
| 7 | 色絵雁窓絵牡丹文皿 | | 1640-50年代 | 高 5.4 | 口径 25.6 | 底径 11.8 | |
| 8 | 色絵花鳥文皿 | | 1640-50年代 | 高 3.0 | 口径 20.6 | 底径 10.5 | |
| 9 | 色絵丸文瓢形小皿 | | 1640-50年代 | 高 2.5 | 口径 13.5×13.0 | 底径 8.5×8.3 | |
| 10 | 色絵丸文小皿 | | 1640-50年代 | 高 2.3 | 口径 14.2 | 底径 10.4 | |
| 11 | 色絵幾何学地文軍配形小皿 | | 1640-50年代 | 高 2.6 | 口径 15.0×9.3 | 底径 9.2×5.4 | |
| 12 | 色絵幾何学地文軍配形小皿 | | 1640-50年代 | 高 2.7 | 口径 15.5×10.0 | 底径 9.3×5.0 | |
| 13 | 色絵山水丸文折紙形小皿 | | 1640-50年代 | 高 3.0 | 口径 15.0×11.3 | 底径 9.6×6.1 | |
| 14 | 色絵草花文瓢形瓶 | | 1640-50年代 | 高 21.0 | 口径 1.8 | 底径 4.7 | |
| 15 | 色絵牡丹文茶筌形瓶 | | 1650-60年代 | 高 26.0 | 口径 4.2 | 底径 8.7 | |
| 16 | 色絵椿文大皿 | | 1650年代頃 | 高 8.0 | 口径 38.0 | 底径 15.5 | |
| 17 | 色絵柏葉文大皿 | | 1650-60年代 | 高 9.4 | 口径 38.4 | 底径 16.7 | |
| 18 | 色絵菊松文大皿 | | 1650-60年代 | 高 8.6 | 口径 33.8 | 底径 16.6 | |
| 19 | 色絵南瓜文輪花皿 | | 1650-60年代 | 高 3.1 | 口径 20.1 | 底径 12.1 | |

(2) 寛文様式

| | | | | | | | |
|----|-------------|--|-----------|--------|--------------|-------------|--|
| 20 | 錆釉染付柴垣文変形小皿 | | 1650-60年代 | 高 2.5 | 口径 15.5×11.5 | 底径 9.3×6.3 | |
| 21 | 瑠璃釉網代葛文角小皿 | | 1650-70年代 | 高 2.5 | 口径 13.8×11.0 | 底径 8.6×5.3 | |
| 22 | 金銀彩菊文富士山形皿 | | 1655-60年代 | 高 2.0 | 口径 18.0×10.0 | 底径 10.1×4.5 | |
| 23 | 瑠璃釉花筏流水文変形皿 | | 1650-70年代 | 高 2.9 | 口径 17.3×9.9 | 底径 12.2×5.7 | |
| 24 | 青磁瑠璃釉茶筌形瓶 | | 1650-70年代 | 高 27.0 | 口径 5.4 | 底径 8.7 | |

(3) 初期輸出色絵

| | | | | | | | |
|----|------------|--|-----------|--------|---------|---------|--|
| 25 | 色絵草花文角瓶 | | 1660-80年代 | 高 20.6 | 口径 3.5 | 底径 8.8 | |
| 26 | 色絵岩竹文瓶 | | 1660-70年代 | 高 28.6 | 口径 2.7 | 底径 10.9 | |
| 27 | 色絵芙蓉手花鳥文大皿 | | 1655-60年代 | 高 6.0 | 口径 30.6 | 底径 14.9 | |
| 28 | 色絵芙蓉手花盆文大皿 | | 1660-70年代 | 高 7.3 | 口径 32.7 | 底径 14.8 | |
| 29 | 色絵芙蓉手花盆文大皿 | | 1660-80年代 | 高 8.1 | 口径 39.5 | 底径 17.0 | |

(4) 元禄様式

| | | | | | | | |
|----|--------------|--|-----------|--------|---------|---------|--|
| 30 | 色絵花盆文髷皿 | | 18世紀前半 | 高 7.3 | 口径 26.1 | 底径 11.8 | |
| 31 | 色絵花卉文髷皿 | | 18世紀前半 | 高 3.0 | 口径 11.0 | 底径 4.5 | |
| 32 | 色絵梅樹庭園文蓋付大壺 | | 1700-30年代 | 高 64.0 | 口径 18.0 | 底径 19.2 | |
| 33 | 色絵梅樹鷹猿文蓋付大壺 | | 1700-30年代 | 高 50.0 | 口径 12.8 | 底径 13.0 | |
| 34 | 色絵松竹梅鳳凰文蓋付大壺 | | 1730-60年代 | 高 38.0 | 口径 12.2 | 底径 10.4 | |
| 35 | 色絵草花文瓶 | | 18世紀前半 | 高 30.5 | 口径 7.1 | 底径 9.2 | |
| 36 | 色絵花車婦人文壺 | | 1730-50年代 | 高 26.9 | 口径 11.0 | 底径 10.6 | |

(5) 柿右衛門様式

| | | | | | | | |
|----|-------------|--|-------------|--------|--------------|--------------|--|
| 37 | 色絵梅鳳凰団龍文八角鉢 | | 1670-90年代 | 高 11.0 | 口径 25.2 | 底径 11.5 | |
| 38 | 色絵花鳥文角瓶 | | 1670-90年代 | 高 32.6 | 口径 8.5 | 底径 10.7 | |
| 39 | 色絵花卉文八角鉢 | | 1670-90年代 | 高 10.0 | 口径 21.1 | 底径 10.1 | |
| 40 | 色絵獅子置物 | | 1670-1700年代 | 高 17.0 | | 径 15.0×9.5 | |
| 41 | 色絵菊文面取壺 | | 1670-90年代 | 高 19.0 | 口径 10.0 | 底径 10.0 | |
| 42 | 色絵枝垂桜文木瓜形皿 | | 1670-90年代 | 高 5.7 | 口径 24.4×21.3 | 底径 17.8×14.3 | |
| 43 | 色絵菊牡丹文壺 | | 1670-90年代 | 高 25.5 | 口径 11.5 | 底径 12.0 | |

(6) 鍋島様式

| | | | | | | | |
|----|-----------|--|-----------|-------|---------|---------|--|
| 44 | 染付柘榴文大皿 | | 1700-50年代 | 高 8.5 | 口径 31.0 | 底径 16.4 | |
| 45 | 色絵薔薇水仙文大皿 | | 1700-30年代 | 高 8.3 | 口径 31.0 | 底径 16.5 | |

| | | | | | | | |
|----|------------|--|-------------|-------|---------|---------|--|
| 46 | 青磁染付宝尽し文大皿 | | 1690-1750年代 | 高 8.4 | 口径 32.5 | 底径 15.9 | |
| 47 | 色絵青海波水葵文小皿 | | 1690-1730年代 | 高 4.3 | 口径 15.0 | 底径 8.0 | |
| 48 | 色絵水草文小皿 | | 1700-30年代 | 高 4.5 | 口径 15.0 | 底径 8.0 | |
| 49 | 色絵蔓薔薇文小皿 | | 1700-30年代 | 高 4.0 | 口径 15.0 | 底径 7.3 | |
| 50 | 色絵花唐草文小皿 | | 1690-1730年代 | 高 4.3 | 口径 15.0 | 底径 8.0 | |
| 51 | 染付朝顔文小皿 | | 1690-1730年代 | 高 4.5 | 口径 14.6 | 底径 8.0 | |
| 52 | 染付柳文皿 | | 1690-1730年代 | 高 5.5 | 口径 20.5 | | |

(7) 古陶磁に見る水の表現・現代陶芸に見る青の表現

| | | | | | | | |
|----|-----------------|--------------|-------------|--------|--------------|------------|--|
| 53 | 染付波鷺文輪花大皿 | | 1680-1710年代 | 高 8.5 | 口径 40.5 | 底径 21.8 | |
| 54 | 青磁瑠璃釉蛇籠流水文変形小皿 | | 1650-70年代 | 高 2.5 | 口径 15.0×11.8 | 底径 8.9×6.5 | |
| 55 | 染付蛇籠文十角皿 | | 1680-1700年代 | 高 3.5 | 口径 18.8 | 底径 12.2 | |
| 56 | 染付雨降り文皿 | | 1670-90年代 | 高 4.2 | 口径 18.5 | 底径 11.2 | |
| 57 | 染付山水文皿 | | 1630-40年代 | 高 2.5 | 口径 22.5 | 底径 8.0 | |
| 58 | 染付網目菊花文皿 | | 1630-40年代 | 高 3.5 | 口径 20.0 | 底径 7.0 | |
| 59 | 染付網目海老文茶碗 (古染付) | | 明末期 | 高 7.7 | 口径 10.8×9.5 | 底径 6.5 | |
| 60 | 青磁花瓶 | 三浦小平二 | | 高 21.5 | | 径 23.0 | |
| 61 | 耀彩花器 | 徳田八十吉 (三代) | | 高 22.7 | | 径 22.3 | |
| 62 | 碧釉金彩水指 | 加藤卓男 | | 高 18.5 | | 径 19.3 | |
| 63 | 青釉金彩花生 | 加藤卓男 | | 高 24.2 | | 径 11.1 | |
| 64 | 色絵吹墨草花更紗文花瓶 | 今泉今右衛門 (十三代) | | 高 28.7 | | 径 23.0 | |
| 65 | 色絵吹墨草花更紗文香炉 | 今泉今右衛門 (十三代) | | 高 10.2 | | 径 13.3 | |

松濤園 陶磁器館 所蔵品展Ⅲ 「古伊万里—陶磁器誕生から150年の変遷—」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 | 産地・作家 | 時代・年代など | 寸法 (高) | 寸法 (口径) | 寸法 (その他) | 所蔵 |
|--------------------|---------------|-------|-------------|------------------|--------------------------|----------------------------|----|
| | | | | (縦×横) cm | | | |
| (1) 初期伊万里 | | | | | | | |
| 1 | 染付山水文大皿 | | 1630-40年代 | 高 9.0 | 口径 33.5 | 底径 9.6 | |
| 2 | 染付山水人物文皿 | | 1610-30年代 | 高 5.0 | 口径 25.2 | 底径 10.8 | |
| (2) 寛文様式 | | | | | | | |
| 3 | 染付花鳥文大皿 | | 1650-70年代 | 高 8.7 | 口径 40.2 | 底径 19.8 | |
| 4 | 染付芙蓉手花鳥文大皿 | | 1655-70年代 | 高 6.4 | 口径 36.5 | 底径 16.0 | |
| 5 | 染付唐人棕櫚文大皿 | | 1660-70年代 | 高 6.9 | 口径 31.7 | 底径 18.0 | |
| 6 | 染付芙蓉手牡丹文大皿 | | 1650-60年代 | 高 6.5 | 口径 30.0 | 底径 14.9 | |
| (3) 古九谷様式 | | | | | | | |
| 7 | 色絵菊松文大皿 | | 1650-60年代 | 高 8.6 | 口径 33.8 | 底径 16.6 | |
| 8 | 色絵南瓜文輪花皿 | | 1650-60年代 | 高 3.1 | 口径 20.1 | 底径 12.1 | |
| 9 | 色絵雁文輪花皿 | | 1640-50年代 | 高 3.5 | 口径 20.5 | 底径 12.0 | |
| 10 | 色絵葦鳥文小皿 | | 1640-50年代 | 高 2.0 | 口径 15.0 | 底径 8.8 | |
| 11 | 色絵丸文小皿 | | 1640-50年代 | 高 2.3 | 口径 14.2 | 底径 10.4 | |
| (4) 初期輸出出色絵・柿右衛門様式 | | | | | | | |
| 12 | 色絵波鶴文水注 | | 1660-90年代 | 高 16.0 | 口径 2.2 | 底径 5.7 | |
| 13 | 色絵犬置物 | | 1670-1710年代 | 高 19.0 | 口径 23.5×14.5 | | |
| (5) 延宝様式 | | | | | | | |
| 14 | 染付傘人物文輪花大皿 | | 1680-1700年代 | 高 6.0 | 口径 34.6 | 底径 20.9 | |
| 15 | 染付柘榴文大鉢 | | 1670-1700年代 | 高 17.8 | 口径 37.5 | 底径 17.2 | |
| 16 | 染付松竹梅牡丹鹿文皿 | | 1670-80年代 | 高 7.5 | 口径 32.1 | 底径 17.5 | |
| 17 | 染付花鳥文大皿 | | 1670-90年代 | 高 6.7 | 口径 30.2 | 底径 16.6 | |
| 18 | 染付松竹梅文変形皿 | | 1670-90年代 | 高 3.9 | 口径 20.5×16.4 | 底径 15.0×11.2 | |
| 19 | 染付岩流水文水注 | | 1670-80年代 | 高 19.3 | 口径 3.4×3.1 | 底径 7.5×6.5 | |
| 20 | 染付唐花鳳凰文長皿 | | 1680-90年代 | 高 3.2 | 口径 20.2×10.3 | 底径 15.5×6.0 | |
| 21 | 黄釉桃文輪花小皿 | | 1670-90年代 | 高 3.3 | 口径 15.5 | 底径 9.4 | |
| 22 | 染付花盆唐草文手付水注 | | 1660-80年代 | 高 27.7 高 27.6 | 口径 6.7×4.8 口径 6.5×4.8 | 底径 11.4×9.4 底径 11.3×9.6 | |
| (6) 元禄様式 | | | | | | | |
| 23 | 染付芙蓉手人物文大皿 | | 1680-1710年代 | 高 8.2 | 口径 52.0 | 底径 24.0 | |
| 24 | 染付花盆文大皿 | | 1680-90年代 | 高 11.0 | 口径 48.5 | 底径 24.3 | |
| 25 | 染付花壺文大皿 | | 1690-1720年代 | 高 8.1 | 口径 54.5 | 底径 26.5 | |
| 26 | 染付唐人物梅牡丹鳳凰文大皿 | | 1680-1700年代 | 高 10.5 | 口径 60.2 | 底径 29.0 | |
| 27 | 染付牡丹鳳凰文蓋付壺 | | 1690-1730年代 | 高 47.8 | 口径 15.5 | 底径 12.3 | |
| 28 | 染付牡丹鳳凰文瓶 | | 1690-1730年代 | 高 31.3 | 口径 16.3 | 底径 9.5 | |
| 29 | 色絵花盆文大皿 | | 1700-30年代 | 高 9.0 | 口径 55.5 | 底径 27.5 | |
| 30 | 色絵花鳥婦人文大皿 | | 1700-30年代 | 高 10.2 | 口径 54.7 | 底径 26.5 | |
| 31 | 色絵桜花鷺文大皿 | | 1700-40年代 | 高 8.0 | 口径 48.5 | 底径 25.0 | |
| 32 | 色絵唐人物文輪花大皿 | | 1690-1730年代 | 高 6.5 | 口径 34.5 | 底径 19.0 | |
| 33 | 色絵花盆文皿 | | 18世紀前半 | 高 4.0 | 口径 24.0 | 底径 13.0 | |
| (7) 伊万里・柿右衛門様式の名品 | | | | | | | |
| 34 | 色絵花卉文八角瓶 | | 1670-90年代 | 高 23.8 | 口径 1.9 | 底径 9.2 | |
| 35 | 色絵花卉文六角壺 | | 1670-90年代 | 高 31.5 | 口径 11.0 | 底径 13.5 | |
| 36 | 色絵婦人像 | | 1670-90年代 | 高 39.2 高 39.3 | | 径 13.3×12.2 径 14.3×11.8 | |
| 37 | 色絵梅鳳凰団龍文八角鉢 | | 1670-90年代 | 高 11.0 | 口径 25.2 | 底径 11.5 | |
| 38 | 色絵粟鴉文八角皿 | | 1670-90年代 | 高 5.0 | 口径 25.5 | 底径 13.0 | |
| 39 | 色絵鶴文十二角皿 | | 1670-90年代 | 高 4.0 | 口径 25.0 | 底径 15.3 | |
| 40 | 色絵囊割唐子八角皿 | | 1670-90年代 | 高 4.2 | 口径 22.7 | 底径 11.8 | |

(8) 伊万里・鍋島様式の名品

| | | | | | | | |
|----|------------|--|-------------|-------|---------|---------|--|
| 41 | 染付柘榴文大皿 | | 1700-50年代 | 高 8.5 | 口径 31.0 | 底径 16.4 | |
| 42 | 色絵薔薇水仙文大皿 | | 1700-30年代 | 高 8.3 | 口径 30.2 | 底径 16.5 | |
| 43 | 青磁染付宝尽し文大皿 | | 1690-1750年代 | 高 8.4 | 口径 32.5 | 底径 15.9 | |
| 44 | 色絵菊流水文小皿 | | 18世紀中葉 - 後半 | 高 4.8 | 口径 15.5 | 底径 8.0 | |
| 45 | 色絵芥子文皿 | | 1690-1730年代 | 高 5.8 | 口径 20.3 | 底径 11.0 | |
| 46 | 色絵霞木犀文皿 | | 1690-1730年代 | 高 5.4 | 口径 20.4 | 底径 11.2 | |
| 47 | 染付木犀文小皿 | | 18世紀前半 | 高 4.3 | 口径 14.7 | 底径 7.9 | |
| 48 | 染付秋草文皿 | | 1700-50年代 | 高 9.0 | 口径 20.5 | 底径 11.1 | |
| 49 | 染付菊文猪口 | | 1690-18世紀前半 | 高 7.0 | 口径 10.2 | 底径 5.2 | |

(9) 企画展示 美濃の茶陶—乙な美—

| | | | | | | | |
|----|-------------|-------|--------------|-------|--------------|--------------|--|
| 50 | 志野 草文額皿 | | 16世紀後半 -17世紀 | 高 4.5 | 口径 19.5×22.3 | | |
| 51 | 絵志野 千鳥文鉢 | | 16世紀後半 -17世紀 | 高 6.0 | 口径 16.5 | 底径 11.8 | |
| 52 | 絵志野 小鉢 | | 16世紀後半 -17世紀 | 高 5.5 | 口径 18.0 | | |
| 53 | 織部 梅文向付 | | 16世紀後半 -17世紀 | 高 4.4 | 口径 10.8×13.7 | 底径 10.8×13.7 | |
| 54 | 織部 梅文茶碗 | | 16世紀後半 -17世紀 | 高 8.2 | 口径 14.3 | 底径 4.6 | |
| 55 | 織部 芦に桜の図平茶碗 | | 16世紀後半 -17世紀 | 高 5.6 | 口径 9.0 | 底径 5.3 | |
| 56 | 織部 香合 | | 16世紀後半 -17世紀 | 高 3.4 | 口径 5.4×5.6 | | |
| 57 | 志野茶碗 | 荒川豊蔵 | | 高 8.9 | 口径 13.0 | | |
| 58 | 瀬戸黒茶碗 | 荒川豊蔵 | | 高 9.7 | 口径 11.0 | | |
| 59 | 志埜茶碗 | 鈴木蔵 | | 高 9.5 | 口径 14.5×15.0 | | |
| 60 | 鼠志野鉢 | 若尾利貞 | | 高 8.6 | 口径 28.4 | | |
| 61 | 織部角切鉢 | 高内秀剛 | | 高 6.1 | 口径 26.5 | | |
| 62 | 黄瀬戸鉢 | 原憲司 | | 高 7.8 | 口径 22.8 | | |
| 63 | 瀬戸黒茶碗 | 池田満寿夫 | | 高 9.3 | 口径 10.9 | | |

松濤園 陶磁器館 所蔵品展Ⅳ

色彩の華 柿右衛門と伊万里金襴手

2021 (令和3) 年 11月25日 [木] - 2022 (令和4) 年 1月24日 [月]

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2022 (令和4) 年 1月9日 [日] から2月20日 [日] までは臨時休館

江戸時代に初の国産磁器として伊万里焼は誕生した。時代の需要に応じてさまざまな様式を展開し、延宝年間 (1670-90 年代) には欧州各地を魅了した乳白色の素地に明るい赤を基調とした柿右衛門様式が誕生する。そして元禄年間 (1688-1704) には、裕福になった町人の好みや当時の欧州での流行を取り入れ、金で裝飾された金襴手様式が誕生した。

本展では、17 世紀後半から 18 世紀前半にかけて日本国内のみならず海外の王侯貴族まで魅了した伊万里の色彩に着目した。

あわせて、開催期間の正月シーズンに合わせて、さまざまな願いが込められた吉祥文様に注目した展示を併設。令和 4 年の干支である虎文や、「寿」や「福」などの文字文などを伊万里焼に限らず中国磁器からも見つけ、紹介した。

(土井基子 / 小川英史)

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」12月号、呉市 ○「市政だよりくれ」1月号、呉市 ○広町国道185号線沿いデジタルサイネージ、株式会社グランド

印刷物 (ポスター、チラシは陶磁器館、御馳走一番館の2館共通)

- ポスター B2判 10枚
- チラシ A4判 (両面印刷) 10,000部
- 出品目録 A4判 (両面刷り)

陶磁器館 色彩の華 柿右衛門と伊万里金襴手

KAKIEMON and KINRANDE

2021 11/25 木 2022 1/24 月

松濤園 公益財団法人 松島文化財団

むかえる!もてなす! 通信使と日本文化



松濤園には4棟の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その際により伝統的建築様式を継承した日本建築の趣が、麗しきながら歴史に触れることができると好評です。

色彩の華 柿右衛門と伊万里金襴手

江戸時代以前の国産磁器として伊万里焼は誕生しました。時代の需要に応じてさまざまな様式を展開しました。1670-90年代には欧州各地を魅了した乳白色の素地に明るい赤を基調とした柿右衛門様式が誕生します。そして元禄年間(1688-1704)には、裕福になった町人の好みや当時の欧州での流行を取り入れ、金で裝飾された金襴手様式が誕生します。

本展では、17世紀後半から18世紀前半にかけて日本国内のみならず海外の王侯貴族まで魅了した伊万里の色彩に着目し、あわせて、さまざまな願いが込められた吉祥文様の紹介をします。

むかえる!もてなす! 通信使と日本文化

朝鮮通信使の来朝が決まると江戸までの各地に接待所が設けられました。対馬藩は通信使団の接待所となり、各地の藩領の招待で江戸までの旅路をたどりました。各藩は藩の威風をかけた豪華な宴の接待。朝鮮通信使に豪華な宴の準備を行いました。また、江戸においては対馬藩で朝鮮通信使に当時の藩長に人気があった備前焼や人形浄瑠璃などが披露され、その感想は通信使の返した記録に詳しく書かれています。本展では、朝鮮通信使の来朝を想定した各藩の様子や江戸で朝鮮通信使が楽しんだ歴史資料の様子をご紹介します。

あかりの館 (併設施設) 山口上郷から移築した本館をリニューアルして、世界の灯を展示しています。

徳利島御所 (復元) 江戸時代、この下郷にはあきだて御所を土間に建てた徳利島御所が復元されています。

南島園美術館 12/31(日)-1/7(日) 1階をみつめて一層を新築しました!

南島園美術館別館 9/29(木)-1/7(日) 新築への準備が完了!

三之瀬御本陣芸術文化館 12/2(日)-3/14(日) 展示する扉がたち!

交通 Access 広島市内から車で約60分

広島市内からバス 広島駅西口からバス

バス 呉市内からバス

新型コロナウイルス感染予防のためのお客様へのお願い

●検温や検閲であってもマスクの着用などの状況がある場合は、ご迷惑をおさください。

●入館時の検閲にご協力ください。●入館の際は、マスクの着用をお願いします。●アルコール消毒液での手の消毒をお願いいたします。

●展示スペースから緊急退避経路が示されています。●緊急時や非常時の対応は、センター1階で番員の指揮をご確認ください。ご迷惑をおさください。

[お問い合わせ] TEL: 0823-65-2000 URL: http://www.shimokamagari.jp/



松濤園 陶磁器館 所蔵品展Ⅳ 「色彩の華 柿右衛門と伊万里金襴手」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 | 産地・作家 | 時代・年代など | 寸法 (高) | 寸法 (口径) | 寸法 (その他) | 所蔵 |
|-----|-----|-------|---------|----------|---------|----------|----|
| | | | | (縦×横) cm | | | |

(1) 柿右衛門様式

| | | | | | | | |
|----|--------------|--|-------------|--------|---------|-------------|--|
| 1 | 色絵花鳥文角瓶 | | 1670-90年代 | 高 32.6 | 口径 8.5 | 底径 10.7 | |
| 2 | 色絵花卉文六角壺 | | 1670-90年代 | 高 31.5 | 口径 11.0 | 底径 13.5 | |
| 3 | 色絵粟鴉梅竹文皿 | | 1670-90年代 | 高 3.7 | 口径 18.4 | 底径 11.8 | |
| 4 | 色絵粟鴉文八角皿 | | 1670-90年代 | 高 5.0 | 口径 25.5 | 底径 13.0 | |
| 5 | 色絵柘榴柴垣鳥文皿 | | 1670-90年代 | 高 4.0 | 口径 25.0 | 底径 16.0 | |
| 6 | 色絵蓑割唐子文八角皿 | | 1670-90年代 | 高 4.2 | 口径 22.7 | 底径 11.8 | |
| 7 | 色絵牡丹文皿 | | 1670-90年代 | 高 5.0 | 口径 21.3 | 底径 13.2 | |
| 8 | 色絵梅鳳凰団龍文八角鉢 | | 1670-90年代 | 高 11.0 | 口径 25.2 | 底径 11.5 | |
| 9 | 色絵柘榴牡丹松菊文輪花鉢 | | 1670-90年代 | 高 10.7 | 口径 23.5 | 底径 10.2 | |
| 10 | 色絵梅鳥団龍文鉢 | | 1680-1700年代 | 高 9.9 | 口径 21.0 | 底径 10.5 | |
| 11 | 色絵花卉文八角鉢 | | 1670-90年代 | 高 10.1 | 口径 21.1 | 底径 10.1 | |
| 12 | 色絵岩牡丹鳳凰文八角鉢 | | 1670-90年代 | 高 10.3 | 口径 19.4 | 底径 8.4 | |
| 13 | 色絵垂持ち婦人像 | | 1670-90年代 | 高 41.8 | | 径 17.2×12.4 | |
| 14 | 色絵布袋置物 | | 1670-1710年代 | 高 22.0 | | 径 19.0×16.0 | |
| 15 | 色絵菊文面取壺 | | 1670-90年代 | 高 19.0 | 口径 10.0 | 底径 10.0 | |
| 16 | 色絵菊牡丹文壺 | | 1670-90年代 | 高 25.5 | 口径 11.5 | 底径 12.0 | |
| 17 | 色絵菊文蓋付壺 | | 1670-90年代 | 高 30.0 | 口径 11.5 | 底径 11.9 | |
| 18 | 色絵岩竹文瓶 | | 1660-70年代 | 高 28.6 | 口径 2.7 | 底径 10.9 | |
| 19 | 色絵草花文角瓶 | | 1660-80年代 | 高 20.6 | 口径 3.5 | 底径 8.8 | |
| 20 | 色絵獅子置物 | | 1670-1700年代 | 高 17.0 | | 径 15.0×9.5 | |
| 21 | 色絵草花文蓋付香炉 | | 1670-90年代 | 高 12.0 | | 径 18.0 | |
| 22 | 色絵米螺形三足鉢 | | 1670-1700年代 | 高 9.5 | | 径 22.0×17.0 | |
| 23 | 色絵草花文水注 | | 1670-1700年代 | 高 16.7 | 口径 6.5 | 底径 6.5 | |
| 24 | 色絵波鶴文水注 | | 1660-90年代 | 高 16.0 | 口径 2.2 | 底径 5.7 | |

(2) 伊万里金襴手様式

| | | | | | | | |
|----|-------------|--|---------------|--------|---------|-------------|--|
| 25 | 色絵荒磯文皿 | | 1700-40年代 | 高 8.0 | 口径 25.1 | 底径 12.8 | |
| 26 | 色絵鳳凰文皿 | | 1690-1730年代 | 高 6.5 | 口径 21.5 | 底径 13.0 | |
| 27 | 色絵牡丹寿字文皿 | | 1700-30年代 | 高 8.5 | 口径 27.0 | 底径 14.5 | |
| 28 | 色絵鳳凰文十六角大皿 | | 1700-30年代 | 高 7.0 | 口径 33.5 | 底径 18.8 | |
| 29 | 色絵獅子文皿 | | 1700-40年代 | 高 4.0 | 口径 24.5 | 底径 15.7 | |
| 30 | 色絵山水文十二角皿 | | 1700-30年代 | 高 5.0 | 口径 26.5 | 底径 14.7 | |
| 31 | 色絵柘榴文皿 | | 1700-40年代 | 高 8.0 | 口径 24.7 | 底径 11.5 | |
| 32 | 色絵葡萄栗鼠文角瓶 | | 1700-30年代 | 高 22.0 | 口径 3.1 | 底径 9.5 | |
| 33 | 色絵窓絵山水文大壺 | | 1700-30年代 | 高 46.5 | 口径 17.9 | 底径 19.0 | |
| 34 | 色絵楼閣牡丹文蓋付大壺 | | 1700-40年代 | 高 49.2 | 口径 9.0 | 底径 10.0 | |
| 35 | 色絵山水牡丹文大瓶 | | 1690-1710年代 | 高 60.4 | 口径 19.5 | 底径 19.8 | |
| 36 | 色絵窓絵山水文蓋付大壺 | | 1700-30年代 | 高 60.0 | 口径 16.1 | 底径 19.0 | |
| 37 | 色絵桐鳳凰文蓋付大壺 | | 1730-50年代 | 高 48.7 | 口径 14.5 | 底径 12.5 | |
| 38 | 色絵鶏岩置物 | | 17世紀後半-18世紀前半 | 高 25.5 | | 径 20.0×11.0 | |

(3) 吉祥の文様

| | | | | | | | |
|----|------------|--|-----------|--------|--------------|-------------|--|
| 39 | 染付竹虎文皿 | | 1650-60年代 | 高 3.2 | 口径 22.5 | 底径 13.5 | |
| 40 | 染付竹虎文水指 | | 1650-60年代 | 高 18.0 | 口径 12.2 | 底径 13.6 | |
| 41 | 染付竹虎文輪花皿 | | 1670-90年代 | 高 4.2 | 口径 22.3 | 底径 14.5 | |
| 42 | 染付龍虎文木瓜形皿 | | 1670-90年代 | 高 4.0 | 口径 22.5×12.3 | 底径 16.0×8.1 | |
| 43 | 染付竹虎文輪花皿 | | 1670-90年代 | 高 3.5 | 口径 22.0 | 底径 13.5 | |
| 44 | 色絵竹虎文皿 | | 1670-90年代 | 高 4.0 | 口径 22.5 | 底径 14.8 | |
| 45 | 色絵柴垣松竹梅虎文皿 | | 18世紀 | 高 4.3 | 口径 22.0 | 底径 12.8 | |
| 46 | 染付福字文瓶 | | 1610-40年代 | 高 18.3 | 口径 3.5 | 底径 5.5 | |
| 47 | 染付福字文小皿 | | 朝鮮 後期 | 高 9.8 | 口径 15.0 | 底径 8.5 | |
| 48 | 染付鯉文鉢 | | 朝鮮 後期 | 高 8.1 | 口径 17.1 | 底径 8.3 | |

| | | | | | | | |
|----|-------------------|--|------------|--------|--------------|-------------|--|
| 49 | 染付福寿文壺 | | 朝鮮 中期 | 高 21.0 | 口径 11.8 | 底径 12.5 | |
| 50 | 染付福寿文鉢 | | 朝鮮 後期 | 高 12.5 | 口径 26.5×24.5 | 底径 11.9 | |
| 51 | 染付樓閣山水文富士形皿 (古染付) | | 明 末期 | 高 4.8 | 口径 17.5×16.5 | | |
| 52 | 染付山水文富士山形皿 | | 1650-60 年代 | 高 4.5 | 口径 29.3×14.8 | 底径 17.1×7.6 | |
| 53 | 瑠璃釉金銀彩富士山雲文四足角皿 | | 1655-60 年代 | 高 4.0 | 口径 19.0 | | |
| 54 | 金銀彩菊文富士山形皿 | | 1655-60 年代 | 高 2.0 | 口径 18.0×10.0 | 底径 10.1×4.5 | |
| 55 | 染付椿菊鳳凰文八角大壺 | | 1670-90 年代 | 高 51.5 | 口径 22.4 | 底径 17.7 | |
| 56 | 染付鯉滝登り文大皿 | | 1670-90 年代 | 高 11.5 | 口径 47.0 | 底径 24.5 | |
| 57 | 染付龍文瓶 | | 朝鮮 後期 | 高 31.5 | 口径 6.5 | 底径 15.5 | |
| 58 | 染付牡丹獅子文瓶 | | 1670-80 年代 | 高 30.0 | 口径 5.4 | 底径 13.1 | |
| 59 | 染付鶴宝尽し文壺 | | 1700-40 年代 | 高 32.4 | 口径 14.0 | 底径 14.0 | |

(4) 鍋島様式

| | | | | | | | |
|----|------------|--|--------------|-------|--------------|------------|--|
| 60 | 染付柘榴文大皿 | | 1700-50 年代 | 高 8.5 | 口径 31.0 | 底径 16.4 | |
| 61 | 色絵薔薇水仙文大皿 | | 1700-30 年代 | 高 8.3 | 口径 30.2 | 底径 16.5 | |
| 62 | 青磁染付宝尽し文大皿 | | 1690-1750 年代 | 高 8.4 | 口径 32.5 | 底径 15.9 | |
| 63 | 色絵蔦梅文変形皿 | | 1640-50 年代 | 高 3.0 | 口径 17.0×14.0 | 底径 9.5×7.4 | |
| 64 | 色絵椿文小皿 | | 1690-1730 年代 | 高 4.5 | 口径 15.2 | 底径 8.2 | |
| 65 | 青磁染付大根文小皿 | | 1670-90 年代 | 高 4.0 | 口径 15.5 | 底径 8.2 | |
| 66 | 色絵菊流水文小皿 | | 18 世紀中葉 - 後半 | 高 4.8 | 口径 15.5 | 底径 8.0 | |
| 67 | 色絵柴垣椿文皿 | | 18 世紀前半 - 中葉 | 高 5.1 | 口径 20.3 | 底径 11.0 | |
| 68 | 染付椿文皿 | | 1690-1740 年代 | 高 4.5 | 口径 20.3 | 底径 10.7 | |
| 69 | 染付大皿 | | 19 世紀初期 - 中期 | 高 8.0 | 口径 29.0 | | |

松濤園 陶磁器館 所蔵品展Ⅴ

伊万里焼にみる江戸の食文化

2022（令和4）年2月21日〔月〕－4月11日〔月〕

*当初予定していた2022（令和4）年1月26日〔水〕から4月11日〔月〕までの会期を、新型コロナウイルス感染拡大の影響（臨時休館の措置）により上記に変更

江戸時代初期、磁器は高級品で、伊万里焼は大名や公家といった一部の階級の人々のあいだで使われていた。やがて江戸時代中頃に入り、経済の成長とともに富を蓄えた町人たちが伊万里焼を手にするようになる。さらに食文化の発展や、生活水準の向上によって、伊万里焼は江戸の人々の暮らしに普及していった。

本展では、大皿、小鉢、なます皿、碗、猪口、段重、酒器といった、日本人の食生活に細やかに対応した多種多様な伊万里焼を、当時の食生活や宴の様子を描いた浮世絵とともに紹介した。浮世絵に見られる屋台や宴席などの様子から、食文化の歴史を紹介し、それに合った食器の需要が高まった様子を紹介。また、当時の配膳の様子分かる資料を参考に、食器の並びを所蔵品からセレクトして膳に並べ、当時の食事の様子分かりやすく伝えるよう工夫したり、行楽の器と題したコーナーでは、酒器や段重等の伊万里焼と、漆器の堤重を一緒に並べ、江戸の人々に人気の娯楽の一つであった花見のにぎやかな様子を感じてもらえる展示をおこなった。

さらに、元禄頃に流行した文様である唐草文、幾何学文、婦人花見文などが描かれた伊万里焼の紹介もおこなった。

（沼田綿子／小川英史）

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」2月号、呉市 ○「市政だよりくれ」3月号、呉市 ○広町国道185号線沿いデジタルサイネージ、株式会社グランド

印刷物（ポスター、チラシは陶磁器館、御馳走一番館の2館共通）

- ポスター B2判 10枚
- チラシ A4判（両面刷り） 7,000部
- 出品目録 A4判（両面刷り）



松濤園 陶磁器館 所蔵品展V 「伊万里焼にみる江戸の食文化」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 | 産地・作家 | 時代・年代など | 寸法 (高) | 寸法 (口径) | 寸法 (その他) | 所蔵 |
|-----|-----|-------|---------|----------|---------|----------|----|
| | | | | (縦×横) cm | | | |

(1) 江戸時代の食事

| | | | | | | | |
|----|-------------|---------|--------------|--------|--------------|-------------|--|
| 1 | 染付波鷺文輪花大皿 | | 1680-1710 年代 | 高 8.5 | 口径 40.5 | 底径 21.8 | |
| 2 | 染付松鶴牡丹鳳凰文大皿 | | 1690-1730 年代 | 高 7.5 | 口径 37.0 | 底径 21.7 | |
| 3 | 染付柘榴文大鉢 | | 1670-1700 年代 | 高 17.8 | 口径 37.5 | 底径 17.2 | |
| 4 | 染付鮎柘榴文大鉢 | | 1670-1730 年代 | 高 17.0 | 口径 37.0 | 底径 16.6 | |
| 5 | 染付梅文台付大鉢 | | 1670-90 年代 | 高 9.5 | 口径 30.5 | 底径 18.5 | |
| 6 | 染付花卉鳳凰文台付鉢 | | 1670-80 年代 | 高 9.0 | 口径 25.8 | 底径 14.8 | |
| 7 | 染付牡丹鳥文小皿 | | 1670-90 年代 | 高 3.2 | 口径 14.5 | 底径 10.3 | |
| 8 | 染付鶴文小皿 | | 1660-70 年代 | 高 3.0 | 口径 14.0 | 底径 8.5 | |
| 9 | 色絵松竹梅宝文輪花鉢 | | 18 世紀前半 | 高 7.5 | 口径 15.5 | 底径 7.1 | |
| 10 | 色絵唐草文輪花鉢 | | 18 世紀前半 | 高 5.5 | 口径 14.5 | 底径 8.4 | |
| 11 | 本膳 (展示配置) | | | | | | |
| | 染付碗 | | 江戸時代末期 | 高 7.0 | 口径 10.6 | 底径 4.5 | |
| | 染付花唐草文舟形皿 | | 1670-90 年代 | 高 4.4 | 口径 24.0×10.9 | 底径 16.6×6.0 | |
| | 染付船人物文角猪口 | | 18 世紀頃 | 高 6.5 | 口径 7.0 | 底径 6.1 | |
| 12 | 二の膳 (展示配置) | | | | | | |
| | 染付碗 | | 江戸時代末期 | 高 7.0 | 口径 10.6 | 底径 4.5 | |
| | 染付岩草花文角小皿 | | 1670-90 年代 | 高 4.5 | 口径 11.5×11.5 | 底径 7.8 | |
| 13 | 瑠璃釉瓶 | | 1650-70 年代 | 高 22.3 | 口径 3.7 | 底径 9.5 | |
| 14 | 染付丸文瓶 | | 1660-80 年代 | 高 21.5 | 口径 2.4 | 底径 7.3 | |
| 15 | 染付唐花鳳凰文長皿 | | 1680-90 年代 | 高 3.2 | 口径 20.2×10.3 | 底径 15.5×6.0 | |
| 16 | 染付雪輪唐草文段重瓶 | | 1680-1700 年代 | 高 24.7 | 口径 3.2 | 底径 12.7 | |
| 17 | 瑠璃金彩鶴松文德利 | | 1730-70 年代 | 高 24.0 | 口径 5.6 | 底径 8.8 | |
| 18 | 染付欧字文醬油瓶 | 肥前 波佐見焼 | 1840-60 年代 | 高 19.1 | 口径 3.0 | 底径 8.3 | |
| 19 | 染付欧字文醬油瓶 | 肥前 波佐見焼 | 1840-60 年代 | 高 17.0 | 口径 3.0 | 底径 6.5 | |
| 20 | 色絵牡丹蝶文長皿 | | 1650-60 年代 | 高 2.7 | 口径 18.3×8.9 | 底径 15.0×5.7 | |
| 21 | 色絵松鶴文長皿 | | 1650-60 年代 | 高 3.5 | 口径 19.0×10.0 | 底径 15.3×6.2 | |
| 22 | 染付花卉文角瓶 | | 1670-90 年代 | 高 13.2 | 口径 2.3 | 底径 7.0 | |
| 23 | 染付花卉文水注 | | 1650-70 年代 | 高 13.0 | 口径 8.8 | 底径 10.0 | |
| 24 | 染付山水文水注 | | 1650-70 年代 | 高 13.8 | 口径 8.5 | 底径 9.5 | |

(2) 江戸好みのデザイン

| | | | | | | | |
|----|--------------|--|--------------|--------|--------------|-------------|--|
| 25 | 染付牡丹唐草文瓶 | | 1670-1700 年代 | 高 40.0 | 口径 5.0 | 底径 13.5 | |
| 26 | 染付唐草文瓶 | | 18 世紀前半 | 高 28.0 | 口径 3.4 | 底径 9.5 | |
| 27 | 染付蛸唐草文瓶 | | 18 世紀後半 | 高 30.5 | 口径 1.7 | 底径 7.2 | |
| 28 | 染付牡丹唐草文皿 | | 1680-90 年代 | 高 3.0 | 口径 19.5 | 底径 13.0 | |
| 29 | 染付牡丹唐草文角皿 | | 1680-1730 年代 | 高 4.0 | 口径 21.0×11.0 | 底径 14.5×7.0 | |
| 30 | 色絵牡丹唐人物文隅入角皿 | | 1690-1730 年代 | 高 5.4 | 口径 20.1 | 底径 13.8 | |
| 31 | 色絵椿幾何学文皿 | | 18 世紀前半 | 高 3.6 | 口径 20.5 | 底径 13.8 | |
| 32 | 色絵庭園幾何学文鉢 | | 1690-1730 年代 | 高 5.1 | 口径 14.5 | 底径 7.5 | |
| 33 | 染付船人物文角猪口 | | 18 世紀頃 | 高 6.5 | 口径 7.0 | 底径 6.1 | |
| 34 | 色絵花車婦人文壺 | | 1730-50 年代 | 高 26.9 | 口径 11.0 | 底径 10.6 | |
| 35 | 色絵婦人文蓋付壺 | | 1730-50 年代 | 高 36.5 | 口径 11.5 | 底径 11.0 | |
| 36 | 色絵花鳥婦人文大皿 | | 1700-30 年代 | 高 10.2 | 口径 54.7 | 底径 26.5 | |
| 37 | 色絵唐人物文輪花大皿 | | 1690-1730 年代 | 高 6.5 | 口径 34.5 | 底径 19.0 | |
| 38 | 色絵婦人文皿 | | 1730-70 年代 | 高 4.5 | 口径 25.2 | 底径 12.2 | |

(3) 伊万里焼・柿右衛門様式

| | | | | | | | |
|----|-------------|--|--------------|--------|---------|---------|--|
| 39 | 色絵花卉松竹梅文大皿 | | 1670-90 年代 | 高 5.6 | 口径 31.2 | 底径 16.8 | |
| 40 | 色絵花卉文八角瓶 | | 1670-90 年代 | 高 23.8 | 口径 1.9 | 底径 9.2 | |
| 41 | 色絵梅鳳凰團龍文八角鉢 | | 1670-90 年代 | 高 11.0 | 口径 25.2 | 底径 11.5 | |
| 42 | 色絵梅唐草文輪花鉢 | | 1680-1700 年代 | 高 7.5 | 口径 20.0 | 底径 11.6 | |
| 43 | 色絵草花文水注 | | 1670-1700 年代 | 高 16.7 | 口径 6.5 | 底径 6.5 | |

| | | | | | | | |
|----|----------|--|-------------|-------|---------|--------|--|
| 44 | 色絵桜文四方猪口 | | 1670-90年代 | 高 6.0 | 口径 10.0 | 底径 4.6 | |
| 45 | 色絵緋水車文碗 | | 1680-1700年代 | 高 6.2 | 口径 10.5 | 底径 4.5 | |

(4) 鍋島様式

| | | | | | | | |
|----|------------|--|-------------|--------|--------------|------------|--|
| 46 | 染付柘榴文大皿 | | 1700-50年代 | 高 8.5 | 口径 31.0 | 底径 16.4 | |
| 47 | 色絵薔薇水仙文大皿 | | 1700-30年代 | 高 8.3 | 口径 30.2 | 底径 16.5 | |
| 48 | 青磁染付宝尽し文大皿 | | 1690-1750年代 | 高 8.4 | 口径 32.5 | 底径 15.9 | |
| 49 | 青磁染付大根文小皿 | | 1670-90年代 | 高 4.0 | 口径 15.5 | 底径 8.2 | |
| 50 | 色絵鳶梅文変形皿 | | 1640-50年代 | 高 3.0 | 口径 17.0×14.0 | 底径 9.5×7.4 | |
| 51 | 染付藤文小皿 | | 1690-18世紀前半 | 高 4.3 | 口径 15.0 | 底径 8.1 | |
| 52 | 色絵柴垣桜文猪口 | | 1690-18世紀前半 | 高 7.0 | 口径 10.2 | 底径 5.2 | |
| 53 | 染付網文耳付猪口 | | 1650-70年代 | 高 10.3 | 口径 7.3×4.3 | 底径 3.5×3.2 | |
| 54 | 青磁猪口 | | 1690-1730年代 | 高 7.0 | 口径 10.0 | 底径 3.7 | |

(5) 奢侈なうつわ-変形皿

| | | | | | | | |
|----|---------------|--|-------------|-------|--------------|-------------|--|
| 55 | 色絵桜文折紙形皿 | | 1690-1730年代 | 高 3.0 | 口径 17.0×13.6 | 底径 11.0×7.0 | |
| 56 | 薄瑠璃釉染付桜文折紙形皿 | | 1670-80年代 | 高 3.0 | 口径 17.5×13.5 | 底径 10.2×6.6 | |
| 57 | 色絵花束文変形小皿 | | 1650-60年代 | 高 3.0 | 口径 14.8×12.0 | 底径 8.5×6.8 | |
| 58 | 色絵丸文瓢形小皿 | | 1640-50年代 | 高 2.5 | 口径 13.5×13.0 | 底径 8.5×8.3 | |
| 59 | 色絵山水丸文折紙形小皿 | | 1640-50年代 | 高 3.0 | 口径 15.0×11.3 | 底径 9.6×6.1 | |
| 60 | 色絵幾何学地文軍配形小皿 | | 1640-50年代 | 高 2.7 | 口径 15.5×10.0 | 底径 9.3×5.0 | |
| 61 | 染付葉文葉形小皿 | | 1640-50年代 | 高 3.1 | 口径 15.5×12.2 | 底径 9.3×7.0 | |
| 62 | 染付棕櫚軍配形皿 | | 1640-50年代 | 高 3.0 | 口径 17.3×12.1 | 底径 13.0×9.0 | |
| 63 | 金銀彩山水文富士山形皿 | | 1655-60年代 | 高 2.5 | 口径 17.7×9.4 | 底径 13.5×4.7 | |
| 64 | 青磁色絵金銀彩富士山形皿 | | 1655-60年代 | 高 3.0 | 口径 17.7×10.5 | 底径 10.2×6.0 | |
| 65 | 染付鶴文菱形菊花皿 | | 1630-40年代 | 高 3.1 | 口径 17.0×15.5 | 底径 6.1 | |
| 66 | 瑠璃釉花筏流水文変形皿 | | 1650-70年代 | 高 2.9 | 口径 17.3×9.4 | 底径 9.1×4.5 | |
| 67 | 瑠璃釉金銀彩唐人物文変形皿 | | 1655-60年代 | 高 2.5 | 口径 17.0×11.0 | 底径 12.2×7.2 | |
| 68 | 染付芋葉文芋葉形皿 | | 1650-70年代 | 高 3.5 | 口径 16.5×13.0 | 底径 9.3×7.8 | |
| 69 | 色絵茄子文菊花形鉢 | | 1690-1730年代 | 高 7.0 | 口径 19.5 | 底径 9.6×6.1 | |

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

松濤園 御馳走一番館 所蔵品公開事業

所蔵品展Ⅰ 76-77p

所蔵品展Ⅱ 78-79p

所蔵品展Ⅲ 80-81p

所蔵品展Ⅳ 82-83p

所蔵品展Ⅴ 84-86p

松濤園 御馳走一番館 所蔵品展 I

文人交流と通信使

2021（令和3）年4月7日〔水〕－6月28日〔月〕

江戸時代に再開された朝鮮通信使は、徳川幕府と朝鮮王朝との修好の使節団として始まった。朝鮮通信使には国を代表する学者や医者、画家や音楽家などさまざまな文化人が選ばれ一大文化使節団の側面を持っていた。当時外交を制限していた日本にあって朝鮮通信使との交流は貴重な大陸文化を知る機会であり、日本の各地でさまざまな形で交流がもたれていた。朝鮮通信使との交流の様子は絵画や詩や書籍などに見ることができる。また、朝鮮通信使の中には日本語が堪能な通訳官も随行しており、彼らは日本語で俳句などを書き当時の日本人たちを驚かせたといわれている。

本展では朝鮮通信使と日本の各地でおこなわれた文化交流の様子を絵画や書、俳句などの作品を通して紹介した。

（小川英史／土井基子）

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」4月号、呉市 ○「市政だよりくれ」5月号、呉市 ○「市政だよりくれ」6月号、呉市 ○広町国道 185 号線沿いデジタルサイネージ、株式会社グランド

印刷物（ポスター、チラシは陶磁器館、御馳走一番館の2館共通）

- ポスター B2判 10枚
- チラシ A4判（両面刷り） 10,000部
- 出品目録 B4判（片面刷り）

初期伊万里 - 日本磁器のはじまり -

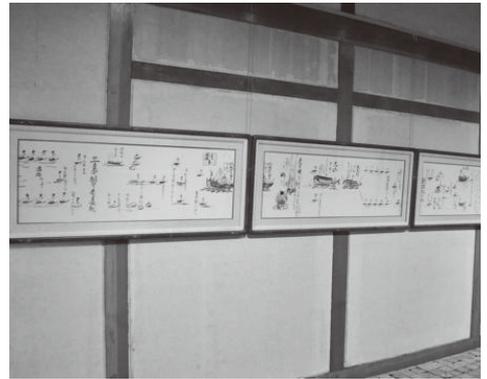
2021年 4月7日〔水〕 - 6月28日〔月〕

【開館時間】 9:00～17:00（最終入館16:30）【休館日】火曜（休館）、3月4日は閉館、5月6日
 【入館料】 大人800(640)円 / 高校生480(380)円 / 小中学生320(250)円
 ※10歳未満は200円（小学生以下は無料）※65歳以上は200円（小学生以下は無料）※障がい者同伴料は別途
 ※障がい者同伴料は別途 ※障がい者同伴料は別途 ※障がい者同伴料は別途 ※障がい者同伴料は別途

文人交流と通信使

朝鮮通信使資料館 御馳走一番館

〒777-0801 広島県呉市下津原町下 2377-1 TEL: 0823-45-2900 FAX: 0823-45-2711
 URL: http://www.shimokamagari.jp/ mail: info@shimokamagari.jp
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館する場合があります。ホームページ等で最新の情報を掲載いたします。ご来館ください。



松濤園には4種類の展示があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その厚みと土蔵の重厚さを活かして、静寂ながら歴史に感じることが出来る展示を行っています。

文人交流と通信使

朝鮮通信使資料館 御馳走一番館

◆ 鳥島岡美術館 4/14(9)～6/14(9) 『我が国最大の「狂文」』
 ◆ 蘭島岡美術館 5/12(9)～6/28(9) 『寺内萬治郎の歩み②』
 ◆ 北瀬岡美術館 4/21(9)～6/21(9) 『演劇団次郎が「見つめた世界」』

◆ 交通 Access

広島市内から車で約60分
 広島市東区下津原町下 2377-1 御馳走一番館 駐車場 約100台
 広島市東区下津原町下 2377-1 陶磁器館 駐車場 約100台

◆ 公共交通機関

広島市東区下津原町下 2377-1 御馳走一番館 徒歩約15分
 広島市東区下津原町下 2377-1 陶磁器館 徒歩約15分

◆ 問い合わせ

TEL: 0823-45-2900 URL: http://www.shimokamagari.jp/



松濤園 御馳走一番館 所蔵品展！ 「文人交流と通信使」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 *作者、資料名の順 | 時代・年代など | おもな材質 | 形状 | 寸法 <small>(縦×横、その他)または(縦×横×奥行) cm</small> | 所蔵 <small>復元模型/複製(所蔵先)</small> |
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|

松濤園 御馳走一番館の資料のうち、絵図等の複製については原資料の時代・年代を表記し、おもな材質、形状は複製した状態を表記している。記載する寸法は本財団で計測したもの。

(1) 常設展 一体感！御馳走一番

| | | | | | | |
|----|---------------------|------------|--------|----|--------------------|-------------|
| 1 | 朝鮮通信使船 | | | | | 1 / 10 復元模型 |
| 2 | 北前船 | | | | | 復元模型 |
| 3 | 等身大人形と衣装 | | | | | 復元模型 |
| 4 | 本陣復元模型と行列人形 | | | | | 復元模型 |
| 5 | 七五三の膳 | | | | 膳・各 25.5×41.0×41.0 | 復元模型 |
| 6 | 三汁十五菜の膳 | | | | 台・32.5×105.0×65.0 | 復元模型 |
| 7 | 朝鮮人御用信楽長野村焼物雛形控 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(個人) |
| 8 | 通信使接待用陶器茶碗類 | | | | | 復元模型 |
| 9 | 雨森芳洲肖像 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(芳洲会) |
| 10 | 韓使聘礼図(部分) | 1837(天保8)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(福禅寺) |
| 11 | 狩野益信 朝鮮通信使接待図屏風(部分) | 17世紀 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(泉涌寺) |

(2) 文人交流と通信使

| | | | | | | |
|----|---------------------|-------------|-----------|-----|---------------|----------------|
| 12 | 色絵朝鮮通信使行列絵巻之図大皿 | 明治時代 | 磁器 | 皿 | 高 7.0 口径 54.0 | |
| 13 | 色絵朝鮮通信使図大皿 | 幕末 - 明治 | 磁器 | 皿 | 高 5.8 口径 40.0 | |
| 14 | 李聖麟 槎路勝区図 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(国立中央博物館、韓国) |
| 15 | 狩野清真 瀟湘八景図巻 | 1682(天和2)年 | 紙・プリント | | | 複製(大阪歴史博物館) |
| 16 | 趙景安 趙景安筆扇面俳句 | 江戸時代 | 紙・プリント | | | 複製(尼崎市教育委員会) |
| 17 | 成大中 韓天寿醉晋齋書帖録跋 | 1764(宝暦14)年 | 紙・プリント | | | 複製(尼崎市教育委員会) |
| 18 | 荷澤 寿老人図 | 1636(寛永13)年 | 紙・プリント | | | 複製(大阪歴史博物館) |
| 19 | 朝鮮通信使行列図絵巻 | 江戸時代中期 | 紙本木版墨刷手彩色 | 卷子装 | 27.8×1710.0 | |
| 20 | 平安書林柳枝軒刊行 桑韓星槎答響 | 1718(享保4)年 | 紙本木版墨摺 | 冊子装 | 22.7×15.5 | |
| 21 | 平安書林柳枝軒刊行 桑韓星槎餘響 | 1718(享保4)年 | 紙本木版墨摺 | 冊子装 | 22.7×15.8 | |
| 22 | 正徳度朝鮮聘使録附言 | 1793(寛政5)年 | 紙本木版墨摺 | 冊子装 | 27.3×18.0 | |
| 23 | 尾張名所図会 | 1844(天保15)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(名古屋市蓬左文庫) |
| 24 | 葛飾北斎 東海道五十三次 十七「由井」 | 江戸時代後期 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(東京富士美術館) |
| 25 | 英一蝶 朝鮮通信使小童図 | 18世紀 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(大阪歴史博物館) |
| 26 | 朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図(部分) | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(財団所蔵) |

(3) 朝鮮通信使の故郷—朝鮮の美術—

| | | | | | | |
|----|-------|-------|------|----|------------------------|--|
| 27 | 文字絵 | 朝鮮 | 紙本着色 | 額装 | 各 62.5×28.0 8枚 | |
| 28 | 青磁菊文瓶 | 高麗 | 磁器 | 瓶 | 高 30.7 口径 4.0 底径 10.7 | |
| 29 | 白磁壺 | 朝鮮 中期 | 磁器 | 壺 | 高 25.0 口径 14.5 底径 14.7 | |
| 30 | 染付龍文壺 | 朝鮮 後期 | 磁器 | 壺 | 高 32.3 口径 12.0 底径 12.8 | |
| 31 | 染付龍文瓶 | 朝鮮 後期 | 磁器 | 壺 | 高 31.5 口径 6.5 底径 15.5 | |
| 32 | パンドジ | | 木工 | | 77.0×83.8×38.0 | |
| 33 | パンドジ | | 木工 | | 74.0×83.8×39.0 | |
| 34 | 衣装箱 | | 木工 | | 92.5×92.5×45.7 | |
| 35 | 竹張文匣 | | 木工 | | 46.5×81.7×32.5 | |
| 36 | 葉筆筥 | | 木工 | | 79.0×98.0×34.0 | |
| 37 | 米櫃 | | 木工 | | 92.3×92.5×57.4 | |

松濤園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅱ 「誠信外交ー通信使と国際交流ー」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 *作者、資料名の順 | 時代・年代など | おもな材質 | 形状 | 寸法 <small>(縦×横、その他)または(縦×横×奥行) cm</small> | 所蔵 <small>復元模型/複製(所蔵先)</small> |
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|

松濤園 御馳走一番館の資料のうち、絵図等の複製については原資料の時代・年代を表記し、おもな材質、形状は複製した状態を表記している。記載する寸法は本財団で計測したもの。

(1) 常設展 一体感!御馳走一番

| | | | | | | |
|----|---------------------|------------|--------|----|--------------------|-------------|
| 1 | 朝鮮通信使船 | | | | | 1 / 10 復元模型 |
| 2 | 北前船 | | | | | 復元模型 |
| 3 | 等身大人形と衣装 | | | | | 復元模型 |
| 4 | 本陣復元模型と行列人形 | | | | | 復元模型 |
| 5 | 七五三の膳 | | | | 膳・各 25.5×41.0×41.0 | 復元模型 |
| 6 | 三汁十五菜の膳 | | | | 台・32.5×105.0×65.0 | 復元模型 |
| 7 | 朝鮮人御用信楽長野村焼物雛形控 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(個人) |
| 8 | 通信使接待用陶器茶碗類 | | | | | 復元模型 |
| 9 | 雨森芳洲肖像 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(芳洲会) |
| 10 | 韓使聘礼図(部分) | 1837(天保8)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(福禅寺) |
| 11 | 狩野益信 朝鮮通信使軟待図屏風(部分) | 17世紀 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(泉涌寺) |

(2) 誠信外交ー通信使と国際交流ー

| | | | | | | |
|----|-------------------------|-------------|--------|----|----------------|----------------|
| 12 | 保命酒大徳利 | 江戸時代後期 | 陶器 | | 53.8×31.8×31.8 | |
| 13 | 保命酒徳利(大) | 江戸時代後期-明治時代 | 陶器 | | 36.2×14.7×14.7 | |
| 14 | 保命酒徳利(小) | 江戸時代後期-明治時代 | 陶器 | | 30.2×12.2×12.2 | |
| 15 | 備前徳利 | | 陶器 | | 21.9×11.6×11.6 | |
| 16 | 朝鮮人来朝覚 備前御馳走船行烈図 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(財団所蔵) |
| 17 | 対馬市 マンガ対馬の歴史偉人物語③ 対馬3聖人 | 2019(平成31)年 | 紙・プリント | | | 複製(長崎県対馬市) |
| 18 | 対馬藩 朝鮮国書 朝鮮国王李瑅国書 | 1617(元和3)年 | 紙・プリント | | | 複製(京都大学総合博物館) |
| 19 | 尹寿民 朝鮮国礼曹参判書契 | 1617(元和3)年 | 紙・プリント | | | 複製(京都大学総合博物館) |
| 20 | 正徳元年朝鮮通信使進物目録 | 1711(正徳元)年 | 紙・プリント | | | 複製(山口県立山口博物館) |
| 21 | 正徳元年朝鮮通信使進物 | 1711(正徳元)年 | 紙・プリント | | | 複製(山口県立山口博物館) |
| 22 | 朝鮮通信使行列図巻 | | 紙本木版 | | | |
| 23 | 崔北 山水図 | 1748(延享5)年 | 紙本墨画淡彩 | 軸装 | | |
| 24 | 玉蕙 竹の図 | 江戸時代後期 | 紙本墨画 | 軸装 | 129.0×51.0 | |
| 25 | 木下順庵肖像 付自賛 | 1696(元禄9)年 | 紙・プリント | | | 複製(芳洲会) |
| 26 | 雨森芳洲肖像 | 江戸時代中期 | 紙・プリント | | | 複製(芳洲会) |
| 27 | 雨森芳洲 交隣提醒 | 1728(享保13)年 | 紙・プリント | | | 複製(芳洲会) |
| 28 | 李東郭 李東郭書状 | 18世紀 | 紙・プリント | | | 複製(芳洲会) |
| 29 | 雨森芳洲撰 誠信堂記 | 1730(享保15)年 | 紙・プリント | | | 複製(芳洲会) |
| 30 | 疋田庄九朗 朝鮮国へ被遺物絵形 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(東京国立博物館) |
| 31 | 奥村政信 朝鮮人行列図 | 18世紀 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(東京国立博物館) |
| 32 | 羽川藤永 朝鮮通信使来朝図 | 1748(延享5)年頃 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(神戸市立図書館) |
| 33 | 狩野常信 趙泰億肖像 | 1711(正徳元)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(国立中央博物館、韓国) |
| 34 | 洛中洛外図屏風(今井町本) | 江戸時代中期 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(個人) |
| 35 | 卞璞 倭館図 | 1783(天明3)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(国立中央博物館、韓国) |

(3) 朝鮮通信使の故郷ー朝鮮の美術ー

| | | | | | | |
|----|--------|--|------|----|----------------|--|
| 36 | 花鳥図 | | 紙本着色 | 額装 | 各 58.0×29.7 5枚 | |
| 37 | 李朝螺鈿箱 | | 漆工 | 箱 | 34.3×42.3×43.2 | |
| 38 | 李朝青貝箱 | | 漆工 | 箱 | 37.3×138.6×1.6 | |
| 39 | 青貝螺鈿花台 | | 漆工 | 花台 | 34.9×31.9×22.4 | |
| 40 | バンドジ | | 木工 | | 77.0×83.8×38.0 | |
| 41 | バンドジ | | 木工 | | 74.0×83.8×39.0 | |
| 42 | 衣装箱 | | 木工 | | 92.5×92.5×45.7 | |
| 43 | 竹張文匣 | | 木工 | | 46.5×81.7×32.5 | |
| 44 | 葉筆筒 | | 木工 | | 79.0×98.0×34.0 | |
| 45 | 米櫃 | | 木工 | | 92.3×92.5×57.4 | |

松壽園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅲ

海上パレード！朝鮮通信使と海

2021（令和3）年9月8日〔水〕－11月23日〔火・祝〕

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2021（令和3）年8月27日〔金〕から9月30日〔木〕までは臨時休館

朝鮮半島南の釜山から朝鮮通信使の海路の旅は始まる。大型の外洋船である朝鮮通信使船6隻に約400から500名が乗船し、釜山を出港すると対馬藩の水先案内船、伝令船、曳船からなる護送船団がつき、大船団を組んで大坂を目指した。海路では朝鮮通信使の接待を命じられた各藩も、担当する海域を警護するため数百隻の船を出し朝鮮通信使船の警護などにあたった。その航海の様子はあたかも海上を大船団で航行するパレードのようであった。

本展では朝鮮通信使の海路の旅路の様子を、朝鮮通信使が立ち寄った各地の資料をもとに紹介した。また、2017（平成29）年にユネスコ「世界の記憶」に登録された当館資料「朝鮮人來朝覚 備前御馳走船行烈図」を中心に江戸時代の瀬戸内海航路の様相を紹介した。
（小川英史／土井基子）

関連行事

●韓国伝統飾り結び「メドップ」を使った
プレスレット作り

2021（令和3）年10月9日（土）、10月10日（日）、10月23日（土）、10月24日（日）

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」9月号、呉市 ○「市政だよりくれ」10月号、呉市 ○「市政だよりくれ」11月号、呉市 ○「くれえばん」10月号、株式会社SAメディアラボ

印刷物（ポスター、チラシは陶磁器館、御馳走一番館の2館共通）

- ポスター B2判 10枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000部
- 出品目録 B4判（片面刷り）

朝鮮通信使資料館 御馳走一番館
Commemorative Museum of Korean Missions

海上パレード! 朝鮮通信使と海

2021 9/8 水 ▶ 11/23 火・祝

●開館時間 9時～17時（最終入館16時）
●休館日 日曜・祭日（ただし、祝日は開館、翌日休館）
●観覧料 大人 800円、中学生 400円、小学生 200円
●観覧料 小学生未満 無料（小学生未満は保護者同伴）
●観覧料 障がい者同伴 観覧料半額（小学生未満は保護者同伴）
●観覧料 障がい者同伴 観覧料半額（小学生未満は保護者同伴）
●観覧料 障がい者同伴 観覧料半額（小学生未満は保護者同伴）

〒727-0301 広島県府下原町1番2277-3 E-mail info@shonkusan.jp
TEL: 0823-45-2000 FAX: 0823-45-2711 URL: http://www.shonkusan.jp/

古伊万里
Zemuri Museum
陶磁器館
磁器誕生から150年の変遷

松壽園には4種の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その内りを三之瀬瀬戸を模倣とした日本庭園が囲み、散策しながら歴史に触れることができる施設です。

朝鮮半島南の釜山から朝鮮通信使の海路の旅は始まります。大型の外洋船である朝鮮通信使船6隻に約400～500名が乗船し、釜山を出港すると対馬藩の水先案内船、伝令船、曳船からなる護送船団がつき、大船団を組んで大坂を目指した。海路では朝鮮通信使の接待を命じられた各藩も、担当する海域を警護するため数百隻の船を出し、その様子にあたかも海上を大船団で航行するパレードのようであった。

本展では朝鮮通信使の海路の旅路の様子を、立ち寄った各地の資料や、当館所蔵で2017年にユネスコ「世界の記憶」に登録された「朝鮮人來朝覚 備前御馳走船行烈図」を中心に紹介します。

江戸時代前期に日本で初めて焼かれた磁器である古伊万里は、遠くヨーロッパまで運ばれ人気を博しました。九州・有田で1610年代に誕生し、技術の上では、初めこそは格式化した伊万里磁器、わずか数年で世界の磁器市場の花形となります。その誕生から150年の美観の様子を、私藏品古伊万里コレクション約500点の中から厳選した作品を紹介します。

あわせて「美観の美観 乙女窯」を紹介します。伊万里窯の発展した美作の作り手ももつとつながる美山窯の美観。定規窯の美観をそれぞれ「甲」として「乙女窯」の美観のまじり合いから、左右対称ではない、あえてゆがませた形の手がかりが誕生するなど、「乙」を考案したゆがみの革命が起きました。本館では美山時代の美観と、美作を代表する焼物作品を紹介します。

◎韓国伝統飾り結び◎
「メドップ」を使ったプレスレット作り
メドップの作り方を説明し、お土産用のプレスレット作りを行います。30分程度で作り上げてもOKです。
開催日時: 10/9 (土)・10/10 (日)・10/23 (土)・10/24 (日)
10:00～16:00
参加費: 500円
申込: 1回限り20名まで予約
定 員: 1回限り20名まで
申込締切: 開催前日の16時迄
申込先: 0823-45-2000

あかりの館（旧古田館）
Lime Museum
02040-0100 (Lime House)
02040-0100 (Lime House)
02040-0100 (Lime House)
02040-0100 (Lime House)

瀬戸内島崎所蔵（復元）
02040-0100 (Lime House)
02040-0100 (Lime House)
02040-0100 (Lime House)
02040-0100 (Lime House)

備前御馳走船行烈図
備前30周年記念特別展「にんごころの浮世絵づくし」10/19(土)～11/29(日)
備前御馳走船行烈図
備前への視点シリーズ4「表紙絵・挿絵の世界」9/29(土)～11/09(日)
三之瀬藩4種芸術文化館 特別展「備前大田原 in Spain」9/28(土)～10/23(日)

広島市内から車で約1時間
広島市内から車で約1時間
広島市内から車で約1時間
広島市内から車で約1時間

交通
Access
広島市内から車で約1時間
広島市内から車で約1時間
広島市内から車で約1時間
広島市内から車で約1時間



松濤園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅲ 「海上パレード！朝鮮通信使と海」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 *作者、資料名の順 | 時代・年代など | おもな材質 | 形状 | 寸法 <small>(縦×横、その他)または(縦×横×奥行) cm</small> | 所蔵 <small>復元模型/複製(所蔵先)</small> |
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|

松濤園 御馳走一番館の資料のうち、絵図等の複製については原資料の時代・年代を表記し、おもな材質、形状は複製した状態を表記している。記載する寸法は本財団で計測したもの。

(1) 常設展 一体感！御馳走一番

| | | | | | | |
|----|---------------------|------------|--------|----|--------------------|-------------|
| 1 | 朝鮮通信使船 | | | | | 1 / 10 復元模型 |
| 2 | 北前船 | | | | | 復元模型 |
| 3 | 等身大人形と衣装 | | | | | 復元模型 |
| 4 | 本陣復元模型と行列人形 | | | | | 復元模型 |
| 5 | 七五三の膳 | | | | 膳・各 25.5×41.0×41.0 | 復元模型 |
| 6 | 三汁十五菜の膳 | | | | 台・32.5×105.0×65.0 | 復元模型 |
| 7 | 朝鮮人御用信楽長野村焼物雛形控 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(個人) |
| 8 | 通信使接待用陶器茶碗類 | | | | | 復元模型 |
| 9 | 雨森芳洲肖像 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(芳洲会) |
| 10 | 韓使聘礼図(部分) | 1837(天保8)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(福禅寺) |
| 11 | 狩野益信 朝鮮通信使款待図屏風(部分) | 17世紀 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(泉涌寺) |

(2) 海上パレード！朝鮮通信使と海

| | | | | | | |
|----|---------------------------|-------------|---------|------|---------------|-----------------|
| 12 | 河内屋喜兵衛他 日本地図本 | 1837(天保8)年 | 紙本木版多色摺 | 冊子装 | 28.0×18.5 | |
| 13 | 河内屋喜兵衛他 日本地図本 | 1837(天保8)年 | 紙本木版多色摺 | 冊子装 | 28.0×18.5 | |
| 14 | 金彩染付朝鮮通信使船図皿 | 江戸時代末期-明治時代 | 磁器 | 皿 | 高 3.3× 径 18.5 | |
| 15 | 李聖麟 槎路勝区図 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(国立中央博物館、韓国) |
| 16 | 朝鮮国図 | 18世紀-19世紀 | 紙・プリント | | | 複製(東京国立博物館) |
| 17 | 朝鮮通信使正使官船図 | | 紙・プリント | | | 複製(佐賀県立名護屋城博物館) |
| 18 | 元禄対馬国絵図 | 1700(元禄13)年 | 紙・プリント | | | 複製(長崎歴史文化博物館) |
| 19 | 大日本参勤海陸道中図 | | 紙・プリント | | | 複製(下関市立歴史博物館) |
| 20 | 朝鮮人來朝覚 備前御馳走船行烈図 | 1748(延享5)年 | 紙本着色 | 卷子装 | | |
| 21 | 藍島図 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | | | 複製(岩国徴古館) |
| 22 | 赤間関信使屋并近辺図 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | | | 複製(岩国徴古館) |
| 23 | 朝鮮通信使船上関来航図 | 1764(宝暦14)年 | 紙・プリント | | | 複製(超専寺) |
| 24 | 六十余州名所図会備後阿武門観音堂 | 江戸時代 | 紙本木版色摺 | 額装 | 26.5×36.5 | |
| 25 | 李邦彦揮毫 菅茶山扁額「日東第一景勝」扁額(拓本) | 1711(正徳元)年 | 紙本墨摺 | 額装 | | 拓本(福禅寺) |
| 26 | 洪景海 「対潮楼」額字 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | | | 複製(福禅寺) |
| 27 | 朝鮮船図 | | 紙本着色 | 軸装 | | |
| 28 | 朝鮮通信使船大坂河口之図屏風 | | 紙本着色 | 六曲一隻 | | |
| 29 | 朝鮮船図 | | 紙・プリント | | | 複製(個人) |
| 30 | 朝鮮船対馬入湊図 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(個人) |
| 31 | 朝鮮訳官行列之図 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(慶應義塾大学図書館) |
| 32 | 大船用分 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(天理大学附属図書館) |
| 33 | 草場佩川 津島日記 | 1811(文化8)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(佐賀大学附属図書館) |
| 34 | 朝鮮人渡海船之図 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(大阪歴史博物館) |

(3) 朝鮮通信使の故郷—朝鮮の美術—

| | | | | | | |
|----|--------|--|------|----|----------------|--|
| 35 | 龍仙人衝立 | | 紙本着色 | 衝立 | 72.2×74.7 | |
| 36 | 螺鈿花台 | | 漆工 | 花台 | 17.8×45.0×30.2 | |
| 37 | 青花台(大) | | 漆工 | 花台 | 21.5×56.7×35.1 | |
| 38 | 青花台(小) | | 漆工 | 花台 | 20.2×45.3×31.2 | |
| 39 | パンダジ | | 木工 | | 77.0×83.8×38.0 | |
| 40 | パンダジ | | 木工 | | 74.0×83.8×39.0 | |
| 41 | 衣装箱 | | 木工 | | 92.5×92.5×45.7 | |
| 42 | 竹張文匣 | | 木工 | | 46.5×81.7×32.5 | |
| 43 | 葉筆筥 | | 木工 | | 79.0×98.0×34.0 | |
| 44 | 米櫃 | | 木工 | | 92.3×92.5×57.4 | |

松壽園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅳ

むかえる！もてなす！通信使と日本文化

2021（令和3）年11月25日〔木〕－2022年（令和4）年1月24日〔月〕

*ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2022（令和4）年1月9日〔日〕から2月20日〔日〕までは臨時休館

朝鮮通信使の派遣が決まると江戸までの各地に接待所が設けられた。対馬藩は通信使招聘の責任者となり、各藩の準備の総括や江戸までの護衛などを請け負った。各藩は藩の威信にかけ宿の準備や道筋の掃除、朝鮮通信使に提供する食料などの準備にあたった。また、江戸においては対馬藩邸で対馬藩主の正室から朝鮮通信使に当時の庶民に人気のあった大衆芸能が披露され、その感想は対馬藩の残した膨大な量の通信使記録に詳しく書かれ、花火や軽業、猿回しなどの演目が国書奉呈を終えた通信使一行へのもてなしとして喜ばれていたことがわかる。

本展では朝鮮通信使の饗応を担当した各藩の接待の様子や江戸で朝鮮通信使が楽しんだ庶民芸能の内容などを紹介した。

（小川英史／土井基子）

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」12月号、呉市 ○「市政だよりくれ」1月号、呉市 ○広町国道185号線沿いデジタルサイネージ、株式会社ブランド

印刷物（ポスター、チラシは陶磁器館、御馳走一番館の2館共通）

- ポスター B2判 10枚
- チラシ A4判（両面刷り）10,000部
- 出品目録 B4判（片面刷り）

KAKIEMON and KINRANDE

伊万里金襴手

2021 11/25 木 2022 1/24 月

松壽園 御馳走一番館

むかえる！もてなす！通信使と日本文化

松壽園には4種の展示があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その際に行なわれた三之浦遺跡を模した日本家屋が、複製しながら歴史に触れることができます。

色彩の華 柿右衛門と伊万里金襴手

江戸時代以前の陶磁器として伊万里藩は栄えました。時代の需要に応じてさまざまな様式を創りました。1670-90年代には欧州各地を獲った乳白色の釉薬に特長する伊万里を基調とした柿右衛門様式が隆盛します。そして元禄年間（1688-1704）には、権威になった財人の呼びかけで江戸での流行を取り入れ、着で着飾られた豪華な装束が流行しました。本展では、17世紀後半から18世紀前半にかけて日本国内のみならず海外の王侯貴族まで魅了した伊万里の色彩に着目し、あわせて、さまざまな関いが込められた書状文書の紹介をします。

むかえる！もてなす！通信使と日本文化

朝鮮通信使の派遣が決まると江戸までの各地に接待所が設けられました。対馬藩は通信使招聘の責任者となり、各藩の準備の総括や江戸までの護衛などを請け負いました。各藩は藩の威信にかけ宿の準備や道筋の掃除、朝鮮通信使に提供する食料などの準備にあたり、また、江戸においては対馬藩邸で朝鮮通信使に当時の庶民に人気のあった大衆芸能などが披露され、その感想は通信使の残した記録に詳しく書かれています。本展では、朝鮮通信使の饗応を担当した各藩の様子や江戸で朝鮮通信使が楽しんだ庶民芸能の様子をご紹介します。

あかりの館（併設施設）
白土上層から眺望可能な眺望、眺望台から眺望可能。眺望台は予約してご利用いただけます。

徳利島御茶所（復元）
江戸時代、この下層にはあかり御茶所を上層に設けている建物を参考に復元しています。

三之浦本陣芸術文化館（展示する屋敷たち）

交通 Access
広島市内から車で約50分
広島市内から徒歩約10分
広島市内から徒歩約10分
広島市内から徒歩約10分

三之浦本陣芸術文化館（展示する屋敷たち）

新型コロナウイルス感染予防のためのお客様へのお願い
●発熱や軽症であっても発熱などの症状がある場合は、ご来館をお控えください。
●入館時の検温にご協力ください。●入館の際は、マスクの着用をお願いします。●アルコール消毒などの手洗いの消毒をお願いします。
●三之浦本陣芸術文化館は、観覧客の安全確保のため、ホール・1F等で観覧の制限をご案内のうえ、ご来館ください。
【お問い合わせ】 TEL: 0823-65-2000 URL: http://www.shimokamagari.jp/



松濤園 御馳走一番館 所藏品展Ⅳ 「むかえる！もてなす！通信使と日本文化」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 *作者、資料名の順 | 時代・年代など | おもな材質 | 形状 | 寸法 <small>(縦×横、その他)または(縦×横×奥行) cm</small> | 所蔵 <small>復元模型/複製(所蔵先)</small> |
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|

松濤園 御馳走一番館の資料のうち、絵図等の複製については原資料の時代・年代を表記し、おもな材質、形状は複製した状態を表記している。記載する寸法は本財団で計測したもの。

(1) 常設展 一体感！御馳走一番

| | | | | | | |
|----|---------------------|------------|--------|----|--------------------|-------------|
| 1 | 朝鮮通信使船 | | | | | 1 / 10 復元模型 |
| 2 | 北前船 | | | | | 復元模型 |
| 3 | 等身大人形と衣装 | | | | | 復元模型 |
| 4 | 本陣復元模型と行列人形 | | | | | 復元模型 |
| 5 | 七五三の膳 | | | | 膳・各 25.5×41.0×41.0 | 復元模型 |
| 6 | 三汁十五菜の膳 | | | | 台・32.5×105.0×65.0 | 復元模型 |
| 7 | 朝鮮人御用信楽長野村焼物雛形控 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(個人) |
| 8 | 通信使接待用陶器茶碗類 | | | | | 復元模型 |
| 9 | 雨森芳洲肖像 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(芳洲会) |
| 10 | 韓使聘礼図(部分) | 1837(天保8)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(福禅寺) |
| 11 | 狩野益信 朝鮮通信使款待図屏風(部分) | 17世紀 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(泉涌寺) |

(2) むかえる！もてなす！通信使と日本文化

| | | | | | | |
|----|-------------------|------------------|-----------|------|-------------|----------------------|
| 12 | 朝鮮人來朝覚 備前御馳走船行烈図 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | |
| 13 | 延享五年朝鮮人來朝書付 行程図 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | | | 複製(佐賀県立名護屋城博物館) |
| 14 | 朝鮮通信使迎接所絵図(土肥家文書) | 17世紀-18世紀 | 紙・プリント | | | 複製(吉崎市教育委員会) |
| 15 | 朝鮮通信使行列図絵巻 | 江戸時代中期 | 紙本木版墨摺手彩色 | 卷子装 | 27.8×1710.0 | |
| 16 | 葛飾北斎 猿廻し | 1800(寛政12)年 | 紙・プリント | | | 複製(東京国立博物館) |
| 17 | 狩野尚信 猿曳図 | 17世紀 | 紙・プリント | | | 複製(東京国立博物館) |
| 18 | 菱川師宣 放下師図 | 元禄年間(1688-1704) | 紙・プリント | | | 複製(東京国立博物館) |
| 19 | 鳥居清長 金太郎 熊の軽業 | 18世紀 | 紙・プリント | | | 複製(東京国立博物館) |
| 20 | よし国 近松門左衛門像 | | 紙・プリント | | | 複製(早稲田大学坪内博士記念演劇博物館) |
| 21 | 朝鮮通信使款待図屏風 | 江戸時代初期(1600年代中頃) | 紙本着色 | 二曲一隻 | 113.0×51.5 | |
| 22 | 朝鮮人來朝物語 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(京都大学附属図書館) |
| 23 | 韓使饗饌図 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(慶應義塾大学図書館) |
| 24 | 草場佩川 津島日記 | 1811(文化8)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(佐賀大学附属図書館) |
| 25 | 狩野常信 趙泰億像 | 1711(正徳元)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(国立中央博物館、韓国) |
| 26 | 文化度朝鮮人物図巻 | 1811(文化8)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(大阪歴史博物館) |

(3) 朝鮮通信使の故郷—朝鮮の美術—

| | | | | | | |
|----|----------------|----|---------|------|---------------------------|--|
| 27 | 平壤城図屏風 | 朝鮮 | 紙本木版手彩色 | 六曲一隻 | 139.0×368.0 | |
| 28 | 長台机 | 朝鮮 | 木工 | | 26.1×89.9×22.8 | |
| 29 | 大筆(2本) | 朝鮮 | 木工 | | 480×75×75(大) 360×39×39(小) | |
| 30 | 筆筒 | 朝鮮 | 木工 | | 21.2×17.5×17.5 | |
| 31 | 古墨「十大高僧」(10個組) | 朝鮮 | 墨 | | 2.0×21.1×29.2 | |
| 32 | 古墨「生套墨」(12個組) | 朝鮮 | 墨 | | 2.4×20.5×29.5 | |
| 33 | 古墨「肖蔵墨」(12個組) | 朝鮮 | 墨 | | 2.2×21.0×31.8 | |
| 34 | バンドジ | | 木工 | | 77.0×83.8×38.0 | |
| 35 | バンドジ | | 木工 | | 74.0×83.8×39.0 | |
| 36 | 衣装箱 | | 木工 | | 92.5×92.5×45.7 | |
| 37 | 竹張文匣 | | 木工 | | 46.5×81.7×32.5 | |
| 38 | 葉筆筒 | | 木工 | | 79.0×98.0×34.0 | |
| 39 | 米櫃 | | 木工 | | 92.3×92.5×57.4 | |

松濤園 御馳走一番館 所蔵品展Ⅴ 「柳川一件と馬上才」 出品リスト

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 *作者、資料名の順 | 時代・年代など | おもな材質 | 形状 | 寸法 <small>(縦×横、その他)または(縦×横×奥行) cm</small> | 所蔵 <small>復元模型/複製(所蔵先)</small> |
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|
|-----|---------------|---------|-------|----|--|-----------------------------------|

松濤園 御馳走一番館の資料のうち、絵図等の複製については原資料の時代・年代を表記し、おもな材質、形状は複製した状態を表記している。記載する寸法は本財団で計測したもの。

(1) 常設展 一体感!御馳走一番

| | | | | | | |
|----|---------------------|------------|--------|----|--------------------|-------------|
| 1 | 朝鮮通信使船 | | | | | 1 / 10 復元模型 |
| 2 | 北前船 | | | | | 復元模型 |
| 3 | 等身大人形と衣装 | | | | | 復元模型 |
| 4 | 本陣復元模型と行列人形 | | | | | 復元模型 |
| 5 | 七五三の膳 | | | | 膳・各 25.5×41.0×41.0 | 復元模型 |
| 6 | 三汁十五菜の膳 | | | | 台・32.5×105.0×65.0 | 復元模型 |
| 7 | 朝鮮人御用信楽長野村焼物雛形控 | | 紙・プリント | 額装 | | 複製(個人) |
| 8 | 通信使接待用陶器茶碗類 | | | | | 復元模型 |
| 9 | 雨森芳洲肖像 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(芳洲会) |
| 10 | 韓使聘礼図(部分) | 1837(天保8)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(福禅寺) |
| 11 | 狩野益信 朝鮮通信使使状図屏風(部分) | 17世紀 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(泉涌寺) |

(2) 柳川一件と馬上才

| | | | | | | |
|----|------------------------------------|----------------------|--------|-----|------------|-------------------|
| 12 | 対馬藩作成 朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書 | 1607(慶長12)年 | 紙・プリント | | 60.3×93.8 | 複製(京都大学総合博物館) |
| 13 | 対馬藩作成 朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書別幅 | 1607(慶長12)年 | 紙・プリント | | 58.6×75.9 | 複製(京都大学総合博物館) |
| 14 | 対馬藩作成 朝鮮国書 朝鮮国王李瑄国書別幅 | 1617(元和3)年 | 紙・プリント | 額装 | 57.5×125.4 | 複製(東京国立博物館) |
| 15 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李琮国書 | 1643(寛永20)年 | 紙・プリント | 額装 | 51.4×134.2 | 複製(東京国立博物館) |
| 16 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李琮国書別幅 | 1643(寛永20)年 | 紙・プリント | 額装 | 51.7×145.3 | 複製(東京国立博物館) |
| 17 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李湊国書 | 1655(明暦元)年 | 紙・プリント | 額装 | 52.6×109.3 | 複製(東京国立博物館) |
| 18 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李湊国書別幅 | 1655(明暦元)年 | 紙・プリント | 額装 | 52.7×126.7 | 複製(東京国立博物館) |
| 19 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李焞国書別幅 | 1682(天和2)年 | 紙・プリント | 額装 | 53.5×120.3 | 複製(東京国立博物館) |
| 20 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李焞国書 | 1711(正徳元)年 | 紙・プリント | 額装 | 50.9×106.4 | 複製(東京国立博物館) |
| 21 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李焞国書 | 1719(享保4)年 | 紙・プリント | 額装 | 52.6×97.8 | 複製(東京国立博物館) |
| 22 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李焞国書別幅 | 1719(享保4)年 | 紙・プリント | 額装 | 52.5×106.5 | 複製(東京国立博物館) |
| 23 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書 | 1747(延享4)年 | 紙・プリント | 額装 | 51.0×114.8 | 複製(東京国立博物館) |
| 24 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書別幅 | 1747(延享4)年 | 紙・プリント | 額装 | 50.0×116.2 | 複製(東京国立博物館) |
| 25 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書別幅 | 1747(延享4)年 | 紙・プリント | 額装 | 50.1×114.9 | 複製(東京国立博物館) |
| 26 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書 | 1763(宝暦13)年 | 紙・プリント | 額装 | 49.9×117.3 | 複製(東京国立博物館) |
| 27 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書別幅 | 1763(宝暦14)年 | 紙・プリント | 額装 | 49.8×118.4 | 複製(東京国立博物館) |
| 28 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李瑑国書別幅 | 1811(文化8)年 | 紙・プリント | 額装 | 49.3×112.6 | 複製(東京国立博物館) |
| 29 | 萬松院殿(宗義智)像 | 17世紀 | 紙・プリント | | | 複製(萬松院) |
| 30 | 景轍玄蘇和尚像 | 江戸時代 | 紙・プリント | | | 複製(西山寺) |
| 31 | 朝鮮王朝作成 朝鮮国書 朝鮮国王李瑄国書 | 1617(元和3)年 | 紙・プリント | | | 複製(京都大学総合博物館) |
| 32 | 尹寿民 朝鮮国礼曹参判書契 | 1617(元和3)年 | 紙・プリント | | | 複製(京都大学総合博物館) |
| 33 | 朝鮮通信使行列図巻 | 江戸時代 | 紙本木版 | 卷子装 | 24.3×710.0 | |
| 34 | 宝永華洛細見図(十) | 宝永年間(1704-1711) | 紙本木版 | 冊子装 | 26.5×19.0 | |
| 35 | 狩野安信 伊達政宗 画像 | 江戸時代前期 17世紀 | 紙・プリント | | | 複製(仙台市博物館) |
| 36 | 光雲院殿(宗義成)像 | | 紙・プリント | | | 複製(萬松院) |
| 37 | 規伯玄方和尚像 | | 紙・プリント | | | 複製(西山寺) |
| 38 | 対馬藩作成 寛永十二年乙亥年三月十一日於御前義成様ト豊前対決之御座配 | | 紙・プリント | | | 複製(長崎県対馬歴史研究センター) |
| 39 | 平義真 柳川調興公事記録 | 1634-1683(寛永11-天和3)年 | 紙・プリント | | | 複製(慶應義塾大学図書館) |
| 40 | 疋田庄九郎 朝鮮国へ被遺物絵形 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | | | 複製(東京国立博物館) |
| 41 | 羽川藤永 朝鮮人來朝図 | 1748(延享5)年頃 | 紙・プリント | | | 複製(神戸市立博物館) |
| 42 | 卞璞 倭館図 | 1783(天明3)年 | 紙・プリント | | | 複製(国立中央博物館、韓国) |
| 43 | 朝鮮人來朝覚 備前御馳走船行烈図 | 1748(延享5)年 | 紙・プリント | 額装 | | 複製(財団所蔵) |

(3) 朝鮮通信使の故郷—朝鮮の美術—

| | | | | | | |
|----|----------------|--|------|-------|-----------|--|
| 44 | 鶴虎図屏風 | | 紙本着色 | 十二曲一隻 | | |
| 45 | 安東五 李朝伝統白磁壺 | | 磁器 | 壺 | 57.0×46.9 | |
| 46 | 李殷九 青磁サギ・ハス紋長壺 | | 磁器 | 壺 | 31.8×21.5 | |

| | | | | | | |
|----|------------|--|----|---|----------------|--|
| 47 | 李殷九 青磁狩猟図壺 | | 磁器 | 壺 | 25.5×21.7 | |
| 48 | バンダジ | | 木工 | | 77.0×83.8×38.0 | |
| 49 | バンダジ | | 木工 | | 74.0×83.8×39.0 | |
| 50 | 衣装箱 | | 木工 | | 92.5×92.5×45.7 | |
| 51 | 竹張文匣 | | 木工 | | 46.5×81.7×32.5 | |
| 52 | 薬箆笥 | | 木工 | | 79.0×98.0×34.0 | |
| 53 | 米櫃 | | 木工 | | 92.3×92.5×57.4 | |

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度
年報

令和 3 年度

通年展示 88-91p

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

通年展示

運営する施設のうち、地域の歴史や所蔵品に関連する貴重な資料については年間を通して展示公開している。その展示内容とおもな展示資料を下記にまとめた。

□三之瀬御本陣芸術文化館の通年展示—須田国太郎思い出の部屋

須田国太郎愛用の品々を展示。油絵道具一式、イーゼルなどの油彩画の道具や、戸外制作に出かける際、須田が用いた固形水彩やパレットなどの愛用画材や関連資料を紹介している。また、スペインに留学していた時に使用したトランクや、戸外スケッチの時にいつかぶっていた帽子などの身の回りの品を紹介。さらに、須田国太郎が好んで収集していた 715 点のグリコのおまけのおもちゃを展示している。



三之瀬御本陣芸術文化館 須田国太郎思い出の部屋・展示室内その他 2021（令和3）年度通年展示資料一覧

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名（須田国太郎遺品・愛用品資料） | 時代・年代など | おもな材質 | 形状 | 寸法 <small>（縦×横、その他）または（縦×横×奥行）cm</small> | 所蔵 |
|-----|--------------------|---------|-------|----|---|----|
|-----|--------------------|---------|-------|----|---|----|

須田国太郎遺品・愛用品資料のうち、写真資料以外の製造年代、形状は省略する。また、記載する寸法は本財団で計測したもの。写真は複製した際の寸法。

| | | | | | | |
|----|--|-----------------------|---------|-----|-----------------|--|
| 1 | 江崎グリコ株式会社 グリコのおまけのおもちゃ（715点） | 1945年代-1960年代 | プラスチック他 | | — | |
| 2 | 須田国太郎肖像写真（田中真知男撮影） | 1954（昭和29）年 | 紙・プリント | パネル | 54.0×43.0 | |
| 3 | 須田国太郎肖像写真 *第11回独立美術展会場で撮影されたもの（部分） | 1941（昭和16）年 | 紙・プリント | パネル | 43.0×54.0 | |
| 4 | パレット（油絵用）絵具つき | | プラスチック板 | | 49.0×37.5 | |
| 5 | 二つ折り持ち運び用パレット（油絵用） | | 木製 | | 36.0×25.0 | |
| 6 | WINSOR & NEWTON 社製 油壺（蓋つき） | | 陶器 | | 13.0×8.0 | |
| 7 | WINSOR & NEWTON 社製 油壺（蓋なし） | | 陶器 | | 12.5×8.5 | |
| 8 | 筆立（小） | | 陶器 | | 13.5×10.0×10.0 | |
| 9 | 筆立（大） | | 木製 | | 1.0×25.0 | |
| 10 | 筆類：18本 *鳥の羽3本、つけペン1本、鉛筆2本、筆12本 | | 木製 | | | |
| 11 | 筆類：筆9本、つけペン1本、鉛筆4本、ナイフ1本 | | 木製他 | | 10.0~30.0 | |
| 12 | 絵具箱（油絵具7本） | | | 紙箱 | 13.0×8.0 | |
| 13 | 絵具箱（油絵具・ランチ） | | 金属製箱 | | 4.5×36.0×13.0 | |
| 14 | 油絵具一式 | | 木箱 | | 11.5×42.5×30.5 | |
| 15 | 絵具箱 *筆5本、絵具25本、油壺1本、油入1つ | | 木製 | | 8.0×40.0×16.0 | |
| 16 | 書見台 | | 木製 | | 20.0×30.0×20.0 | |
| 17 | WINSOR & NEWTON 社製 固形水彩付パレット（小） | | 金属製 | | 1.5×21.0×13.0 | |
| 18 | WINSOR & NEWTON 社製 固形水彩付パレット（大） | | 金属製 | | 1.5×23.0×22.0 | |
| 19 | 東京大日本文具株式会社製 Pentel 水彩絵具セット 10本 | | 紙箱 | | | |
| 20 | トランク | | 革張り、金属 | | 34.0×51.0×96.0 | |
| 21 | 革帽子 | | 革 | | 16.0×30.0×33.0 | |
| 22 | イーゼル | | 木製 | | 193.0×73.0×58.0 | |
| 23 | 須田国太郎撮影 渡欧写真（複製） （ダロカ・スペイン） | 1922（大正11）年 | 紙・プリント | | 30.0×39.0 | |
| 24 | 須田国太郎撮影 渡欧写真（複製） *パレンシア/ドスアグアス侯爵邸（スペイン） | 1922（大正11）年 | 紙・プリント | | 39.0×30.0 | |
| 25 | 須田国太郎撮影 渡欧写真（複製） *パレンシアの河東（スペイン） | 1922（大正11）年 | 紙・プリント | | 39.0×30.0 | |
| 26 | 須田国太郎撮影 渡欧写真（複製） *サント・ドミンゴ（シグエンサ・スペイン） | 1921（大正10）年 11月17日 | 紙・プリント | | 39.0×30.0 | |

□三之瀬御本陣芸術文化館の通年展示—エントランス、ロビー、その他

三之瀬を含む下蒲刈の歴史・文化を写真パネルで年間を通して展示している。また、近世の貴人の様子を垣間見る目的として、嫁入り時に使用された姫駕籠を始め、甲冑や火縄銃などの武具などを紹介している。

(1) 下蒲刈の文化と歴史

1748（延享5）年来日の第10回朝鮮通信使一行の画員・李聖麟が、釜山から江戸までの路程を描いた槎路勝区図のうち、蒲刈を描いた図（複製）や当時の地図、福島雁木についてなど、歴史資料を展示。また、本陣の変遷を明治や昭和初期の三之瀬付近の写真で紹介している。

(2) 自然と歴史・文化にもとづくまちづくり～下蒲刈ガーデンアイランド構想の実現～

江戸時代に朝鮮通信使を迎えるに当たり詠まれた『蒲刈八景』をテーマに整備された下蒲刈島の公共デザインを紹介。その八景のうちの一つ、白崎園を展示パネルで紹介。白崎園に設置され島のシンボルとなった、陶芸家の今井眞正のモニュメント作品「生・土・火・知・空・水」や白崎園内に建つ頼山陽の詩碑を紹介している。

(3) 江戸時代の甲冑、近世の姫駕籠、火縄銃、薙刀

福島正則が幕命でこの地に本陣を設けて以降、三之瀬が重要な寄港地であった頃の様子を垣間見るため、江戸時代の甲冑を始め火縄銃、薙刀などの武具類を展示している。また彦根藩、井伊家への輿入れの際に使用されたとされる姫駕籠を紹介している。

三之瀬御本陣芸術文化館 エントランス、ロビー、その他 通年展示資料一覧

*無表記は財団所蔵

| No. | 資料名 | 時代・年代など | おもな材質 | 形状 | 寸法 <small>(縦×横、その他) または (縦×横×奥行) cm</small> | 所蔵 |
|-----|-----|---------|-------|----|--|----|
|-----|-----|---------|-------|----|--|----|

(3) 江戸時代の甲冑、近世の姫駕籠、火縄銃、薙刀

(1)(2)の下蒲刈の紹介コーナーを除き、(3)の展示資料を記す。甲冑の材質、寸法は省略。火縄銃、火縄銃立の材質は省略。

| | | | | | | |
|---|---------------|--------|----|--|--------------------------|--|
| 1 | 鉄金箔押亀甲鎖繫二枚胴具足 | 江戸時代中期 | | | | |
| 2 | 姫駕籠 | 制作年不詳 | | | 119.0×127.0×79.0 | |
| 3 | 並河源以作 火縄銃 | 制作年不詳 | | | 全長 108.8 銃身長 75.8 口径 1.6 | |
| 4 | 火縄銃 | 制作年不詳 | | | 全長 115.4 銃身長 84.5 口径 1.4 | |
| 5 | 火縄銃立 | 制作年不詳 | 漆工 | | 74.5×67.5×25.8 | |
| 6 | 吉信作 尻鉞 | 制作年不詳 | 漆工 | | 鞘付全長 229.0 本体全長 221.5 | |
| 7 | 槍 | 制作年不詳 | 刀剣 | | 鞘付全長 280.0 本体全長 276.0 | |

記載する寸法は2019（平成31／令和元）年度に本財団で計測したもの。火縄銃の寸法表記は全長、銃身長、口径の順。尻鉞、槍の寸法表記は鞘付全長、本体全長の順。
なお、薙刀の資料名は当財団の登録資料上の漢字表記とした。



□松濤園の通年展示 あかりの館

山口県上関町から移築した旧吉田邸を活用し、世界の珍しい灯火器のコレクションを展示している。呉市有形文化財に指定されている旧吉田邸は移築前の姿を残し、江戸時代からの古い商家の造りを実際に体感しながら見ることができる。その中で、灯火器も含めた昔の暮らしの道具も紹介し、歴史を感じる展示をおこなっている。

(1) 日本のあかり

提灯や行灯など、かつて日本で実際に使われていた灯火器を、旧吉田邸の趣ある座敷を利用して展示している。提灯も行灯もそれぞれ、用途が違えば形が違うことを、並べて展示することで紹介している。また、多彩な和ろうそくも紹介している。

(2) 世界のあかり

世界有数の灯火器コレクターである高田一郎氏のコレクションを中心に、紀元前のテラコッタランプや、電気が普及するまで利用されていたオイルランプを紹介している。光を灯す道具がいかに発展してきたかを総覧できるよう紹介している。

(3) 旧吉田邸コレクション

移築の際に、建物とともに譲り受けた貴重な家具や資料を紹介。家具の中には、豪商ならではの帳場の設えなどを紹介している。吉田家に入りのあった長州ゆかりの幕末志士の遺した資料などを一部紹介している。

松濤園 あかりの館 通年展示資料概要（*各コーナーごとのおもな資料）

| | |
|----------------|--|
| (1) 日本のあかり | おもな資料：置き行灯四角枕元行灯、置き行灯六角枕元行灯、置き行灯面取形枕元行灯、〈置き行灯〉名古屋行灯、〈置き行灯〉円周行灯、鉄製あこた形吊り灯籠、鉄製吊り灯籠、鉄製六角吊り灯籠、など |
| (2) 世界のあかり | おもな資料：テラコッタ、石ランプ、人面ペンダント油灯、鳥ランプ、カルダン時計ランプ、クリックライト（5灯式）、オイルランプ、シナンブラ冠ランプ、シナンブラランプ、キャンドルスタンド（祭壇用）、など |
| (3) 旧吉田邸コレクション | おもな資料：帳場家具一式、衣裳箆笥一式、長火鉢、ダイスけやき（大）、茶釜（大）、火鉢、吉田健造墓名、石臼、階段箆笥（箱階段）、など |



□松濤園の通年展示—復元蒲刈島御番所

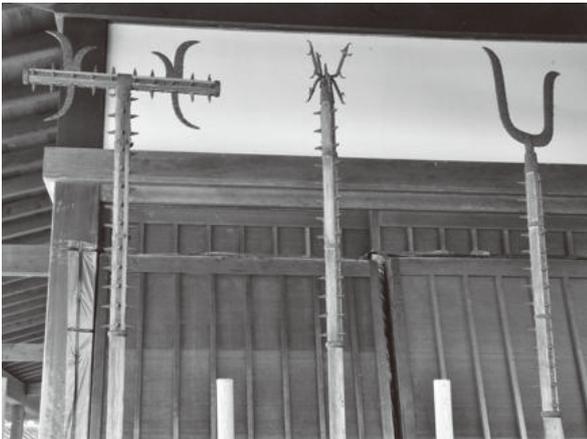
江戸時代に下蒲刈島に設置された番所を、現存している山口県上関町の番所を参考にして復元している。江戸時代に海駅に指定され、瀬戸内海の交通の要衝として重要な港であった下蒲刈島のことを紹介している。

(1) 高札場

幕府の統治上の基本的な法及び重要な施策が掲示された高札場を再現している。ここでは特に、朝鮮通信使来島にあたっての特別な対応を掲示し、朝鮮通信使来島がいかに幕府や藩にとって一大事であったかを紹介している。

(2) 弓・鉄砲・道具立て

弓や鉄砲の他に、突棒・ガリ棒（袖搦み）・サス棒（刺又）の三つ道具と消火用水桶の備えを再現して展示している。番所は、海・港の安全を守るための現在の警察的役割のほかに、火事に備えた消防的役割も担っていたことを紹介している。



公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度
年報

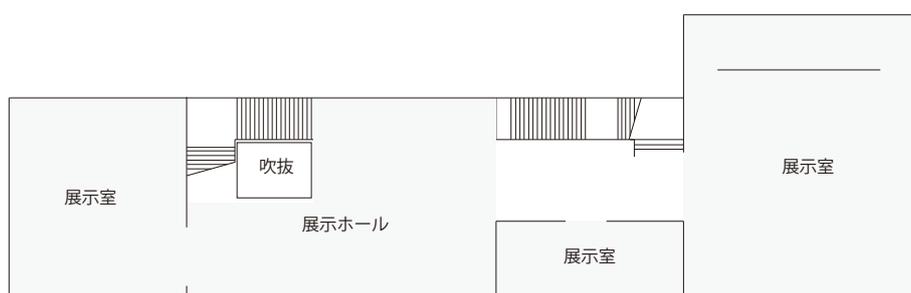
令和 3 年度

公開スペース一覧 94-100p

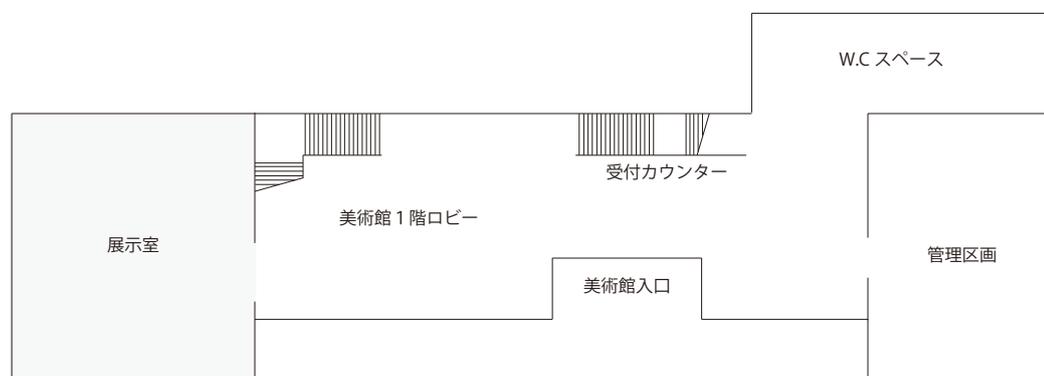
GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

□蘭島閣美術館

| | 構造 | 敷地面積 | 建築面積 | 延べ床面積 | 施設概要 |
|--------|----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|--|
| 蘭島閣美術館 | 木造2階建 (一部3階、一部地下) | 1,401.07 m ² | 625.84 m ² | 1,056.65 m ² | 展示面積 541.04 m ² / 展示壁長 166.30 m |



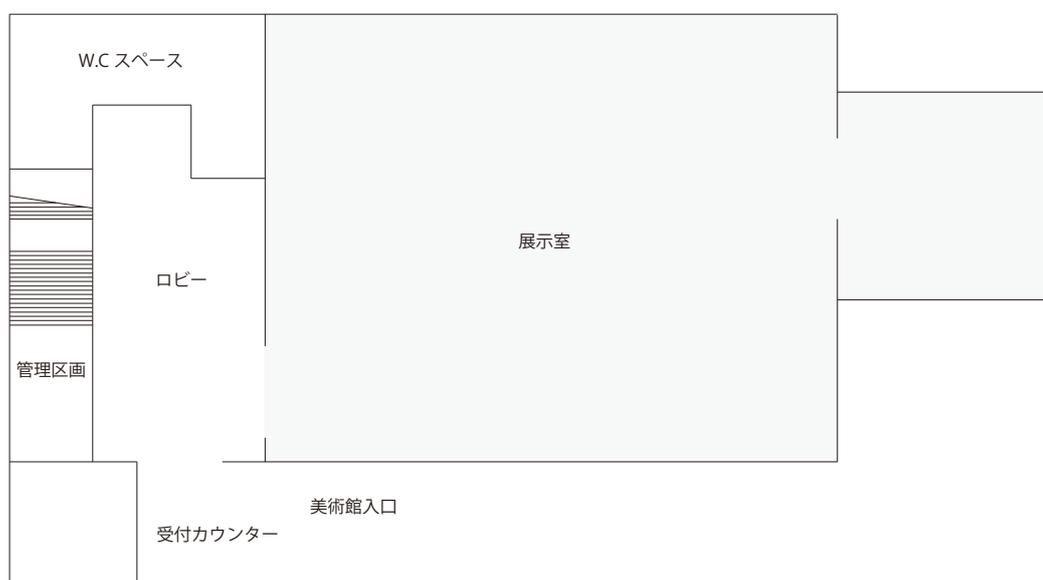
2階



1階

□蘭島閣美術館別館

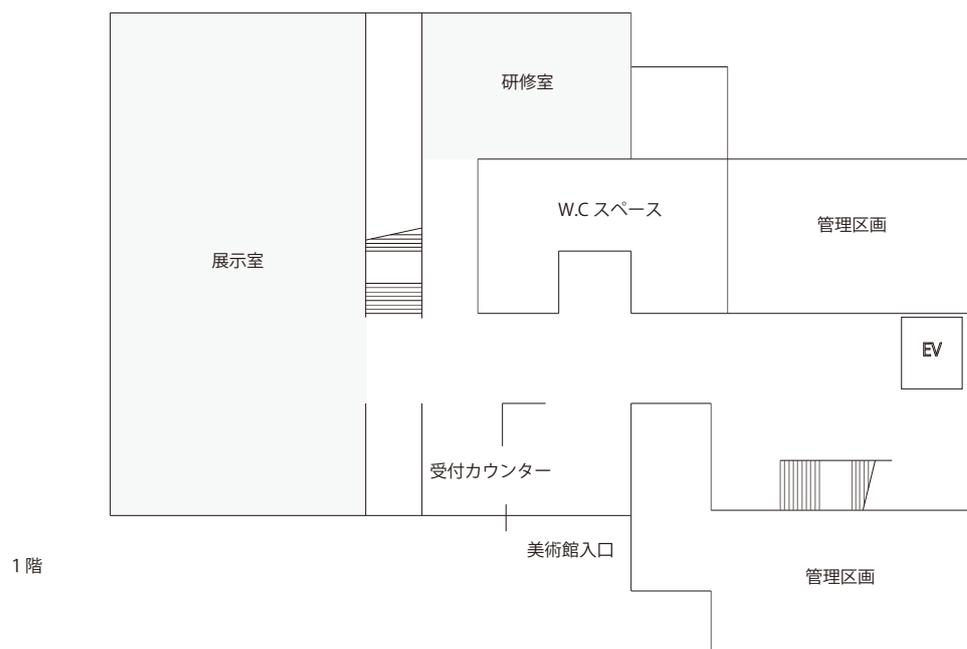
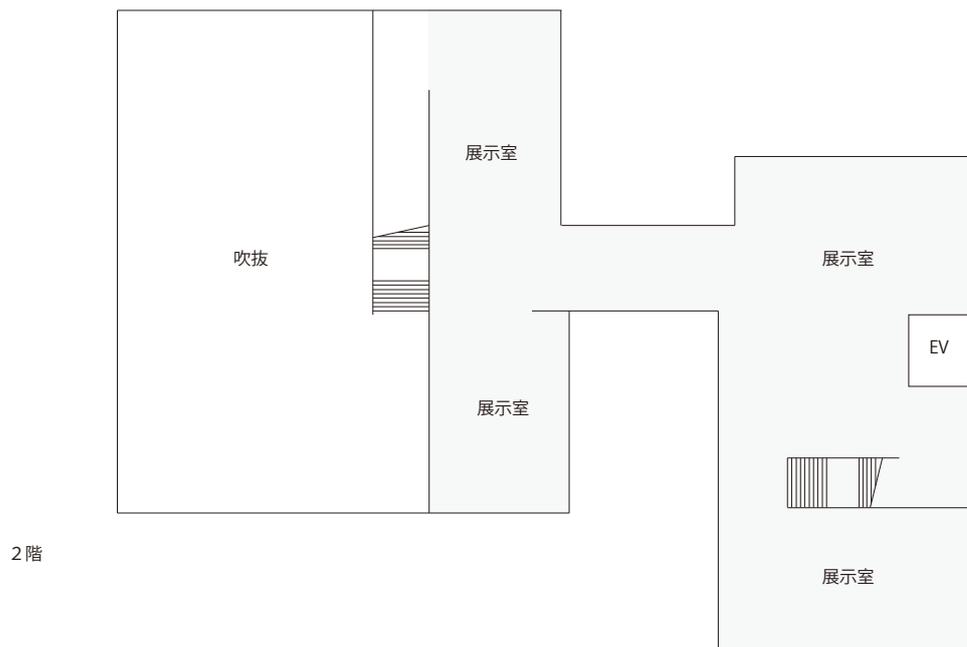
| | 構造 | 敷地面積 | 建築面積 | 延べ床面積 | 施設概要 |
|----------|----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---|
| 蘭島閣美術館別館 | 木造瓦葺 1階建 | 592.12 m ² | 291.51 m ² | 368.44 m ² | 展示面積 148.22 m ² / 展示壁長 58.60 m |



1階

□三之瀬御本陣芸術文化館

| | 構造 | 敷地面積 | 建築面積 | 延べ床面積 | 施設概要 |
|-------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|---|
| 三之瀬御本陣芸術文化館 | 鉄筋2階建 (一部地下) | 852.77 m ² | 533.97 m ² | 1,064.95 m ² | 展示面積 401.80 m ² / 展示壁長 96.90 m |

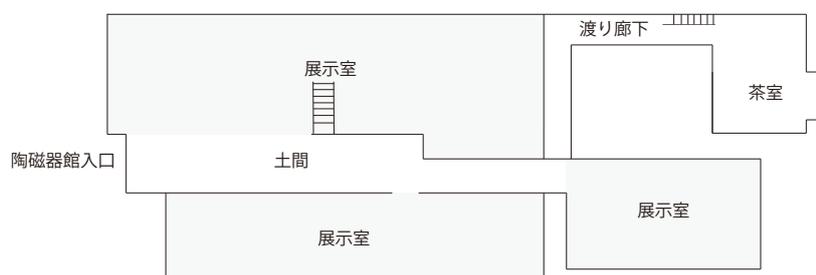


□松濤園 陶磁器館

| | 構造 | 敷地面積 | 建築面積 | 延べ床面積 | 施設概要 |
|-------------|----------------------|------------------------------------|-----------------------|-----------------------|------|
| 陶磁器館 (旧木上邸) | 木造瓦葺 2階建 茶室茅葺 2階建 | 4,376.35 m ² (松濤園全体) | 153.28 m ² | 233.04 m ² | — |



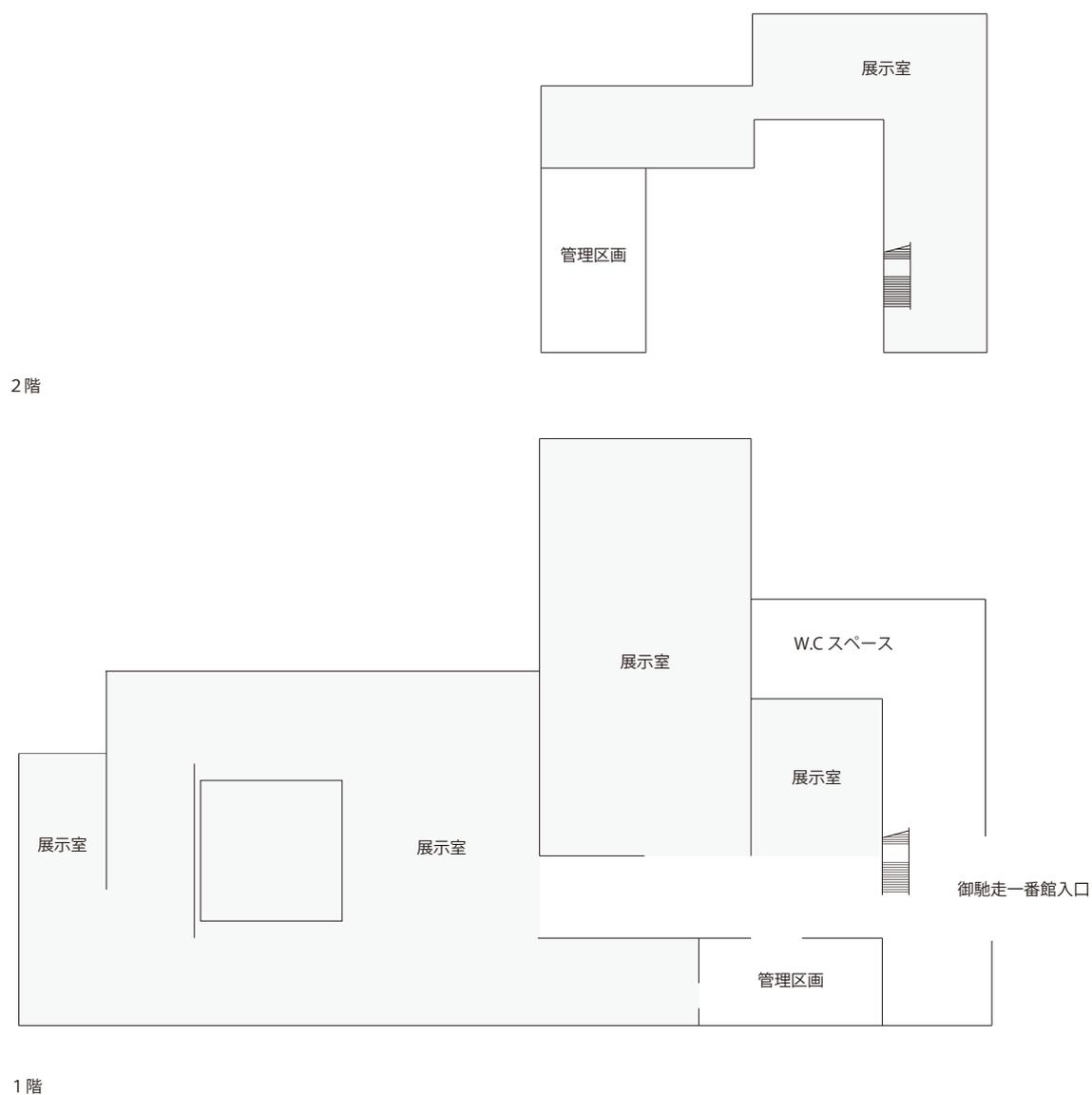
2階



1階

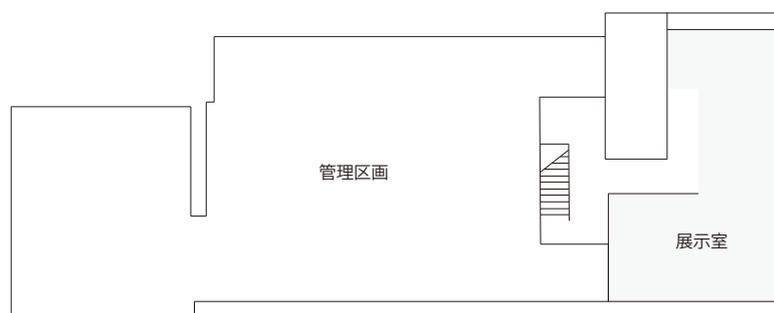
□松濤園 御馳走一番館（朝鮮通信使資料館）

| | 構造 | 敷地面積 | 建築面積 | 延べ床面積 | 施設概要 |
|--------------|-------------|------------------------------------|-----------------------|-----------------------|------|
| 御馳走一番館（旧有川邸） | 木造板葺及び瓦葺2階建 | 4,376.35 m ² (松濤園全体) | 521.91 m ² | 576.57 m ² | — |

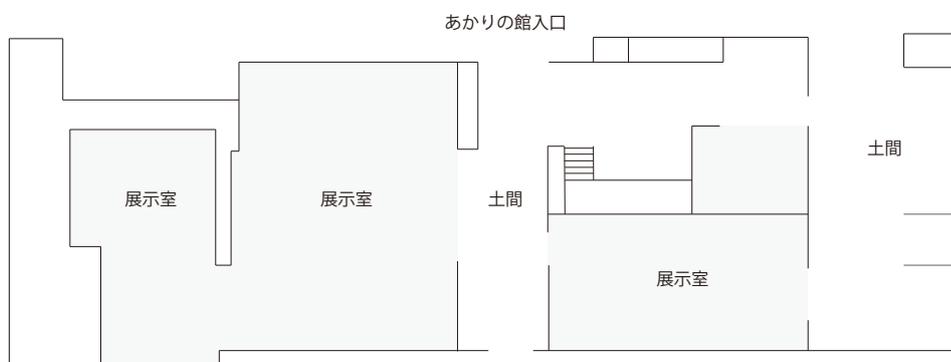


□松濤園 あかりの館

| | 構造 | 敷地面積 | 建築面積 | 延べ床面積 | 施設概要 |
|--------------|-----------|------------------------------------|-----------------------|-----------------------|------|
| あかりの館 (旧吉田邸) | 木造本瓦葺 2階建 | 4,376.35 m ² (松濤園全体) | 294.22 m ² | 464.96 m ² | — |



2階



1階

□松濤園 蒲刈島御番所

| | 構造 | 敷地面積 | 建築面積 | 延べ床面積 | 施設概要 |
|--------|-------|------------------------------------|----------------------|----------------------|------|
| 蒲刈島御番所 | 木造平屋建 | 4,376.35 m ² (松濤園全体) | 67.65 m ² | 67.65 m ² | — |



1階

* 指定管理する施設のうち、白雪楼、昆虫の家「頑愚庵」、春蘭荘、松籟亭及び煎茶室は除く。

* 公開スペースの図は、展示区画の見取り図として作成。収蔵庫、空調設備などを含む管理区画は除く。

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

インターネットでの資料公開 ・ 102-103p

資料貸出 ・ ・ ・ ・ ・ 104p

画像提供 ・ ・ ・ ・ ・ 105p

資料閲覧 ・ ・ ・ ・ ・ 106p

インターネットでの資料公開

□インターネットでの資料公開

2021（令和3）年度の展示公開事業にあわせて展覧会情報を掲載し、主要資料をホームページで公開した。

（更新順）

| 展覧会名 | 作者 | 資料名 | 掲載期間 |
|--|----------|--------------------------------------|----------------------|
| 松清園陶磁器館所蔵品展Ⅰ 初期伊万里ー日本磁器のはじまりー | ー | 染付山水文大皿 | 2021.4.7～2021.6.29 |
| | ー | 染付福字花瓶 | |
| 松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅰ 文人交流と通信使 | 菊斎 | 書 | 2021.4.7～2021.6.29 |
| | ー | 朝鮮通信使行列図絵巻 | |
| 蘭島閣美術館所蔵品展Ⅰ 描かれた美しい花々 | 那波多目功一 | 春の宵 | 2021.4.14～2021.6.15 |
| | 中島千波 | 清風枝垂櫻 | |
| 三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅰ 須田国太郎が見つめた世界ー留学から晩年までー | 須田国太郎 | 紅薔薇 | 2021.4.21～2021.6.22 |
| | | 風景 | |
| | | 裸婦 | |
| 蘭島閣美術館別館所蔵品展Ⅰ 寺内萬治郎の歩み（2） | 寺内萬治郎 | 裸婦 | 2021.5.12～2021.6.29 |
| 蘭島閣美術館所蔵品展Ⅱ 開館30周年記念 名画をたずねて 前期 | 横山大観 | 神洲乃正気 | 2021.6.16～2021.8.10 |
| | | 神国日本 | |
| | 小林古徑 | 紅梅 | |
| | 橋本明治 | 麗 | |
| | 岸田劉生 | 童女図（麗子像） | |
| 三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅱ 色の力 須田国太郎&フォービズムの画家たち あざやかな錦絵の世界 | 里見勝蔵 | 裸婦 | 2021.6.23～2021.8.24 |
| | 三岸好太郎 | 貝殻 | |
| | 須田国太郎 | 夏雲 | |
| | 歌川広重 | 江戸名所五性 両国乃花火 | |
| | 歌川豊国（三代） | 今様押絵鏡初代可原崎権十郎の桃井若狭之助 | |
| 松清園陶磁器館所蔵品展Ⅱ 独創の意匠 国産初期色絵 | ー | 色絵菊松文大皿 | 2021.6.30～2021.9.7 |
| | ー | 色絵山水丸文折紙形小皿 | |
| 松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅱ 誠信外交ー通信使と国際交流ー | 崔北 | 山水図 | 2021.6.30～2021.9.7 |
| 蘭島閣美術館別館所蔵品展Ⅱ 所蔵品への視点シリーズ・3 版画の魅力 | 朝井清 | 奈良の六角堂 | 2021.6.30～2021.9.28 |
| 蘭島閣美術館所蔵品展Ⅲ 開館30周年記念 名画をたずねて 後期 | 下田義寛 | 風渡る | 2021.8.11～2021.10.5 |
| | 橋本閑雪 | ふくろう | |
| | 山口華楊 | 虎児 | |
| | 竹内栖鳳 | 雙鶏 | |
| | 田淵俊夫 | 歴 | |
| | 野田弘志 | THE3 | |
| 三之瀬御本陣芸術文化館特別展 須田国太郎 in Spain (会場：三之瀬御本陣芸術文化館) | 須田国太郎 | アーヴィラ（所蔵：京都国立近代美術館） | 2021.8.20～2021.11.29 |
| | | パレマ・イル・ヴェッキオ作《農民礼拝》模写 (所蔵：京都市美術館) | |
| | | 修理師（所蔵：京都国立近代美術館） | |
| | | ティントレット作《耶穌洗礼図》模写 (所蔵：京都国立近代美術館) | |
| 松清園陶磁器館所蔵品展Ⅲ 古伊万里ー磁器誕生から150年の変遷ー | ー | 染付山水文大皿 | 2021.9.8～2021.11.24 |
| | ー | 染付花盆唐草文手付水注 | |
| 松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅲ 海上パレード！朝鮮通信使と海 | ー | 朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図 | 2021.9.8～2021.11.24 |
| | ー | 朝鮮通信使船大坂河口之図 | |
| 蘭島閣美術館別館所蔵品展Ⅲ 所蔵品への視点シリーズ・4 表紙絵・挿絵の世界 | 寺内萬治郎 | 赤い櫻ンぼ | 2021.9.29～2022.1.11 |
| 蘭島閣美術館開館30周年記念特別展 にゃんこいろいろ浮世絵づくし (会場：蘭島閣美術館) | 溪斎英泉 | 美人と猫図（所蔵：平野美術館） | 2021.9.20～2021.11.29 |
| | 高橋松亭 | 白猫（所蔵：平野美術館） | |
| | 歌川国芳 | 荷宝蔵壁のむだ書き（所蔵：平野美術館） | |
| | 歌川芳藤 | 五拾三次之内猫之徑（所蔵：平野美術館） | |
| 松清園陶磁器館所蔵品展Ⅳ 色彩の華 柿右衛門と伊万里金襷手 | ー | 色絵牡丹寿字文皿 | 2021.11.25～2022.1.25 |
| 松清園御馳走一番館所蔵品展Ⅳ むかえる！もてなす！通信使と日本文化 | ー | 朝鮮通信使行列図絵巻（部分） | 2021.11.25～2022.1.25 |

| | | | |
|-------------------------------------|-------|----------|----------------------|
| 三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅲ 旅する画家たち | 小林和作 | 尾道風景 | 2021.11.30～2022.2.15 |
| | 須田国太郎 | モヘンテ | |
| | 菅野圭介 | 葉山あぶずり海岸 | |
| 蘭島閣美術館所蔵品展Ⅳ 海をみつめて一画家を魅了した景色一 | 中沢弘光 | 海岸風景 | 2021.11.30～2022.2.8 |
| | 新延輝雄 | 蜜柑の瀬戸 | |
| | 山口華楊 | 虎児 | |
| 蘭島閣美術館別館所蔵品展Ⅳ 寺内萬治郎と森清治郎 | 寺内萬治郎 | 赤いオーバーの女 | 2022.1.12～2022.4.5 |
| 松濤園陶磁器館所蔵品展Ⅴ 伊万里焼にみる江戸の食文化 | — | 色絵丸文瓢形小皿 | 2022.1.26～2022.4.12 |
| | — | 色絵桜文折紙形皿 | |
| 松濤園御馳走一番館所蔵品展Ⅴ 柳川一件と馬上才 | — | 宝永華洛細見図 | 2022.1.26～2022.4.12 |
| | — | 馬上才図屏風 | |
| 蘭島閣美術館所蔵品展Ⅴ 和のかたち | 森寛斎 | 春秋図 | 2022.2.9～2022.4.19 |
| | 川合玉堂 | 松山遠嶺 | |
| 三之瀬御本陣芸術文化館所蔵品展Ⅳ 鳥・とりどりー描かれた鳥たちー | 須田国太郎 | 溪流の鷺 | 2022.2.16～2022.4.26 |
| | 安井曾太郎 | 雉子 | |
| | 今井真正 | 朱雀香爐 | |

資料貸出

□資料貸出

博物館・美術館、教育機関などからの申請に基づき、他館の展示公開事業に資料を貸出した。

(敬称略)

| | 作者 | 資料名 | 会場 | 展覧会名 | 展覧会会期 |
|---|-------|------|--------|--------------|----------------|
| 1 | 其阿弥赫土 | 冠鶴 | 呉市立美術館 | 特別展 追悼 其阿弥赫土 | 2021.9.18～11.7 |
| | | 飛翔 | | | |
| | | 流れ | | | |
| | | 山上集落 | | | |
| | | 塔 | | | |

画像提供

□美術資料 (敬称略)

| | 利用者 | 目的 | 作者 | 資料名 | 許可日 |
|------|----------------|------------------------------|-------|---------|-----------|
| 1 | 呉市立美術館 | 広報媒体、展示装飾での利用 展覧会図録へ掲載のため | 其阿弥赫土 | 飛翔 | 2021.7.15 |
| | | | | 流れ | |
| | | | | 冠鶴 | |
| | | | | 山上集落 | |
| | | | | 塔 | |
| 2 | 株式会社便利堂 | ポストカード制作のため | 山口華楊 | 虎児 | 2021.8.2 |
| 3 | 杉並戦略的アートプロジェクト | 運営サイトへ掲載のため | 棟方志功 | 文殊菩薩の柵 | 2021.9.30 |
| | | | | 羅睺羅の柵 | |
| | | | | 魔訶迦葉の柵 | |
| | | | | 富楼那の柵 | |
| | | | | 迦旃延の柵 | |
| | | | | 阿那律の柵 | |
| | | | | 舍利弗の柵 | |
| | | | | 優婆離の柵 | |
| | | | | 須菩提の柵 | |
| | | | | 目犍連の柵 | |
| | | | | 阿難陀の柵 | |
| | | | | 普賢菩薩の柵 | |
| | | | | 4 | |
| 山 銀斧 | | | | | |
| 5 | 市川市東山魁夷記念美術館 | 書籍、図版へ図録掲載のため | 東山魁夷 | 戦時下の乙女 | 2021.11.5 |
| 6 | 株式会社三晃社 広島支社 | 委託編集サイトへ掲載のため | 横山大観 | 神国日本 | 2022.2.7 |
| | | | 南薫造 | 串山のみかん畑 | |
| | | | 小林古径 | 紅梅 | |

□歴史資料、陶磁器ほか (敬称略)

| | 利用者 | 目的 | 作者 | 資料名 | 許可日 |
|---|-----------------|--|----|--|------------|
| 1 | 福山オート観光 | ツアーの募集チラシへの画像掲載 | — | 松清園全景、陶磁器館外観、御馳走 一番館外観、七五三膳展示風景、 本陣模型 | 2021.4.8 |
| 2 | 財団法人釜山文化財団 | 子ども向け出版物制作(ぬり絵)のため | — | 朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図 | 2021.6.10 |
| 3 | 対馬市(対馬朝鮮通信使歴史館) | ユネスコ「世界の記憶」検索コンテンツへの 掲載、ガイドダンス映像への掲載のため | — | 朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図 | 2021.8.2 |
| 4 | 長谷川俊夫 | 利用者の私設HPへ掲載のため(リンク) | — | あかりの館 ホームページ | 2021.8.27 |
| 5 | 株式会社アーテファクトリー | 教科書副読本へ図版掲載のため | — | 朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図 | 2021.12.23 |
| 6 | 株式会社テイクオーバー | 小学校教科書、及び電子教科書への 図版掲載のため | — | 朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図 | 2021.12.23 |
| 7 | 読売新聞東京本社文化部 | 新聞記事執筆のため | — | 朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図、朝 鮮通信使再現行列の写真、正徳度蒲刈 島馳走所絵図、福島雁木、本陣模型、 三ノ瀬朝鮮通信使宿館跡、三汁十五菜 膳、朝鮮通信使船模型、松清園入口 | 2021.7.25 |

資料閲覧

□資料閲覧

調査研究を目的とした博物館・美術館、教育機関などからの申請に基づき資料を閲覧に供した。

(敬称略)

| | 調査者 | 目的 | 作者 | 資料名 | 閲覧日 |
|---|---------------------------|------------|--------------|------------|-----------|
| 1 | 原田平作 (きょうと視覚文化振興財団理事長) | 展覧会企画調査のため | 須田国太郎・絵画関連資料 | 滞欧写真 194 枚 | 2022.2.25 |

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

| | |
|--------|-----------|
| 普及事業 | 108p-112p |
| 市民サービス | 113p-114p |
| 財団事業 | 115p-117p |

ギャラリートーク・講演会・ワークショップ・関連イベント

市民の美術教養の向上と教育普及を目的とし、普及事業としてギャラリートーク、講演会を開催した。また、創作活動の推進を図るためワークショップを開催した。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染拡大の状況などを見て事業開催の可否を判断し、感染拡大防止の措置を講じて各種普及事業をおこなった。

2021（令和3）年8月27日（金）から9月30日（木）、2022（令和4）年1月9日（日）から2月20日（日）までは、広島県にまん延防止等重点措置が適用されたことにより臨時休館し、予定していたすべての事業を中止した。以下、開催した普及事業を記す。

■蘭島閣美術館

蘭島閣美術館 ギャラリートーク

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は対面式のギャラリートークをおこなわなかった。）

蘭島閣美術館 講演会

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度予定していた講演会、スペシャルトークなどの開催を中止した。）

蘭島閣美術館 ワークショップ・関連イベント

●所蔵品展「描かれた美しい花々」

「おはながみで牡丹をつくろう」

2021（令和3）年4月24日（土）、4月25日（日）、5月8日（土）、5月9日（日）、6月5日（土）、6月6日（日）

開催日数：6日

参加者：29人

（内容）

本展の展示作品の中で多数モチーフとして描かれていた牡丹を、イベント参加者にはおはながみを使用し作成してもらった。おはながみの色の組み合わせ次第で、色の濃淡を楽しめ参加者それぞれがオリジナルの牡丹の花を制作できるように工夫した。幅広い世代が参加したイベントとなった。参加者からは、子どもたちが楽しそうで、できたときの達成感もあり楽しいイベントでしたと感想をいただいた。

●開館30周年特別展「にゃんこいろいろ浮世絵づくし」

「30th Birthday 特別無料開放」

2021（令和3）年11月3日（水・祝）

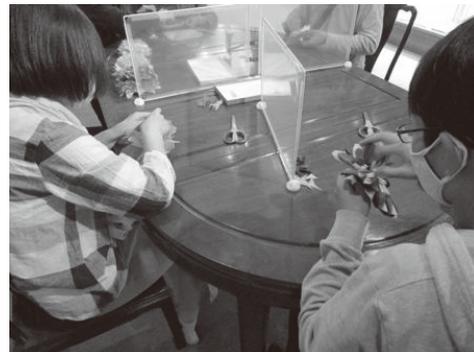
開催日数：1日

参加者：253名

場所：蘭島閣美術館

（内容）

開館30周年を記念し11月3日（水・祝）を入館無料とし開放した。開催日には呉市公式キャラクター呉氏がお祝いに駆けつけてくれ、来館者と写真をとるなどふれあいの時間を設けることができた。



[白雪楼でおもてなし]

2021（令和3）年11月4日（木）、11月5日（金）

開催日数：2日

参加者：7名（11月4日）10名（11月5日）

場所：蘭島閣美術館・白雪楼

(内容)

蘭島閣美術館開館 30 周年をお茶席でお祝いするイベントを開催した。特別展を有料で鑑賞した方限定で白雪楼の整理券を配布。展覧会鑑賞後のひとときを白雪楼で楽しんでもらうために企画した。参加者からはゆっくりと過ごすことができた感想をいただいた。

ワークショップⅠ[マルシェバックにネコを描こう]

2021（令和3）年11月6日（土）

午後1時30分から午後3時

開催日数：1日

参加者：6名

場所：下蒲刈市民センター

(内容)

講師におりでちせ氏（イラストレーター）を迎え、ワークショップを開催した。特別展出品作品からネコの図案をピックアップし、参加者に好きなネコをバックに写し取ってもらい、世界に一つだけのマルシェバックを制作した。絵具は、アクリル絵具の赤、黄、青、白、黒を用意した。小学生の参加者からは茶色の作り方を講師に質問する姿も見られた。幅広い世代が参加したイベントとなり、久しぶりに絵具にふれることができて楽しかったなど感想をいただいた。

**ワークショップⅡ[らんを魅せるアレンジメント]**

2021（令和3）年11月7日（日）

午後1時30分から午後2時30分

開催日数：1日

参加者：4名

場所：白雪楼

(内容)

講師に丸岡正青氏（フラワーデザイナー）を迎え、当館の館名にある蘭の花を使用したフラワーアレンジメントを白雪楼で制作するワークショップを開催した。江戸時代後期の茶室である白雪楼には、床の間や廊下など古い建物ならではの雰囲気に魅力があり、好きな場所に参加者が作成したフラワーアレンジメントを置いて撮影することができた。参加者からは今まで見たことのない蘭をたくさん使ったアレンジメント制作に驚きと楽しさで感激したと感想をいただいた。

**●所蔵品展Ⅳ「海をみつめて—画家を魅了した景色」****[1月2日限定ポストカードプレゼント]**

2022（令和4）年1月2日（日）

開催日数：1日

参加者：28人

(内容)

2022（令和4）年の干支にちなんで、佐野繁次郎「とら」のポストカードを来館者にプレゼントした。新しい年の最初の開館日にお越しの来館者への記念品贈呈のイベントとして開催した。開館初日ということで幅広い世代が来館しにぎわった。

■三之瀬御本陣芸術文化館

三之瀬御本陣芸術文化館 ギャラリートーク

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度はギャラリートークをおこなわなかった。)

三之瀬御本陣芸術文化館 講演会

●特別展「須田国太郎 in Spain」
[美術史家・原田平作氏による作品解説]

2021 (令和3) 年 10 月 17 日 (日)
午後 1 時 30 分から

開催日数：1 日

参加者：27 名

場所：三之瀬御本陣芸術文化館

(内容)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い展覧会会期を変更したため、8 月 28 日に予定していた作品解説の日程も変更して実施。

講演会の後に、会場を回りながら作品解説をおこなった。講演会では、須田国太郎のスペイン留学時の背景として、19 世紀から 20 世紀のヨーロッパの美術動向と特徴を解説し、留学によるその後の影響など、美術史と合わせて原田氏の見解をお話しいただいた。

作品解説では、お客様の質疑応答にも、その都度お答えいただき、参加者の皆様に充実した鑑賞をしていただくことができた。

三之瀬御本陣芸術文化館 ワークショップ・関連イベント

●所蔵品展Ⅱ「色の力 須田国太郎 & フォービズムの画家たち／あざやかな錦絵の世界」
[コマで色の不思議体験！]

2021 (令和3) 年 7 月 11 日 (日)
午前 10 時から午後 2 時まで

開催日数：1 日

参加者：6 名

場所：三之瀬御本陣芸術文化館

(内容)

ひな形から好きなデザインを選んで、カラーペンで好きな色を塗り、コマを作って遊ぶワークショップ。会場には、コマを回すエリアも設け、自分で塗った色や形を回すとどのように変化するかを遊びながら体験した。



●特別展「須田国太郎 in Spain」
ワークショップ [油絵でぬりぬり]

特別展会期中〈2021（令和3）年10月1日（金）から11月29日（月）〉の毎週日曜日
（ただし、ほかのイベントのため10月3日と17日を除く）
午前10時から午後2時まで

開催日数：7日
参加者：49名
場所：三之瀬御本陣芸術文化館

（内容）

キャンバスに描かれている柄の好きなところを油絵具で塗り絵のように塗るワークショップ。
扱いが少し特殊な油絵は、自宅できざ描こうとしたとき、道具を調べ、揃えることから始めなくてはならない。一般的に気軽に身近とはいえない画材である。本イベントでは、須田国太郎が材料研究に勤しんだ油絵具に触れ、気軽に体験してもらうことで、油絵の魅力や楽しさを知ってもらうことを目的とした。

初めての方でも、「ちょっと塗ってみてもいい？」と興味を抱いてもらえるように、子供から大人まで参加できる簡単なものを考案。紙を使用する水彩絵の具と違い、キャンバスに描く感覚や、油絵具の粘りのある感じ、水ではなく油で溶くことなど、初歩を体験し、おもにこれまで油絵具に触れたことがない方に多く参加いただけた。一枚の絵を少しずつ、皆が塗り、時間をかけて白から色鮮やかな画面になっていった。



●特別展「須田国太郎 in Spain」
公開ビデオ撮影 [須田寛氏「父の思い出」を語る]

日時：2021（令和3）年10月3日（日）
午前11時から

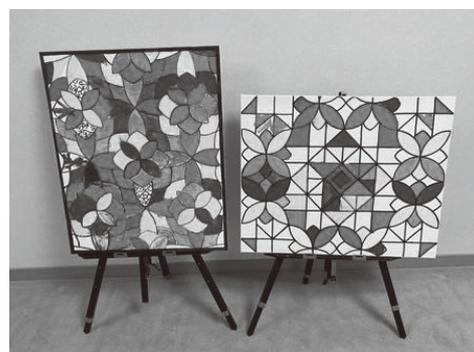
開催日数：1日
参加者：8名
場所：三之瀬御本陣芸術文化館

（内容）

当初、本展開会式において、「父の思い出」と題してお話いただく予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い開会式が中止となったため、別日の10月3日に本展の出品作品、須田国太郎「モヘンテ」の前で、公開ビデオ収録という形でお話いただいた。

父・須田国太郎の人柄と描くことへの姿勢や、須田国太郎とスペインについて、また、写生で瀬戸内地方を一緒に随行して回った思い出などを約30分にわたって語っていただいた。

この収録は、編集をおこない、10月10日から閉幕までの会期中、放映して多くの方に聞いていただいた。



■松濤園

松濤園 ギャラリートーク

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度はギャラリートークをおこなわなかった。)

松濤園 ワークショップ・関連イベント

●所蔵品展Ⅲ「海上パレード！朝鮮通信使と海」

ワークショップ [韓国伝統飾り結び「メドゥプ」を使ったブレスレット作り]

2021 (令和3) 年10月9日 (土)・10月10日 (日)・10月23日 (土)・10月24日 (日)

開催日数：4日

参加者：1人

場所：松濤園 御馳走一番館内座敷

(内容)

メドゥプのメファ(梅の花)という結びを応用して、ブレスレットを作成した。紐はゴムを使用するため髪飾りとしても使える。対象は松濤園来館者。韓国伝統の飾り結び「メドゥプ」を使っのブレスレットを作るとともに、「メドゥプ」を通して韓国の歴史や文化への理解を深めるために実施した。



秋の茶会・梅見茶会

松濤園 秋の茶会

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は対面式の茶会の企画立案を取り止め開催を見送った。)

松濤園 梅見茶会

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は対面式の茶会の企画立案を取り止め開催を見送った。)

島の美術館ピアノ

蘭島閣美術館別館に設置されているグランドピアノを活用し、来場者にピアノ演奏を楽しむ環境を提供した。歴史を刻む1957（昭和32）年製のスタインウェイ社のグランドピアノを開放し、作品鑑賞とともに誰でも気軽にピアノの音色を楽しみ、ゆとりのある時間を美術館で体験できるよう配慮した。

会期 2021（令和3）年5月15日（土）から2022（令和4）年3月26日（日）
の期間中の土・日のべ計68日
*2021（令和3）年8月27日（金）から9月30日（木）、2022（令和4）年1月9日（日）から2月20日（日）まで、緊急事態宣言及び広島県にまん延防止等重点措置が適用されたことに伴い臨時休館した期間中を除く。

午前9時から午後4時（演奏終了時間）
午前9時から1時間1枠で予約／利用

場所 蘭島閣美術館別館

参加者 96名
参加費 無料

（目的）

下蒲刈島に寄贈されたグランドピアノを活用し、来館者に気軽に本格的なピアノに触れる機会を提供するもの。小規模な別館の特長を活かし、館内備品を有効に活用しながらお客様に美術館に親しんでもらうことを目指す。

（内容）

事前予約者を優先し、それ以外の時間は当日申し込みもできるようにした。ピアノ演奏希望者にはピアノ利用の注意点を説明後、1人1時間の利用時間でピアノを提供した。

おもな関連記事、番組など

○「市政だよりくれ」4月号、呉市 ○「市政だよりくれ」2023年3月号、呉市 ○「ART」『くれえばん』2023年1月号、株式会社SAメディアラボ



朝鮮通信使再現行列・昆虫教室・海岸教室・昆虫イラスト展

朝鮮通信使再現行列

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は朝鮮通信使再現行列の企画立案を取り止め開催を見送った。)

ふれあい昆虫教室

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度はふれあい昆虫教室の企画立案を取り止め開催を見送った。)

ふれあい海岸教室

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度はふれあい海岸教室の企画立案を取り止め開催を見送った。)

昆虫イラスト展

(※ふれあい昆虫教室の代替事業として実施。)

「昆虫の観察を通して、生命の尊さと自然を大切にしようという気持ちを育てる」という趣旨のもと、幼児と小学生を対象に虫を題材とした自由なイラストを募集し、昆虫の家で展示した。

募集期間 2021(令和3)年7月上旬から8月8日(日)

展示期間 2021(令和3)年8月13日(金)から10月31日(日)

※当初は、9月30日までの展示を予定していたが、8月27日～9月30日の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となったため、期間を延長して展示をおこなった。

会場 昆虫の家

参加者 応募：365枚/入館者：349名

おもな関連記事、番組など

○「虫への愛着息づく363点」中国新聞、2021(令和3)年8月21日
○「昆虫イラスト展を延長」中国新聞、2021(令和3)年10月9日
○「安芸灘だより」8月号
○『くれえばん』8月号、株式会社SAメディアアラボ

印刷物

●ポスター B2判 6部

●チラシ(応募用紙) A4判(両面刷り) 2,000部

内容

幼児から小学6年生までを対象に、A4縦の用紙に1人1枚限り、昆虫を題材としたイラストの募集をおこなった。個人や学校単位で取り組んだ作品が365点寄せられ、すべてのイラストを展示した。

昆虫標本と同じ展示室内に、子どもたちのイラストを展示し、個性あふれる多彩なイラストと、実物との比較も楽しんでもらえるよう配置した。

小学6年生までのお子様向け

昆虫イラスト大募集

◆展示期間：8月13日(金)～9月30日(木)
※火曜日は休館日となります。

◆展示会場：昆虫の家 (広島県呉市下蒲刈町下島2364-3)
※作品の高さ等の制限と取りますのでご注意ください。
※参加費は0円(小学生以下) (観覧料は100円/1名)

◆応募資格：小学6年生までの方 (一人1人1枚限り)。

◆応募方法：昆虫を題材にしたイラストと、応募用紙をご記入の上、下記応募先に持参もしくは、郵送してください。
※毎月用紙は別途配布となります(応募要領参照)。(A4サイズ縦向き)。
※裏面に作品と作品タイトル、お名前をお書きください。
※裏面に応募用紙を貼る必要はありません(応募要領参照)。
※応募用紙はホームページからダウンロードできます。

◆応募先：〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島2277-3
松とう園「昆虫イラスト募集」係

応募作品をご返却する時に、参加費をお返しします。

※応募作品は展示期間終了後、郵送戻りさせていただきます。住所不明などの理由で返送が難しく、作品の返却ができなかった場合、作品の保管期間は終了後2か月までとし、以降は廃棄させていただきますので予めご了承ください。
※展示スペースが限られております。選定を認めなかった場合、展示期間中での作品入替をさせていただきます。その際、予めなく作品を撤去していただく場合があります。より多くの作品を展示するための措置としてご了承ください。
※応募用紙に宛る個人情報の取り扱いについては十分留意いたします。ご本人様の連絡先に使用させていただきます。
※ご応募いただいた作品は、広幅物やH24×N55×D5mm程度に撮影させていただきます。ご了承ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により、展示期間中での変更または中止となる場合があります。ご参加の際は、最新情報をホームページにてご確認ください。お電話にてお問い合わせください。

お問い合わせ：松とう園 TEL. 0823-65-2900 URL <http://www.shimokamagar.jp/>



ギャラリーコンサート

蘭島閣美術館の1階ロビーを利用し、美術と音楽の調和によってもたらされる芸術の楽しさと奥深さを享受してもらうために、クラシックを中心とするコンサートを開催した。2001（平成13）年1月から毎月第3土曜日に実施しているもので、2021（令和3）年10月で250回を数えた。誰でも気軽に参加できるように入場料を抑え、かつ子どもたちの来場を促すために高校生以下は無料としている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から6月、8月から9月、2022（令和4）年1月から2月までは中止となり、7月と、10月から12月までは、会場と時間を変更して実施した。

また関連イベントでは、音楽関係者による講演会やワークショップは中止となり、地元の学校でのミニコンサートは感染予防対策をしたうえで実施した。

*詳しくは別表「2021（令和3）年度ギャラリーコンサート一覧」の通り

会場 4月～6月：（中止）
7月：新日本造機ホール（呉市役所庁舎内）
8月～9月：（中止）
10月～12月：新日本造機ホール（呉市役所庁舎内）
1月～2月：（中止）
3月：蘭島閣美術館

実施日 毎月1回（年間5回／4月～6月、8月～9月、1月～2月は中止となったため）

実施時間 7月～2月：午後6時から午後7時30分
3月：午後6時30分から午後8時

入場料 1,500円（大人1名1回分／高校生以下は無料）

主催 呉市／公益財団法人蘭島文化振興財団

関連行事

*詳しくは別表「2021（令和3）年度ギャラリーコンサート関連行事」の通り

●ミニコンサート

ギャラリーコンサート出演者の協力を得て、蒲刈中学校に出向いての「ミニコンサート」を実施し、子どもたちに対して音楽に親しむ機会を提供した。

会場 呉市立蒲刈中学校体育館

実施日時 11月19日（金）午後2時45分から午後3時15分

入場料 無料

出演 レオナルド・ブラーボ（ギター）

参加者 呉市立蒲刈中学校、呉市立蒲刈小学校の生徒71名

●コンサート講演会【中止】

音楽への理解を深めてもらうことを目的に、ギャラリーコンサート開演前の時間を利用して、クラシックに関する講演会を開催予定だったが、中止となった。

●ミュージック&アーツ【中止】

ギャラリーコンサート出演者の協力を得て、子どもたちを対象に、音楽を聴いて絵画を描くイベントを開催予定だったが、中止となった。

印刷物（年間）（全て財団内のプリンターで印刷）

●ポスターA1判 5部

●ポスターA4判 10部

●広報用プログラム（両面印刷）1,800部



□2021（令和3）年度ギャラリーコンサート一覧

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった開催月及び予定していた出演者等内容も下記一覧表に記す。

| 開催月 | 公演名 | 出演者 | 開催日時 | 入場者数 |
|-----|------------------------------------|-------------------------------|---|------|
| 4月 | 第244回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート 【中止】 | 金子平（クラリネット）、黒田映李（ピアノ） 【中止】 | 2021（令和3）年4月17日（土） 午後4時から午後5時【中止】 | — |
| 5月 | 第245回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート 【中止】 | 加藤昌則（ピアノ） 【中止】 | 2021（令和3）年5月15日（土） 午後4時から午後5時【中止】 | — |
| 6月 | 第246回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート 【中止】 | 店村真積（ヴィオラ）、練木繁夫（ピアノ） 【中止】 | 2021（令和3）年6月5日（土） 午後4時から午後5時30分【中止】 | — |
| 7月 | 第247回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート | 大谷康子（バイオリン）、富永愛子（ピアノ） | 2021（令和3）年7月16日（金） 午後6時から午後7時30分 | 146人 |
| 8月 | 第248回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート 【中止】 | 小森邦彦（マリンバ）、岡本麻子（ピアノ） 【中止】 | 2021（令和3）年8月21日（土） 午後4時から午後5時30分【中止】 | — |
| 9月 | 第249回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート 【中止】 | 吉野直子（ハープ） 【中止】 | 2021（令和3）年9月20日（月・祝） 午後2時から午後3時30分【中止】 | — |
| 10月 | 第250回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート | 山下洋輔（ジャズピアノ） | 2021（令和3）年10月15日（金） 午後6時から午後7時30分 | 206人 |
| 11月 | 第251回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート | レオナルド・ブラーボ（ギター） | 2021（令和3）年11月18日（木） 午後6時から午後7時30分 | 106人 |
| 12月 | 第252回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート | 仲道郁代（ピアノ） | 2021（令和3）年12月17日（金） 午後6時から午後7時30分 | 155人 |
| 1月 | 第253回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート 【中止】 | 正戸里佳（バイオリン）、岡田将（ピアノ） 【中止】 | 2022（令和4）年1月24日（月） 午後6時から午後7時30分【中止】 | — |
| 2月 | 第254回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート 【中止】 | 石岡久乃（ピアノ）、安宅薫（ピアノ） 【中止】 | 2022（令和4）年2月6日（日） 午後6時から午後7時30分【中止】 | — |
| 3月 | 第255回～夢のかけはし～蘭島閣ギャラリーコンサート | 小山実稚恵（ピアノ） | 2022（令和4）年3月19日（土） 午後6時30分から午後8時 | 100人 |

□2021（令和3）年度ギャラリーコンサート関連行事 ミニコンサート（会場：呉市立蒲刈中学校体育館）

| 開催月 | 公演名 | 出演者 | 開催日時 | 入場者数 |
|-----|------------------|-----------------|---|------|
| 11月 | 子どもたちのためのミニコンサート | レオナルド・ブラーボ（ギター） | 2021（令和3）年11月19日（金） 午後2時45分から午後3時15分 | 71人 |

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度 年報

令和 3 年度

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

| | |
|----------|----------|
| 収集・保存・整理 | 120-121p |
| 協力・広報 | 122p |
| 入館者数 | 123p |
| 関係法規 | 124-126p |

収集・保存・整理

□新収蔵資料

所蔵品に関連する資料で、寄贈、寄託の申請があった場合は、調査に基づき必要と認められた場合に収集をおこなっている。2021（令和3）年度は下記の通り寄贈資料を受領した。

凡例

本目録は、申請者ごとに、寄贈申請のあった資料の受入時の通し番号順に記載する。受入資料の分類は、受入時点での分類、種別とする。それぞれの資料については、下記の順にデータを記載する。該当データのない部分もある。該当データのない項目は順次繰り上げる。

| | |
|--------------------------------------|---|
| 番号 | 申請者ごとに、受け入れた際の通し番号 |
| 作者 | 日本語表記 |
| 生没年 | 西暦（和暦）年 |
| 資料名 | 原則として受入時の資料名を表記する 題名が英語の場合、そのまま表記する |
| 制作年 | 西暦（和暦）年 |
| 寸法 | 縦×横（平面）cm、高×幅×奥行き（立体）の順。 単位はcm。 その他、口径など各種寸法を必要に応じ表記。 |
| 材質・形状 | 日本語表記 |
| 署名・年記 | おもなものを示す |
| 受入年度（西暦）・受入種別（受入時点：所蔵品分類とは必ずしも一致しない） | |

*須田国太郎遺品の受入種別は、大きく美術系資料の分類とした。種別は、受入時の分類として、須田国太郎の遺品類（制作道具など）を絵画関連資料とした。その他、須田国太郎の作品、ゆかりのある作家の作品を所蔵品分類に基づき日本画、油彩画と記載した。

■寄贈 件名〔須田国太郎《能（小原御幸）》〕 寄贈申請者〔須田寛氏〕 受領日〔2021（令和3）年10月17日〕 寄附受納書 蘭文財第104号

No.1～43
須田国太郎
1891（明治24）年-1961（昭和36）年
能（小原御幸）
1942（昭和17）年
25.8×18.2（41枚）18.2×25.8（1枚）表裏表紙25.8×37.5（1枚）
鉛筆・紙
スケッチブック 42頁+表紙（外れた状態）
2021年度・素描

■寄贈 件名〔須田国太郎《鷺図（扇子）》他〕 寄贈申請者〔須田寛氏〕 受領日〔2021（令和3）年10月25日〕 寄附受納書 蘭文財第112号

| | |
|--|--|
| No.1 須田国太郎 1891（明治24）年-1961（昭和36）年 鷺図（扇子） 不詳 27.5×46.0 紙本墨画淡彩（扇子） 2021年度・絵画関連資料 | No.2 須田国太郎 1891（明治24）年-1961（昭和36）年 四角鉢 不詳 高8.3 口径13.5 底径10.0 陶器 2021年度・絵画関連資料 |
|--|--|

■寄贈 件名〔須田国太郎関連書籍・資料〕 寄贈申請者〔須田寛氏〕 受領日〔2021（令和3）年12月24日〕 寄附受納書 蘭文財第184号

No.1
須田国太郎関連書籍・資料 58種
書籍、冊子など
2021年度・絵画関連資料

■寄贈 件名〔須田国太郎関連資料 スクラップブック〕 寄贈申請者〔須田寛氏〕 受領日〔2021（令和3）年12月24日〕 寄附受納書 蘭文財第185号

No.1
須田国太郎
1891（明治24）年-1961（昭和36）年
須田国太郎関連資料 スクラップブック3冊
1934（昭和9）年-1961（昭和36）年頃
資料A：30.5×22.8×3.0 資料B、C：30.2×22.8×3.0
スクラップ用ファイルに新聞記事・写真ほか
2021年度・絵画関連資料

■寄贈 件名〔須田国太郎 銅版画〕 寄贈申請者〔須田寛氏〕 受領日〔2021（令和3）年12月24日〕 寄附受納書 蘭文財第186号

| | | |
|---|--|---|
| No.1 須田国太郎 1891（明治24）年-1961（昭和36）年 デロスのクローアのトルソ 1936（昭和11）年 20.5×16.4 紙・銅版画（エッチング） 2021年度・版画 | No.2 須田国太郎 1891（明治24）年-1961（昭和36）年 狗鷲 1936（昭和11）年頃 16.5×24.9 紙・銅版画（エッチング） 2021年度・版画 | No.3 須田国太郎 1891（明治24）年-1961（昭和36）年 鳳凰堂 1936（昭和11）年頃 16.5×24.9 紙・銅版画（エッチング・ドライポイント） 2021年度・版画 |
|---|--|---|

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>No.4 須田国太郎 1891 (明治 24) 年 -1961 (昭和 36) 年 グレコ・イペリヤの首 1937 (昭和 12) 年頃 16.5×24.9 紙・銅版画 (エッチング) 2021 年度・版画</p> | <p>No.5 須田国太郎 1891 (明治 24) 年 -1961 (昭和 36) 年 河内金剛山 1939 (昭和 14) 年頃 16.4×25.0 紙・銅版画 (エッチング) 2021 年度・版画</p> | <p>No.6 須田国太郎 1891 (明治 24) 年 -1961 (昭和 36) 年 横臥裸婦習作 1950 (昭和 25) 年 -1955 (昭和 30) 年頃 16.5×25.0 紙・銅版画 (エッチング) 2021 年度・版画</p> | <p>No.7 須田国太郎 1891 (明治 24) 年 -1961 (昭和 36) 年 九鬼風景 (尾鷲) 1955 (昭和 30) 年頃 16.7×25.0 紙・銅版画 (エッチング) 2021 年度・版画</p> |
|--|---|--|---|

■寄贈 件名 [須田国太郎 色紙絵ほか] 寄贈申請者 [須田寛氏] 受領日 [2021 (令和 3) 年 12 月 24 日] 寄附受納書 蘭文財第 187 号

| | | |
|---|---|---|
| <p>No.1 須田国太郎 1891 (明治 24) 年 -1961 (昭和 36) 年 鷺図 不詳 27.3×24.0 紙本墨画淡彩 2021 年度・日本画</p> | <p>No.2 パステル 31 色 (宮田重雄氏からの贈り物) 箱: 24.0×21.0×2.5 パステル 箱書き: 「須田国太郎様 宮田重雄」 2021 年度・絵画関連資料</p> | <p>No.3~16 須田国太郎 1891 (明治 24) 年 -1961 (昭和 36) 年 習字 (学生時) 1901 (明治 34) 年 -1909 (明治 42) 年頃 各 33.5×24.4 紙・墨 2021 年度・絵画関連資料</p> |
|---|---|---|

| | |
|--|--|
| <p>No.17~19 須田国太郎 1891 (明治 24) 年 -1961 (昭和 36) 年 スケッチ複写 (本人による複写) 不詳 各 39.4×54.0 紙・プリント 2021 年度・絵画関連資料</p> | <p>No.20 須田国太郎 1891 (明治 24) 年 -1961 (昭和 36) 年 絵付け皿「巻貝」 不詳 高 4.2 口径 24.6 磁器 2021 年度・陶磁器</p> |
|--|--|

■寄贈 件名 [今井真正《朱雀香爐》] 寄贈申請者 [今井真正氏] 受領日 [2022 (令和 4) 年 2 月 14 日] 寄附受納書 蘭文財第 208 号

No.1
今井真正
1961 (昭和 36) 年 -
朱雀香爐
2022 (令和 4) 年
45.0×103.0×25.0
陶器
2021 年度・陶磁器

保存・修復・修繕

2021 (令和 3) 年度は、ユネスコ「世界の記憶」に登録されている所蔵資料「朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図」全巻を複製した。
複製にあたっては、実物大の卷子装のレプリカ資料 (複製資料) として再現した。

燻蒸

2021 (令和 3) 年 7 月 27 日、蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館、松濤園、昆虫の家を対象に燻蒸作業をおこなった。

整理

資料情報の統合、再整理を視野に調査を継続している。

2021 (令和 3) 年度までの収蔵資料 (分類別) * 寄託をのぞく。

美術系資料

| 分類 | 油彩画 | 日本画 | 素描 | 水彩 | 版画 | 彫塑 | 漆工 | 金工 | 鋳造 | ガラス | 書 | その他 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|-----|
| 点数 | 450 | 423 | 810 | 174 | 118 | 10 | 39 | 7 | 10 | 31 | 38 | 5 |

陶磁器、朝鮮通信使関連資料、その他の歴史系資料

| 分類 | 陶磁器 | 東洋画 | 木工 | 漆工 | 金工 | 鋳造 | 石彫 | 洋ランプ | 和ランプ | その他 |
|----|-------|-----|----|----|----|----|----|------|------|-----|
| 点数 | 1,029 | 423 | 75 | 6 | 2 | 27 | 14 | 270 | 163 | 29 |

協力・広報

□対外協力

| | 内容 | 協力先 | 担当 | 日付 |
|------|------------------------|--|----------|------------|
| 取材協力 | 蘭島閣美術館の開館 30 周年と特別展の紹介 | 呉市役所総務部 秘書広報課 広報広聴グループ 「蘭島閣美術館 開館 30 周年」『くれワンダーランド Journey』 2021（令和3）年 10 月 8 日 18：56～19：00 RCC 放送 | 西野玲奈（主事） | 2021.9.17 |
| 取材協力 | 松濤園、蘭島閣美術館の紹介 | 株式会社 JTB パブリッシング 『るるぶせとうち 島旅 しまなみ海道 '23』 2022（令和4）年 3 月 9 日発行 | 西野玲奈（主事） | 2021.12.11 |
| 制作協力 | 松濤園の紹介 | 株式会社 JTB パブリッシング 『大人の日帰り旅 中国四国 2023』 2022（令和4）年 3 月 31 日発行 | 西野玲奈（主事） | 2022.1.26 |
| 制作協力 | 松濤園の紹介 | 京阪神エルマガジン社 「SEA SPICA に乗ってせとうちクルージング旅」『西 Navi 4 月号』 2022（令和4）年 3 月 25 日発行 | 西野玲奈（主事） | 2022.3.9 |

入館者数

□2021（令和3）年度 施設別入館（利用）者数

| 施設名 | 年間入館者数 |
|---|--------|
| 蘭島閣美術館 | 6,353 |
| 蘭島閣美術館別館 | 509 |
| 三之瀬御本陣芸術文化館 | 3,457 |
| 松濤園（陶磁器館、御馳走一番館〈朝鮮通信使資料館〉、あかりの館、下蒲刈御番所） | 7,504 |
| 白雪楼 | 2,405 |
| 昆虫の家〈頑愚庵〉 | 878 |
| 春蘭荘 | 40 |
| 松籟亭、煎茶室 | 126 |
| 合計 | 21,272 |

*入館（利用）者数は、指定管理する施設すべての施設分を記載している。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため2021（令和3）年8月27日（金）～9月31日（木）と、2022（令和4）年1月9日（日）～2月20日（日）まで全施設臨時休館した。

関係法規

蘭島文化振興施設条例

平成 15 年 3 月 14 日
呉市条例第 33 号

(目的及び設置)

第 1 条 美術、歴史遺産及び自然科学資料に関する市民の知識及び教養の向上を図り、文化の発展及び生命の尊厳を学び、並びに教育、学術研究及び文化交流に資するための施設を次のように設置する。

| 名称 | 位置 |
|----------|----------|
| 蘭島文化振興施設 | 呉市下蒲刈町地内 |

(事業)

第 2 条 蘭島文化振興施設は、次の事業を行う。

- (1) 美術品、朝鮮通信使・頼家に関する資料等の歴史的資料(以下「歴史的資料」という。)昆虫を始めとする自然科学資料(以下「自然科学資料」という。)等を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供すること。
- (2) 美術品、歴史的資料、自然科学資料等に関する調査・研究、教育、指導及び知識の普及に関すること。
- (3) 美術、歴史文化、自然科学等に関する講演会、講習会、講座等を開催すること。
- (4) 自然保護に関する調査・研究及び技術的指導に関すること。
- (5) 市内外の人々の交流及びコミュニティの場を提供すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事業。

一部改正〔平成 27 年条例 2 号〕(指定管理者による管理)

第 2 条の 2 市長は、第 1 条に規定する目的を効果的に達成するために必要があると認めるときは、指定管理者(地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に蘭島文化振興施設の管理を行わせることができる。
追加〔平成 17 年条例 116 号〕、一部改正〔平成 27 年条例 2 号〕

(指定管理者が行う業務)

第 2 条の 3 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 蘭島文化振興施設の施設、設備、展示品等(以下「施設等」という。)の維持及び管理に関する業務
- (2) 第 2 条各号に掲げる事業に関する業務
- (3) 蘭島文化振興施設のうち、別表第 1 に掲げる施設への入館及び別表第 2 に掲げる施設(以下「許可施設」という。)の使用の許可に関する業務
- (4) 前 3 号に掲げる業務に付随する業務追加〔平成 17 年条例 116 号〕

(指定管理者が行う管理の基準)

第 2 条の 4 指定管理者は、法令、この条例、この条例に基づく規則その他市長が定めるところに従い蘭島文化振興施設の管理を行わなければならない。
追加〔平成 17 年条例 116 号〕、一部改正〔平成 27 年条

例 2 号〕

(開所時間及び休所日)

第 3 条 蘭島文化振興施設の開所時間及び休所日は、規則で定める。

全部改正〔平成 17 年条例 116 号〕、一部改正〔平成 27 年条例 2 号〕

(使用の許可)

第 3 条の 2 許可施設を使用しようとする者は、市長(蘭島文化振興施設の管理を指定管理者に行わせる場合は指定管理者。以下この条、第 6 条及び第 7 条において同じ。)の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に際し、蘭島文化振興施設の管理運営上必要があるときは、その使用について条件を付することができる。

追加〔平成 17 年条例 116 号〕、一部改正〔平成 27 年条例 2 号〕

(入館料等)

第 4 条 蘭島文化振興施設のうち、別表第 1 に掲げる施設に入館しようとする者は入館料を、許可施設について前条第 1 項の規定により使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は施設使用料を市長に納付しなければならない。ただし、指定管理者に蘭島文化振興施設の管理を行わせる場合は、この限りでない。

2 入館料及び施設使用料(以下「入館料等」という。)の額は、別表第 1 及び別表第 2 に定める額とする。
一部改正〔平成 17 年条例 116 号〕

(利用料金)

第 4 条の 2 蘭島文化振興施設のうち別表第 1 に掲げる施設に入館しようとする者又は使用者は、前条第 1 項ただし書に規定する場合は、蘭島文化振興施設の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金の額は、別表第 1 及び別表第 2 に定める額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。
追加〔平成 17 年条例 116 号〕

(入館料等の前納)

第 4 条の 3 蘭島文化振興施設のうち別表第 1 に掲げる施設に入館しようとする者又は使用者は、入館料等又は利用料金を前納しなければならない。ただし、市長(蘭島文化振興施設の管理を指定管理者に行わせる場合は指定管理者。第 5 条において同じ。)が特別な理由があると認めるときは、この限りでない。

追加〔平成 17 年条例 116 号〕

(入館料等の減免)

第 4 条の 4 市長は、特別な理由があると認めるときは、入館料等を減免することができる。ただし、指定管理者に蘭島文化振興施設の管理を行わせる場合は、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する場合は、市長が定める基準に従い、利用料金を減免することができる。
追加〔平成 17 年条例 116 号〕

(入館料等の返還)

第5条 既納の入館料等又は利用料金は、これを返還しない。ただし、市長が特別な理由があると認めるときは、入館料等又は利用料金の全部又は一部を返還することができる。

一部改正〔平成17年条例116号〕

(入館及び使用の許可の制限)

第6条 市長は、蘭島文化振興施設に入館し、又は許可施設を使用しようとする者が、次の各号のいずれかに該当するときは、当該入館又は許可施設の使用を拒否することができる。

- (1) 公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 風致を害し、又は風紀を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設等を滅失し、又は損傷するおそれがあると認められるとき。
- (4) 専ら営利を図る目的で使用するおそれがあると認められるとき。
- (5) その他管理上支障があると認められるとき。

一部改正〔平成17年条例116号・27年2号〕

(退去命令及び使用の許可の取消し等)

第7条 市長は、入館者又は使用者(以下「入館者等」という。)が、次の各号のいずれかに該当するときは、蘭島文化振興施設からの退去を命じ、又は当該使用の許可を取り消すことができる。この場合において、入館者等が損害を受けることがあっても、市又は指定管理者は、その責めを負わない。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 前条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 許可された目的以外に許可施設を使用したとき。
- (4) 使用の許可に係る条件に違反したとき。

一部改正〔平成17年条例116号・27年2号〕

(原状回復)

第8条 使用者は、その使用を終了したとき又は使用の許可を取り消されたときは、直ちに使用場所を原状に回復しなければならない。

一部改正〔平成17年条例116号〕

(損害賠償)

第9条 入館者等は、施設等を滅失し、又は損傷した場合は、不可抗力によるときを除き、その損害を賠償しなければならない。

一部改正〔平成17年条例116号〕第10条 削除〔平成17年条例116号〕

(施行規定)

第11条 この条例に定めるもののほか、蘭島文化振興施設の管理運営について必要な事項は、規則で定める。

一部改正〔平成17年条例116号・27年2号〕

付則

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

付則(平成17年12月27日条例第116号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に改正前の第10条第1項の規定により公共的団体に管理を委託している蘭島文化振興施設の管理については、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により蘭島文化振興施設の管理に係る指定をする日までの間は、なお従前の例による。

付則(平成18年12月25日条例第65号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

付則(平成24年12月19日条例第50号)

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の前になされた申請に係る使用料については、なお従前の例による。

付則(平成27年1月8日条例第2号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

付則(令和元年12月27日条例第40号)

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の前になされた申請に係る使用料については、なお従前の例による。

別表第1(第2条の3、第4条、第4条の2、第4条の3関係)

| 名称 | 種別 | 金額(一人1回につき) | |
|-------------|-------|-------------|------|
| 蘭島圏美術館 | 一般 | 個人 | 500円 |
| | | 20人以上の団体 | 400円 |
| | 高校生 | 個人 | 300円 |
| | | 20人以上の団体 | 240円 |
| | 小・中学生 | 個人 | 200円 |
| | | 20人以上の団体 | 160円 |
| 蘭島圏美術館別館 | 一般 | 個人 | 300円 |
| | | 20人以上の団体 | 240円 |
| | 高校生 | 個人 | 180円 |
| | | 20人以上の団体 | 140円 |
| | 小・中学生 | 個人 | 120円 |
| | | 20人以上の団体 | 90円 |
| 白雪楼 | 一般 | 個人 | 400円 |
| | | 20人以上の団体 | 320円 |
| | 高校生 | 個人 | 240円 |
| | | 20人以上の団体 | 190円 |
| | 小・中学生 | 個人 | 160円 |
| | | 20人以上の団体 | 120円 |
| 松清園 | 一般 | 個人 | 800円 |
| | | 20人以上の団体 | 640円 |
| | 高校生 | 個人 | 480円 |
| | | 20人以上の団体 | 380円 |
| | 小・中学生 | 個人 | 320円 |
| | | 20人以上の団体 | 250円 |
| 昆虫の家「頑患庵」 | 一般 | 個人 | 300円 |
| | | 20人以上の団体 | 240円 |
| | 高校生 | 個人 | 180円 |
| | | 20人以上の団体 | 140円 |
| | 小・中学生 | 個人 | 120円 |
| | | 20人以上の団体 | 90円 |
| 三之瀬御本陣芸術文化館 | 一般 | 個人 | 300円 |
| | | 20人以上の団体 | 240円 |
| | 高校生 | 個人 | 300円 |
| | | 20人以上の団体 | 240円 |
| | 小・中学生 | 個人 | 200円 |
| | | 20人以上の団体 | 160円 |

備考

- この表において、「高校生」とは15歳に達する日以後の最初の4月1日から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者並びにこれ以外の者で学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する高等学校、高等専門学校(第4学年及び第5学年に在学する者を除く。)及びこれらに準ずる学校に在学するものをいい、「小・中学生」とは同条に規定する小学校、中学校及びこれらに準ずる学校に在学する者をいい、「一般」とは「高校生」、「小・中学生」及び小学生未満の未就学児以外の者をいう。
- 呉市に在住し、又は呉市内の学校に通学する高校生及び小・中学生は、無料とする。
全部改正〔平成18年条例65号〕、一部改正〔平成24年条例50号〕

別表第2(第2条の3、第4条、第4条の2関係)

| 施設 | 利用区分 | 金額 |
|-----|-------------------|---------------|
| 春蘭荘 | 1日につき (20時間以内) | 60,000円 |
| | 宿泊加算料金 | 一人につき1泊1,200円 |
| 松籟亭 | 1回につき (5時間以内) | 1,400円 |
| | 超過料金 | 1時間までごとに300円 |
| 煎茶室 | 1回につき (5時間以内) | 800円 |
| | 超過料金 | 1時間までごとに160円 |

一部改正(平成17年条例116号・24年50号・令和元年40号)

蘭島文化振興施設条例施行規則

平成27年3月31日
呉市規則第35号

(趣旨)

第1条 この規則は、蘭島文化振興施設条例(平成15年呉市条例第33号。以下「条例」という。)第11条の規定により、蘭島文化振興施設の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開所時間)

第2条 条例第3条の規定により規則で定める蘭島文化振興施設の開所時間は、次のとおりとする。

- 条例別表第1及び別表第2に掲げる施設(春蘭荘を除く。)午前9時から午後5時まで。
- 春蘭荘 全日

2 前項の規定にかかわらず、市長(蘭島文化振興施設の管理を指定管理者(条例第2条の2に規定する指定管理者をいう。以下同じ。))に行わせる場合は指定管理者。第4条、第55及び第7条において同じ。)は、必要により同項の開所時間を伸縮することができる。

(休所日)

第3条 条例第3条の規定により規則で定める蘭島文化振興施設の休所日は、次のとおりとする。

(1) 条例別表第1に掲げる施設

- 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで。
- 火曜日。ただし、火曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは、その直後の休日でない日。

(2) 条例別表第2に掲げる施設 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで。

- 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、同項の休所日以外の日において臨時に休所し、又は同項の休所日において臨時に開所することができる。
- 市長は、前項の規定により、臨時に休所し、又は開所しようとするときは、あらかじめ告示するものとする。

(使用の手続)

第4条 条例別表第2に掲げる施設(以下「許可施設」という。)の使用に係る許可を得ようとする者は、蘭島文化振興施設使用申請書を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可をしたときは、蘭島文化振興施設使用許可書(以下「許可書」という。)を交付する。

3 第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用を開始する前に許可書を提示し、市長の指示に従わなければならない。

(使用期間の制限)

第5条 許可施設の使用は、引き続き5日間を超えることができない。ただし、市長が特別な理由があると認めるときは、この限りでない。

(優待券等)

第6条 市長は、特別の理由があると認める者に対して、優待券又は招待券を発行することができる。ただし、指定管理者に蘭島文化振興施設の管理を行わせる場合は、この限りでない。

(入館者等の遵守事項)

第7条 入館者又は使用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 展示品に触れないこと。
- 許可なく展示品の模写又は撮影を行わないこと。
- 所定の場所以外で飲食又は火気の使用をしないこと。
- 所定の場所以外に出入りしないこと。
- 他の入館者又は使用者の迷惑となるような行為をしないこと。
- 市長の指示に従うこと。

(帳票の様式)

第8条 この規則の施行に関し必要な帳票は、市長が別に定める。ただし、指定管理者に蘭島文化振興施設の管理を行わせる場合は、この限りでない。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、蘭島文化振興施設の管理運営について必要な事項は、市長が別に定める。

付則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

公益財団法人
蘭島文化振興財団

2021 年度
年報

令和 3 年度

| | |
|------|----------|
| 利用案内 | 128-129p |
| 奥付 | 130p |

主要施設



蘭島閣美術館

開館時間 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 火曜日休館、祝日の場合は翌日

らんとくかくびじゅつかん

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 200-1 TEL 0823-65-3066 FAX 0823-70-8022

蘭島閣美術館の入館料

一般 500 円 (400 円) 高校生 300 円 (240 円) 小・中学生 200 円 (160 円) () 内は 20 名以上の団体料金



蘭島閣美術館別館

開館時間 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 火曜日休館、祝日の場合は翌日

らんとくかくびじゅつかんべっかん

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 195 TEL & FAX 0823-65-2500

蘭島閣美術館別館の入館料

一般 300 円 (240 円) 高校生 180 円 (140 円) 小・中学生 120 円 (90 円) () 内は 20 名以上の団体料金



三之瀬御本陣芸術文化館

開館時間 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 火曜日休館、祝日の場合は翌日

さんのせごほんじんげいじゅつぶんかかん

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 311 TEL 0823-70-8088 FAX 0823-70-8044

三之瀬御本陣芸術文化館の入館料

一般 500 円 (400 円) 高校生 300 円 (240 円) 小・中学生 200 円 (160 円) () 内は 20 名以上の団体料金



松濤園

開館時間 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 火曜日休館、祝日の場合は翌日

しょうとうえん

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島 2277-3 TEL 0823-65-2900 FAX 0823-65-2711

松濤園の入館料

一般 800 円 (640 円) 高校生 480 円 (380 円) 小・中学生 320 円 (250 円) () 内は 20 名以上の団体料金



白雪楼

開館時間 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 火曜日休館、祝日の場合は翌日

はくせつろう

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬 197 *お問い合わせは蘭島閣美術館へ。

白雪楼の入館料

一般 400 円 (320 円) 高校生 240 円 (190 円) 小・中学生 160 円 (120 円) () 内は 20 名以上の団体料金



昆虫の家「頑愚庵」

開館時間 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 火曜日休館、祝日の場合は翌日

こんちゅうのいえ「がんぐあん」

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島 2364-3 TEL & FAX 0823-70-8007

昆虫の家の入館料

一般 300 円 (240 円) 高校生 180 円 (140 円) 小・中学生 120 円 (90 円) () 内は 20 名以上の団体料金

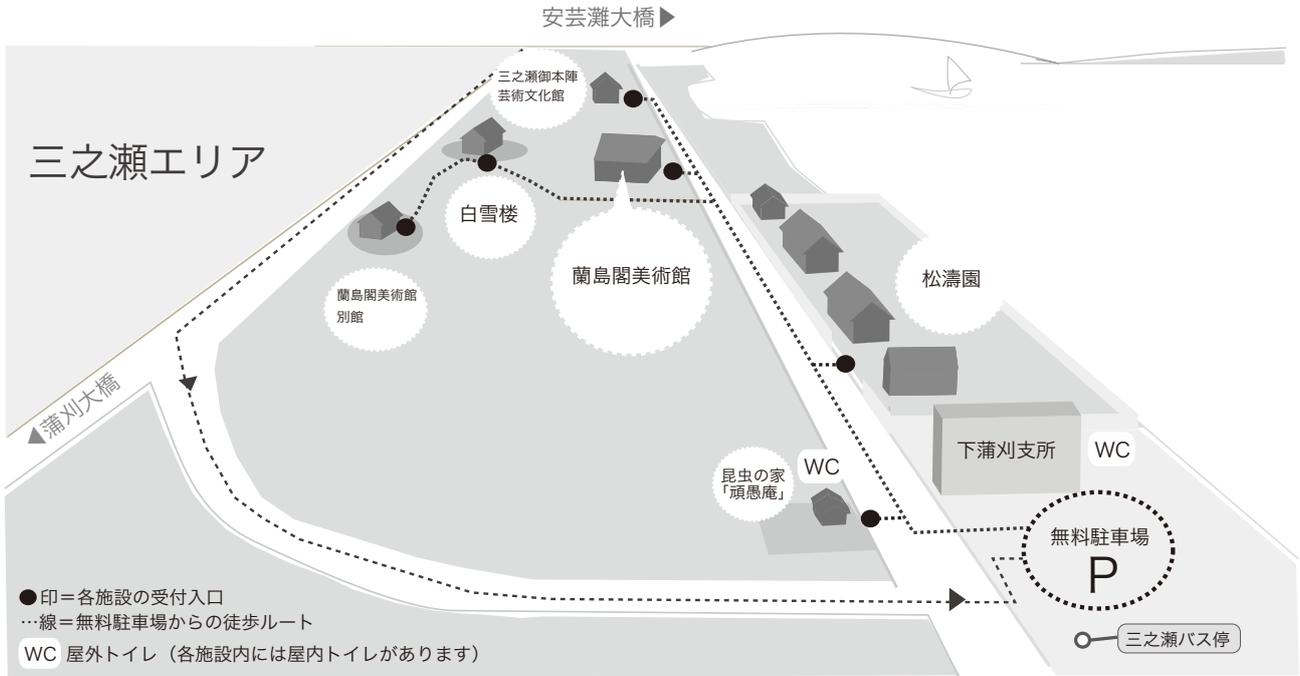
全館共通▶入場料免除/特別割引対象

呉市内と圏域(竹原市・東広島市・江田島市・熊野町・海田町・坂町・大崎上島町) 居住の高校生、小・中学生は入館無料です。
呉市敬老優待証、被爆者健康手帳、呉市はたちのパスポート、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳をお持ちの方は入館無料です。
*手帳をお持ちの方の介護者免除対象もごさいます。

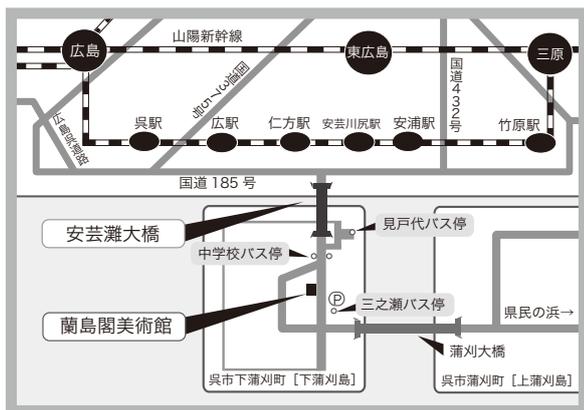
特別割引 JAF カード、ちゅーピーカード、中国新聞文化センター会員証、エルフルカードご提示により、1 枚につき 3 名様まで団体料金で入館できます。

*呉市はたちのパスポート提示による蘭島文化振興施設群の入場料免除は、2022 (令和 4) 年 12 月 28 日で終了

美術館周辺



地図



バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 TEL 0823-70-7051

アクセス方法

- マイカー** ■広島市内から車で60分
 呉市内より国道185号線を竹原方面へ、安芸灘大橋(有料)を渡る。最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。駐車場から徒歩260m。
- 電車とバス** ■呉市内から電車・バス利用の場合
 JR呉線で広島または仁方駅で下車。駅前最寄りバス停留所より瀬戸内産交バス「宮農センター・沖友天満宮方面」行き乗車。「三之瀬」停留所下車。美術館まで260m。

所要時間

- 広島市内から車で60分
 - JR広島前 三之瀬バス停
- 広島市内 — 呉市下蒲刈町

*利用案内は、指定管理する施設のうち、三之瀬エリアを中心として所在する施設を記載した。その他の、春備荘、松籟亭及び煎茶室は除く。

公益財団法人蘭島文化振興財団年報 2021（令和3）年度

発行日 2023（令和5）年3月

編集・発行 公益財団法人蘭島文化振興財団

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町下島 2361-7

TEL.0823-65-2029

FAX.0823-70-8079

<http://www.shimokamagari.jp>

© 2023 公益財団法人蘭島文化振興財団

公益財団法人蘭島文化振興財団

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI

公益財団法人蘭島文化振興財団

GARDEN ISLAND SHIMOKAMAGARI